



RISO Printer Driver

リソープリンタードライバー

MH9W/MH9/MH6/MF9W/MF9/MF6/RE6MH/RE6MF/
SF9x9/SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series

取扱説明書

ごあいさつ

「RISO Printer Driver」は、当社製印刷機専用のプリンタードライバーです。
本書では、プリンタードライバーの基本操作をはじめ、さまざまな機能の使い方を、記述しています。また、巻末にトラブル対処法を記述しています。
ご使用になる前に、またご使用中、不明な点があるときにお読みいただき、本製品とともに末永くお役立てください。

■ 本書の記述内容について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容につきましては、商品の改良などのため、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 商標について

- 、RISOおよびRISORINCは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ マークについて



▶ 気を付けていただきたいことなどの重要事項です。よく読んで、指示に従ってください。



▶ 知っておくと便利なことや、補足説明です。



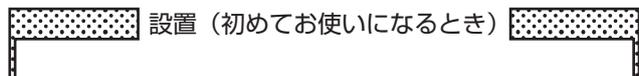
▶ 参照ページを示しています。

■ 画面、イラストについて

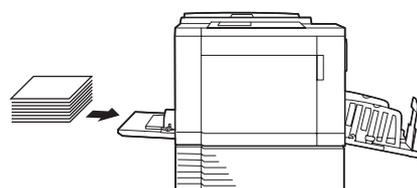
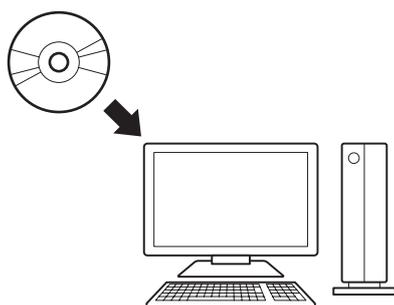
本書に掲載している画面やイラストは、機種やオプションの装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

プリントするまでの流れ

印刷機を初めてお使いになるときは、下の設置手順を行ってください。
設置後は、基本操作の手順を行うことでプリントすることができます。



設置（初めてお使いになるとき）



プリンタードライバーをインストールする

RISO Printer Driver をパソコンに導入します。(6)

- 接続方法により、あらかじめ、パソコンと印刷機を接続しておく必要があります。
- パソコンに接続できない場合は、USB メモリーや [紙メモリープリント] を使うことによって高精細にプリントすることができます。



1. 印刷機の準備をする

印刷機を準備し、プリントする原稿データに合ったサイズの印刷用紙を給紙台に載せます。

- 印刷機の準備方法は、印刷機の取扱説明書をお読みください。

■ プリンタードライバーについて

印刷機とパソコンをケーブルで接続してプリントする場合、または、[紙メモリープリント] を使用してプリントする場合は通常版プリンタードライバーを使用します。

USB メモリーを使用してプリントする場合、USB メモリー用プリンタードライバーを使用します。

詳細については、「接続方法とプリンタードライバーの種類について」(6) を参照してください。

■ 対応 OS について

本プリンタードライバーは以下の OS に対応しています。

Windows® 7 SP1 以降 (32-bit/64-bit) *1/Windows® 8.1 (32-bit/64-bit) *3/Windows® 10 (32-bit/64-bit) *3/
Windows® 11 (64-bit) *3/Windows Server® 2019 (64-bit) *2*4/Windows Sever® 2022 (64-bit) *2*4

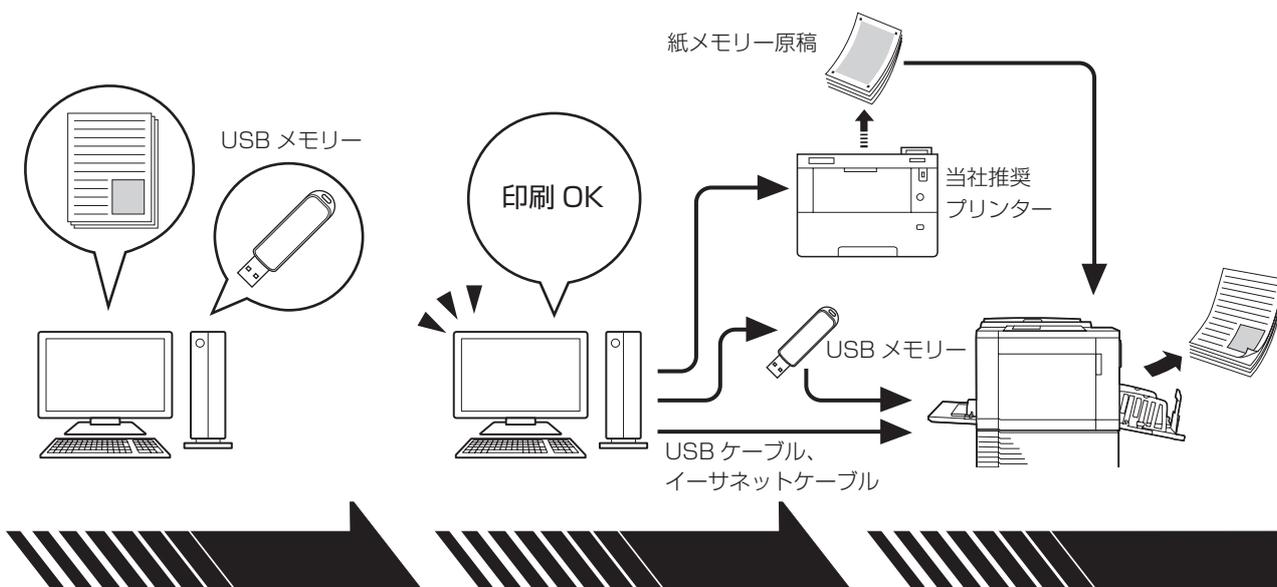
* 1 MH9W/MH9/MH6/RE6MH には対応していません。

* 2 MF9W/MF9/MF6/RE6MF には対応していません。

* 3 デスクトップアプリのみ対応

* 4 USB メモリー出力、[紙メモリープリント] には対応していません。

基本操作



2. 設定する

プリントしたい原稿データをパソコンで開き、通常版プリンタードライバーまたはUSBメモリー用プリンタードライバーを選択し、印刷するために必要な設定を行います。

- USBメモリーを使用してプリントする場合は、USBメモリーをパソコンに接続します。
- [紙メモリープリント]を使用する場合は、[紙メモリープリント]にチェックを入れます。

3. プリント指示する

パソコン上の[印刷]ダイアログボックスでプリント指示を行うと、データが印刷機に送信、またはUSBメモリーに出力し保存されます。

- [紙メモリープリント]にチェックを入れた場合は、[プレビュー+編集]ツールが起動します。紙メモリーパターンを当社推奨のプリンターでプリントします。

4. プリント完了

印刷機がデータを受け取り、製版・印刷をします。

- USBメモリーを使用してプリントする場合は、USBメモリーを印刷機に接続します。
- [紙メモリープリント]を使用する場合は、紙メモリー原稿を印刷機で読み取り、製版・印刷をします。

■ 対応印刷機の表記について

本書では、以下の機種（シリーズ）を種別名でまとめて表記しています。

種別名	機種（シリーズ）
両面機	MH9W/MF9W Series
2色機	MH9/MH6/MF9/MF6/RE6MH/RE6MF Series
単色機	SF9x9/SF9Ⅱ/SF6Ⅱ/SF5Ⅱ/RE6SⅡ Series

目次

ごあいさつ	1
プリントするまでの流れ	2
目次	4

第 1 章 接続方法とプリンタードライバーの種類について

接続方法とプリンタードライバーの種類について	7
■ ケーブルで接続する環境	7
■ ケーブルで接続していない環境	8

第 2 章 プリンタードライバーのインストール

USB ケーブル接続の場合	11
■ プリンタードライバーをインストールする	11
ネットワーク接続の場合	15
■ ケーブルを接続する	15
■ プリンタードライバーをインストールする	16
USB メモリー出力の場合	23
■ USB メモリーについて	23
■ プリンタードライバーをインストールする	23
■ 専用フォルダーを作成する	27
■ テストページを印刷する	29
紙メモリープリントを使用する場合	31
■ プリンタードライバーをインストールする	31
使用環境に合わせて登録する	35
■ オプション機器登録・用紙登録・インク色登録・自動取得	35

第 3 章 操作のしかた

プリントのしかた	39
[印刷設定] の設定方法	43
■ [基本] タブ	44
■ [レイアウト] タブ	51
■ [分版] タブ	55
■ [イメージ処理] タブ	59
■ [応用] タブ	62
■ [オプション] タブ	65
■ [バージョン] タブ	66
RISORINC 形式ファイルを作成するには	67
■ RISORINC 形式ファイル用の Local Port の追加方法	67
■ RISORINC 形式ファイル用の Local Port の選択方法	68
■ RISORINC 形式ファイルへの出力方法	69

第4章 「プレビュー+編集」ツールの使い方

【プレビュー+編集】 ツール	71
■ プレビュー+編集画面	73
紙メモリープリント手順	78
■ プリンタードライバーから自動で変換の場合	78
■ 手動で変換する場合	81
■ ファイルから開く場合	85

第5章 プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーをアンインストールする	89
------------------------------------	-----------

第6章 プリンタードライバーの手動インストール/手動アンインストール

Windows 7 編:手動インストール/手動アンインストールについて	92
■ USB ケーブル接続による手動インストール	92
■ ネットワーク接続/USB メモリー出力による手動インストール	96
■ 手動アンインストール	99
Windows 8.1 編:手動インストール/手動アンインストールについて	101
■ USB ケーブル接続による手動インストール	101
■ ネットワーク接続/USB メモリー出力による手動インストール	105
■ 手動アンインストール	108
Windows 10/Windows 11/Windows Server 2019/Windows Sever 2022 編:	
手動インストール/手動アンインストールについて	110
■ USB ケーブル接続による手動インストール	110
■ ネットワーク接続/USB メモリー出力による手動インストール	114
■ 手動アンインストール	117

第7章 こんなときには

パソコン上でメッセージが表示されたら	120
「故障?」と思ったとき	121
■ [印刷できないとき]	121
■ [印刷結果が正しく得られないとき]	123
■ [その他]	125



第 1 章

接続方法とプリンタードライバーの種類について

接続方法とプリンタードライバーの種類について.....	7
■ ケーブルで接続する環境	7
■ ケーブルで接続していない環境	8

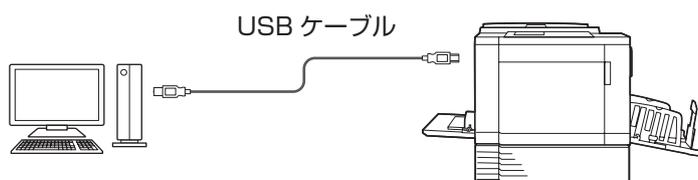
接続方法とプリンタードライバーの種類について

接続の方法によってプリンタードライバーのインストール方法が異なります。お客様の環境に合わせてプリンタードライバーをインストールしてください。

ケーブルで接続する環境

■ USB ケーブルで接続する場合

通常版プリンタードライバーをインストールしてください。(☞ 10)

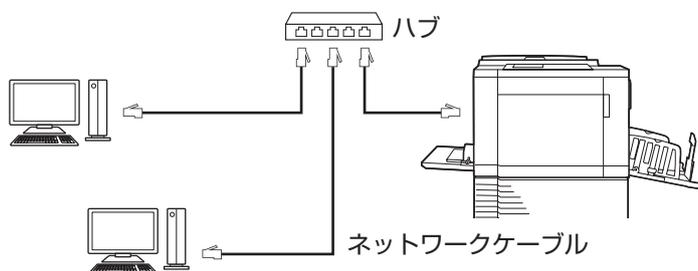


重要 ▶ USB ケーブルは、長さ 3m 以内、USB2.0 (Hi-Speed USB) (規格準拠品)、A-B type をご用意ください。

参考 ▶ USB ケーブルで接続されている状態でも、[紙メモリープリント]を使用することができます。その場合は、[紙メモリープリント]用プリンタードライバーのインストール (☞ 31) は不要です。

■ ネットワーク接続する場合

通常版プリンタードライバーをインストールしてください。(☞ 10)



重要 ▶ ネットワークケーブルは、市販のカテゴリー 5 以上のイーサネット STP ケーブル (10BASE-T または 100BASE-TX) をご用意ください。(ストレートケーブル、クロスケーブル共に使用することができます)

▶ 電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど) の通信回線に、本機を直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを經由して接続してください。

参考 ▶ ネットワークケーブルで接続されている状態でも、[紙メモリープリント]を使用することができます。その場合は、[紙メモリープリント]用プリンタードライバーのインストール (☞ 31) は不要です。

ケーブルで接続していない環境

パソコンと印刷機がケーブルで接続されていない場合でも、USB メモリーや [紙メモリープリント] を使用することで、パソコンで作成した原稿データを、直接、印刷機でプリントすることができます。原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。

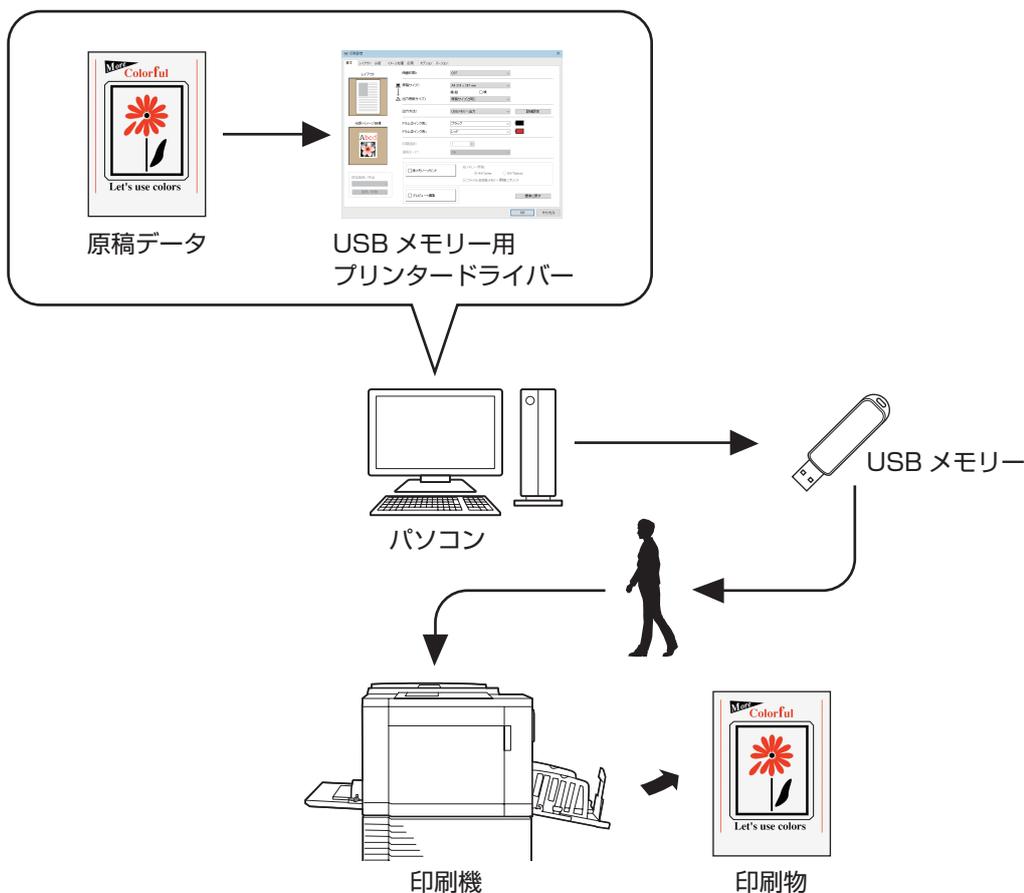


▶ Windows Server 2019/Windows Server 2022 には対応していません。

■ USB メモリーを使用してプリントする場合

USB メモリー用プリンタードライバーをインストールしてください。(10)

原稿データを出力（保存）した USB メモリーを印刷機に接続してプリントします。



- ▶ マスストレージクラスに対応した USB メモリーをご使用ください。ご使用の USB メモリーの種類によっては、正常に動作しない場合があります。
- ▶ FAT 形式でフォーマットした USB メモリーをご使用ください。
- ▶ セキュリティ機能付き USB メモリーには対応していません。
- ▶ USB メモリーを接続または取り外す際は、正しい方法で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- ▶ 天災や不測の事態により、USB メモリーデータが損傷した場合、USB メモリー内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをお勧めします。
- ▶ USB メモリーを使用してプリントする場合は、必ず USB メモリー内に専用フォルダーを作成してください。作成方法は「専用フォルダーを作成する (27) 」を参照してください。



▶ 印刷機とパソコンをケーブルで接続している環境でも、USB メモリーを使用してプリントすることができます。

■ [紙メモリープリント] でプリントする場合

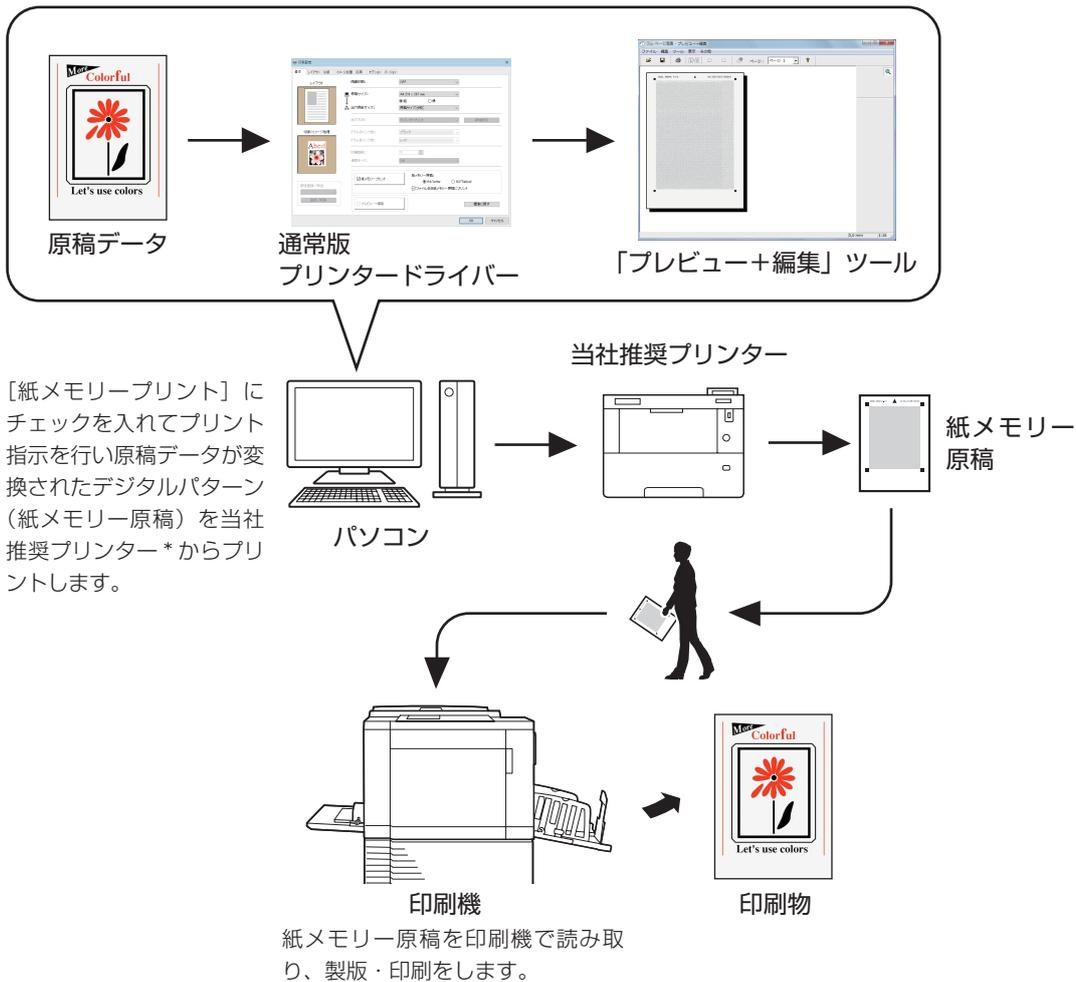
通常版プリンタードライバーをインストールし、[紙メモリープリント]用プリンタードライバーとして使用してください。(図 10)

パソコンで作成した原稿データを、プリンタードライバーの機能を使ってデジタルパターンに変換し、当社推奨のプリンターでプリントすることができます。その紙を「紙メモリー原稿」と呼びます。

本機の [紙メモリープリント] 機能を使うと、紙メモリー原稿から元の原稿データを再現してプリントすることができます。



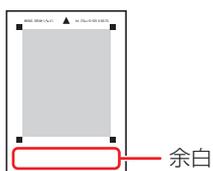
- ▶ 紙メモリープリントを使用するには、当社推奨のプリンター* が別途必要です。
パソコンに推奨プリンターのプリンタードライバーをインストールし、接続してください。
インストール方法、接続方法については、推奨プリンターの取扱説明書をご覧ください。



* 当社推奨プリンターについては、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。



- ▶ 紙メモリー原稿は、汚れ、しわ、折れ目があると、印刷機で適切に読み取れないことがあります。
- ▶ 紙メモリー原稿にメモなどを書き込む場合は、下図の余白部分をお使いください。それ以外の場所書き込むと、本機で適切に読み取れなくなることがあります。



- ▶ 印刷機とパソコンをケーブルで接続している環境でも、[紙メモリープリント]を使用することができます。



第 2 章

プリンタードライバーのインストール

ここでは、インストーラーを使用したプリンタードライバーのインストール方法を記述しています。

- パソコンと印刷機を USB ケーブルで接続する場合は、「USB ケーブル接続の場合」(11) をお読みください。
- ネットワーク経由で接続する場合は、「ネットワーク接続の場合」(15) をお読みください。
- USB メモリーを使用してプリントする場合は、「USB メモリー出力の場合」(23) をお読みください。
- 紙メモリープリントを使用してプリントする場合は、「紙メモリープリントを使用する場合」(31) をお読みください。

USB ケーブル接続の場合	11
■ プリンタードライバーをインストールする	11
ネットワーク接続の場合	15
■ ケーブルを接続する	15
■ プリンタードライバーをインストールする	16
USB メモリー出力の場合	23
■ USB メモリーについて	23
■ プリンタードライバーをインストールする	23
■ 専用フォルダーを作成する	27
■ テストページを印刷する	29
紙メモリープリントを使用する場合	31
■ プリンタードライバーをインストールする	31
使用環境に合わせて登録する	35
■ オプション機器登録・用紙登録・インク色登録・自動取得	35

USB ケーブル接続の場合

プリンタードライバーをインストールする



- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ プリンター共有には対応していません。



- ▶ 手動インストールの方法については、[図 91](#) をご覧ください。

バージョンアップや、ケーブルの接続方法を変更した場合など、同じ機種 (シリーズ) のプリンタードライバーを再度インストールする場合は、ドライバーパッケージを削除する必要があります。インストール済みのプリンタードライバーを手動でアンインストールしてからインストールを実施してください。(図 91「手動アンインストールについて」)

0



- ▶ USB ケーブルは、長さ 3m 以内、USB2.0 (Hi-Speed USB) (規格準拠品) A-B type をご用意ください。
- ▶ USB ケーブルの接続は、指示があるまで行わないでください。

1

「RISO Printer Driver」DVD-ROM をパソコンにセットする

インストーラーが起動します。インストーラーが起動しない場合は下記フォルダー内の [Setup (.exe)] ファイルをダブルクリックしてください。

32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] フォルダ

64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] フォルダ



- ▶ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

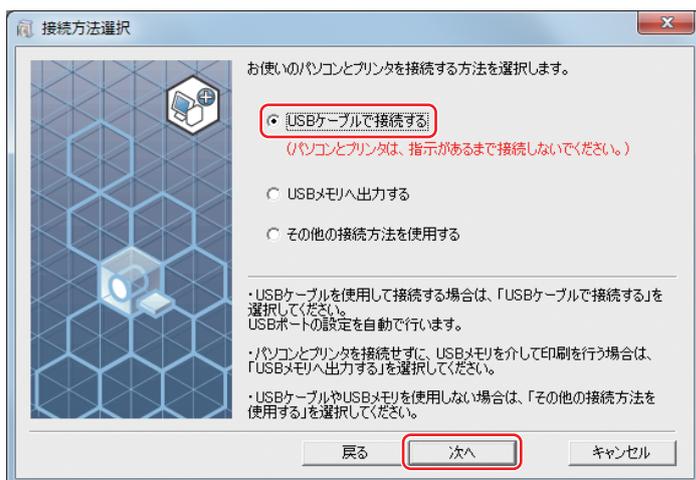
2

プルダウンメニューから [日本語] を選択し、[OK] をクリックする

3

[次へ] をクリックする

4 [USB ケーブルで接続する] を選択し、[次へ] をクリックする



5 接続した印刷機の「機種名」を選択し、[次へ] をクリックする

6 [インストール] をクリックする

取扱説明書（本書）のインストールが不要の場合は、[取扱説明書（PDF）もインストールする] のチェックを外します。



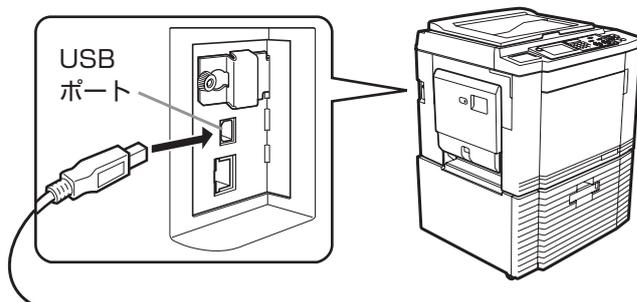
▶ [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[インストール] をクリックしてください。

[USB ポートの設定] ダイアログボックスが表示されます。

7 印刷機とパソコンを USB ケーブルで接続する

市販の USB ケーブル（3m 以内、A-B Type、Hi-Speed USB 規格準拠品）をご使用ください。

① 印刷機の USB ポートへ

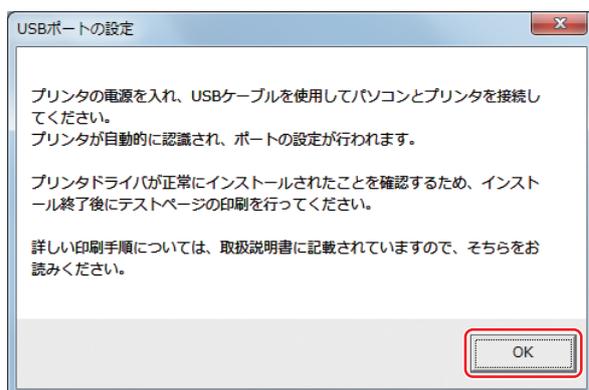


② パソコンの USB ポートへ



8 印刷機の電源を ON にする

9 [OK] をクリックする



10 [ReadMe を表示] をクリックする

ReadMe が表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



11 [終了] をクリックする

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。
[今すぐ再起動する] にチェックを入れておくと、[終了] をクリックした後にパソコンが再起動されます。

12 プリンターフォルダーを開く

Windows 7 の場合：

[スタート] アイコン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8.1 の場合：

[アプリ] 画面を開き、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 10 の場合：

[スタート] アイコン - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 11 の場合：

[スタート] アイコン - [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows Server 2019/Windows Sever 2022 の場合：

[スタート] アイコン - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

13 インストールした「機種名」のプロパティを開く

インストールした「機種名」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] を選択してください。

14 [テストページの印刷] をクリックする

15 テストプリントが正しく印刷されたことを確認し、[閉じる] をクリックする

16 パソコンから「RISO Printer Driver」DVD-ROM を取り出す

 ▶ 取り出した DVD-ROM は、大切に保管してください。

プリンタードライバーのインストールは、以上で完了です。

 ▶ 使用環境に合わせてオプションを登録する場合は、[図 35](#) をご覧ください。

 ▶ プリントのしかたについては、[図 39](#) をご覧ください。

ネットワーク接続の場合

ケーブルを接続する

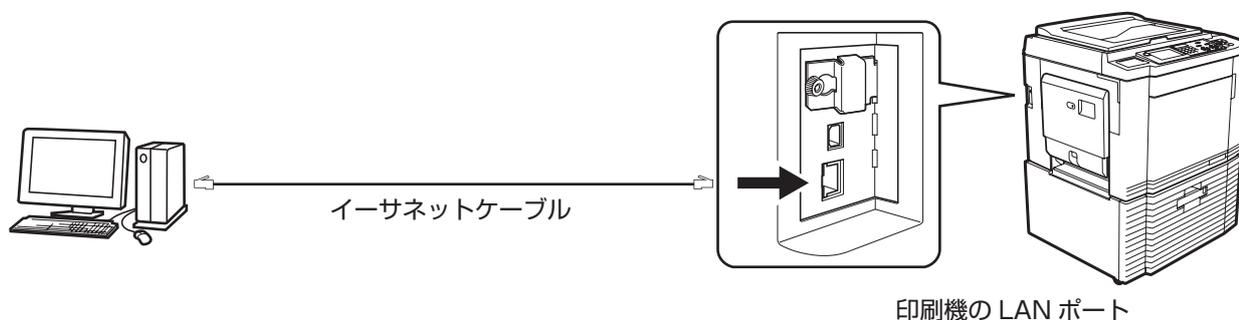
あらかじめ、印刷機との接続および IP アドレスなどの設定を行ってください。

接続には市販のイーサネットケーブルをお使いください。

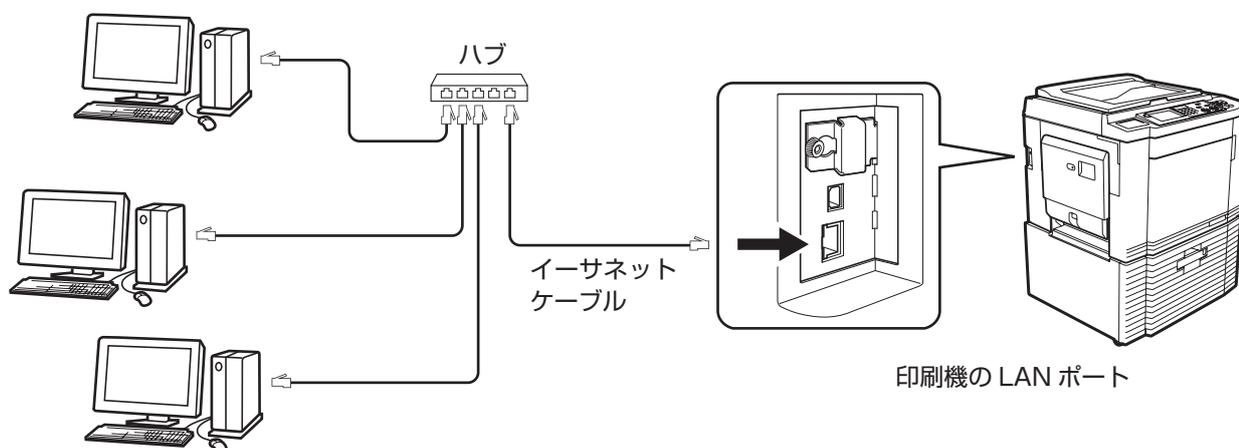


- ▶ イーサネットケーブルは、市販のカテゴリー 5 以上の STP ケーブル (10BASE-T または 100BASE-TX) をご用意ください。
(ストレートケーブル、クロスケーブル共に使用することができます)
- ▶ 電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど) の通信回線に、本機を直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

■ 1 台のパソコンと接続するとき



■ ネットワーク経由で接続するとき



プリンタードライバーをインストールする



- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ プリンター共有には対応していません。



- ▶ 手動インストールの方法については、[図 91](#) をご覧ください。
- ▶ 市販のプリントサーバーなどを利用してのネットワーク接続については各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

1 「RISO Printer Driver」 DVD-ROM をパソコンにセットする

インストーラーが起動します。インストーラーが起動しない場合は下記フォルダー内の [Setup (.exe)] ファイルをダブルクリックしてください。

32-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 32-bit] フォルダ

64-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 64-bit] フォルダ

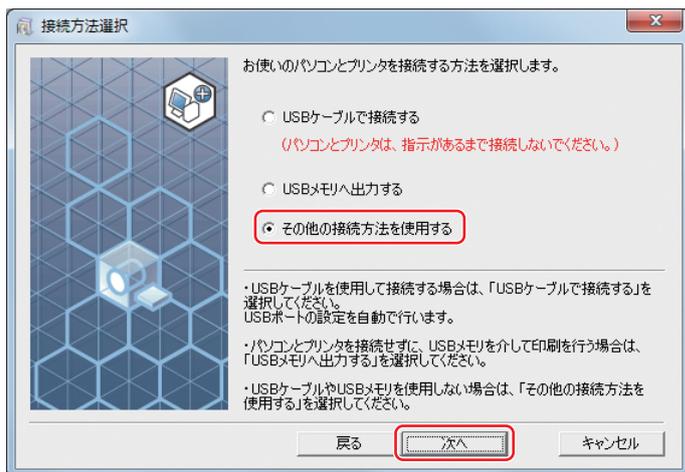


- ▶ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

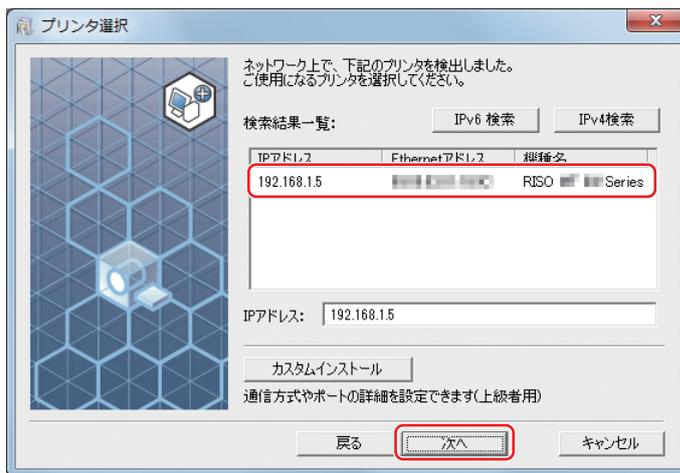
2 プルダウンメニューから [日本語] を選択し、[OK] をクリックする

3 [次へ] をクリックする

4 [その他の接続方法を使用する] を選択し、[次へ] をクリックする



5 接続した IP アドレスの印刷機を選択し、[次へ] をクリックする

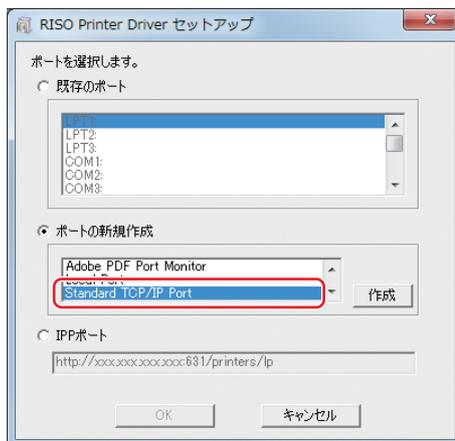


参考

- ▶ IP アドレスを手動で入力することもできます。
- ▶ 通信方式やポートを任意で設定する場合は、[カスタムインストール] をクリックして、既存のポートの選択またはポートの新規作成を行ってください。

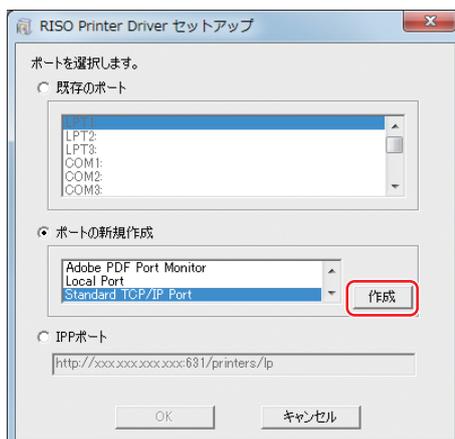
下記の手順は、Standard TCP/IP Port の作成方法です。

- ① [ポートの新規作成] を選択し、[Standard TCP/IP Port] を選択する



- ② [作成] をクリックする

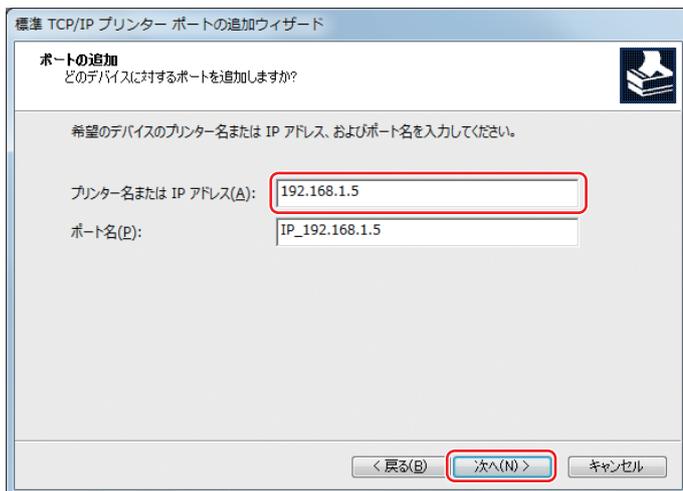
[標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード] ダイアログボックスが開きます。



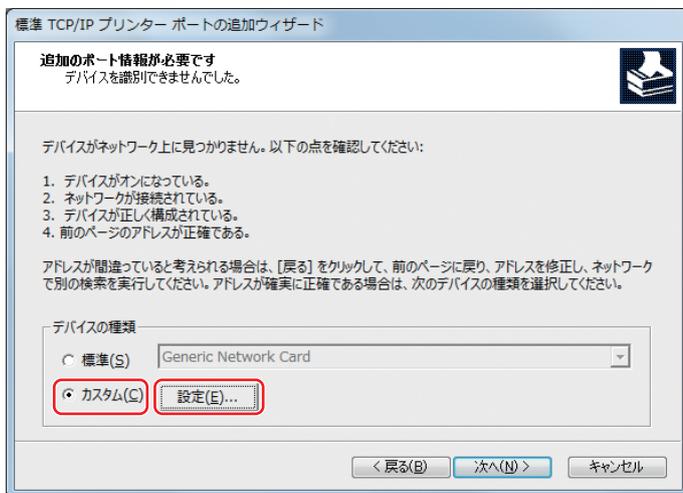
③ [次へ] をクリックする



④ 印刷機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックする
ポート名は、自動的に入力されます。



⑤ [カスタム] を選択し、[設定] をクリックする



- ⑥ [プロトコル] の [LPR] を選択し、[LPR 設定] を次のように設定して [OK] をクリックする
 [キュー名] には半角小文字で「lp」（エル・ピー）と入力します。「LPR バイトカウントを有効にする」はチェックを入れます。



- ▶ 「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを入れておかないと、画像が正しくプリントされないことがあります。



- ▶ LPR 機能の追加後は再起動を要求されますので必要なデータ等は保存した上で作業を行ってください。詳しくは Windows のヘルプに従ってください。

- ⑦ [次へ] をクリックする

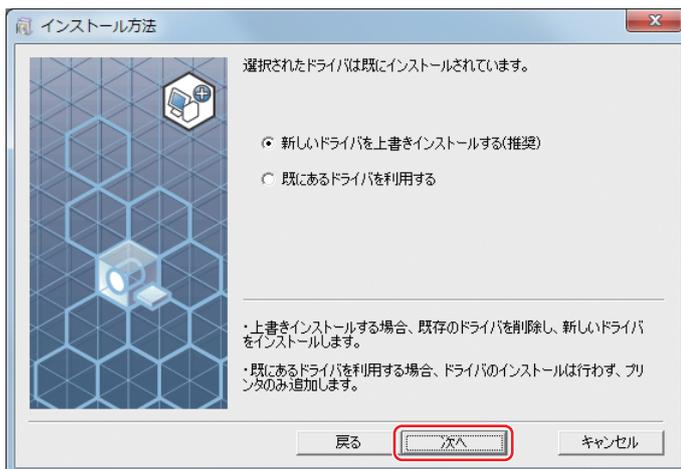
⑧ [完了] をクリックする



6 接続した印刷機の「機種名」を選択し、[次へ] をクリックする

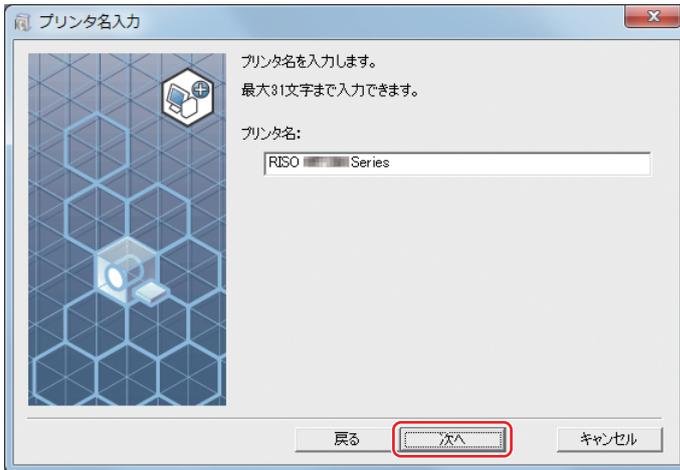
参考

▶ 選択したドライバーがすでにインストールされている場合は、[インストール方法] ダイアログボックスが表示されますので、[次へ] をクリックしてください。



7 [次へ] をクリックする

プリンター名を変更することもできます。



8 [インストール] をクリックする

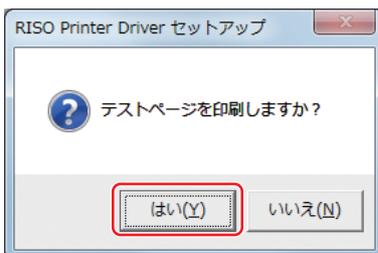
取扱説明書（本書）のインストールが不要の場合は、[取扱説明書（PDF）もインストールする] のチェックを外します。



参考 ▶ [Windows セキュリティ] のダイアログボックスが表示された場合は、[インストール] をクリックしてください。

9 「テストページを印刷しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

印刷機にはあらかじめ A4 用紙をセットしておいてください。



10 テストプリントが正しく印刷されたことを確認し、[OK] をクリックする



11 [ReadMe を表示] をクリックする

ReadMeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



12 [終了] をクリックする

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。
[今すぐ再起動する] にチェックを入れておくと、[終了] をクリックした後にパソコンが再起動されます。

13 パソコンから「RISO Printer Driver」DVD-ROM を取り出す

重要 ▶ 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

プリンタードライバーのインストールは、以上で完了です。

重要 ▶ 使用環境に合わせてオプションを登録する場合は、[35](#) をご覧ください。

参考 ▶ プリントのしかたについては、[39](#) をご覧ください。

USB メモリー出力の場合

USB メモリーについて

- マスストレージクラスに対応した USB メモリーをご使用ください。ご使用の USB メモリーの種類によっては、正常に動作しない場合があります。
- FAT 形式でフォーマットした USB メモリーをご使用ください。
- セキュリティー機能付き USB メモリーには対応していません。
- USB メモリーを接続または取り外す際は、正しい方法で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USB メモリーデータが損傷した場合、USB メモリー内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをお勧めします。

プリンタードライバーをインストールする



- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ Windows Server 2019/Windows Server 2022、プリンター共有には対応していません。



- ▶ 手動インストールの方法については、[91](#) をご覧ください。

1 「RISO Printer Driver」DVD-ROM をパソコンにセットする

インストーラーが起動します。インストーラーが起動しない場合は下記フォルダー内の [Setup (.exe)] ファイルをダブルクリックしてください。

32-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 32-bit] フォルダ

64-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 64-bit] フォルダ

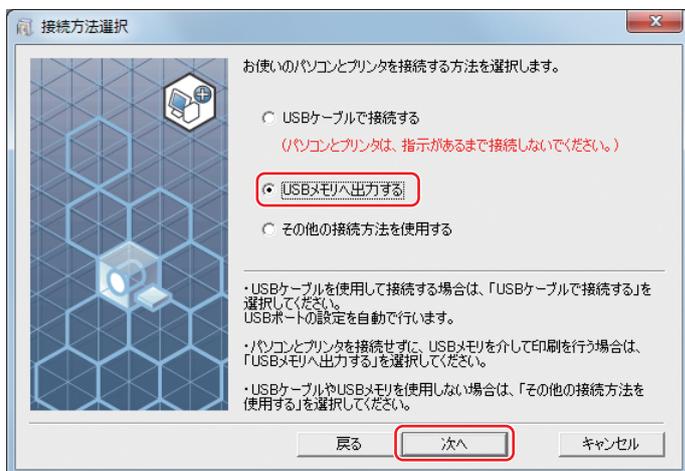


- ▶ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

2 ブルダウンメニューから [日本語] を選択し、[OK] をクリックする

3 [次へ] をクリックする

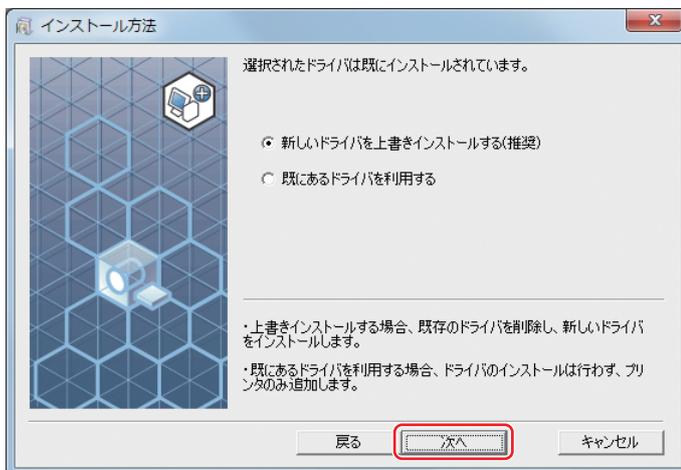
4 [USB メモリへ出力する] を選択し、[次へ] をクリックする



5 印刷機の「機種名 (USB)」を選択し、[次へ] をクリックする



▶ 選択したドライバーがすでにインストールされている場合は、[インストール方法] ダイアログボックスが表示されますので、[次へ] をクリックしてください。

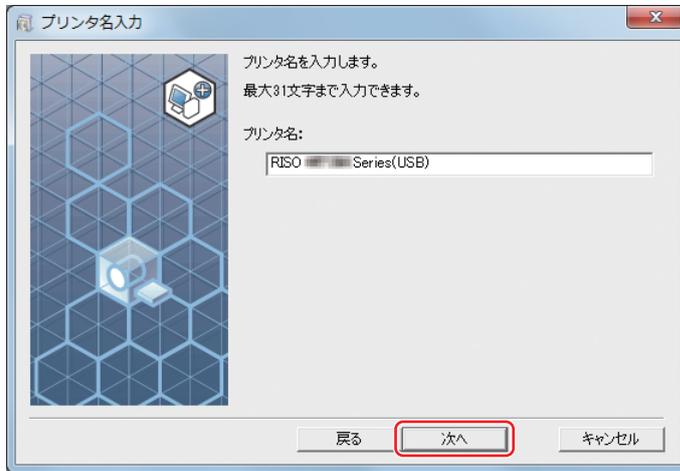


6 [次へ] をクリックする

プリンター名を変更することもできます。

参考

▶ プリンター名を変更する場合、末尾の「(USB)」は残すことをお勧めします。



7 [インストール] をクリックする

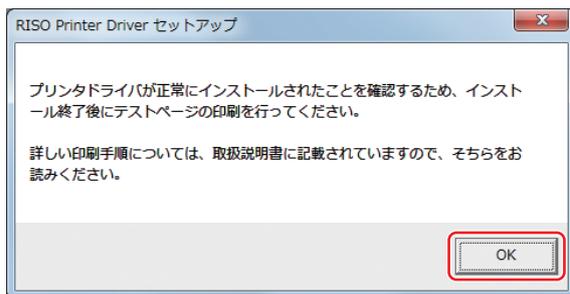
取扱説明書（本書）のインストールが不要の場合は、[取扱説明書（PDF）もインストールする] のチェックを外します。



参考

▶ [Windows セキュリティ] のダイアログボックスが表示された場合は、[インストール] をクリックしてください。

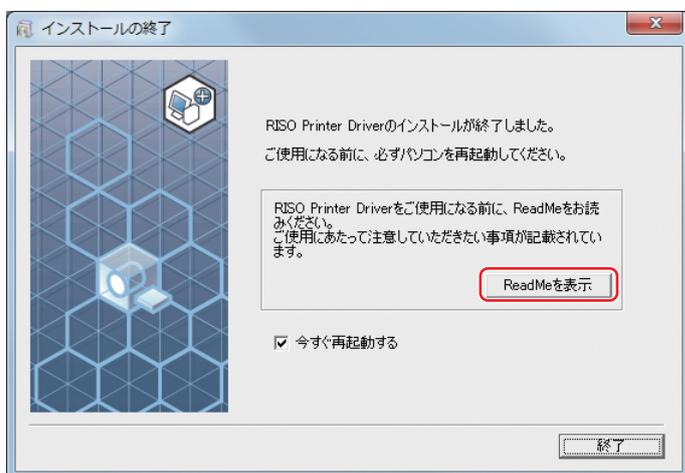
8 メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする



▶ USB メモリーへのテストページの出力方法は、「専用フォルダーを作成する」(27) および「テストページを印刷する」(29) をご覧ください。

9 [ReadMe を表示] をクリックする

ReadMe が表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



10 [終了] をクリックする

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。

[今すぐ再起動する] にチェックを入れておくと、[終了] をクリックした後にパソコンが再起動されます。

11 パソコンから「RISO Printer Driver」DVD-ROM を取り出す



▶ 取り出した DVD-ROM は、大切に保管してください。

プリンタードライバーのインストールは、以上で完了です。引き続き「専用フォルダーの作成」(27) を行ってください。

専用フォルダーを作成する

ここでは、USB メモリー内に専用フォルダーを作成する方法を記述しています。



- ▶ USB メモリーを使用してプリントする場合は、必ず USB メモリー内に専用フォルダーを作成してください。専用フォルダーを作成していない USB メモリーではプリントできません。
- ▶ [デバイスとプリンター] の [プリンターのプロパティ] から専用フォルダーを作成することはできません。



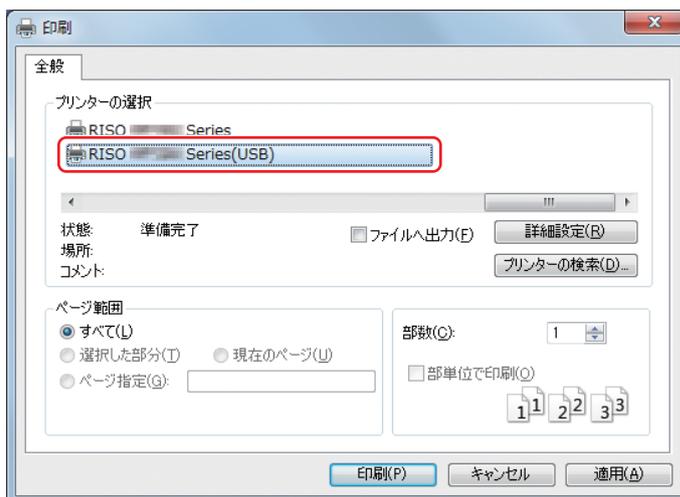
- ▶ 以下の手順の代わりに、USB メモリーを印刷機に接続することでも専用フォルダーを作成できます。

1 USB メモリーをパソコンに接続する

2 [印刷] ダイアログボックスを表示する

プリントする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル] メニューから [印刷] (または [プリント]) を選択します。

3 インストールしたプリンターを選択する



- ▶ 画面は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

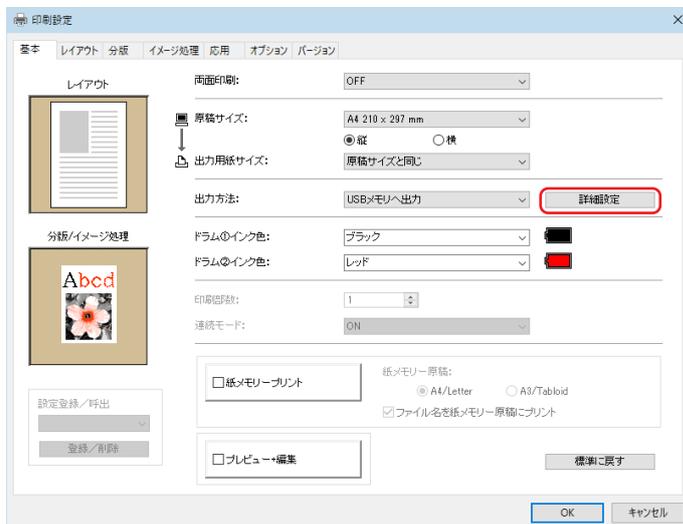
4 [詳細設定] をクリックしてプリンターのプロパティを表示する



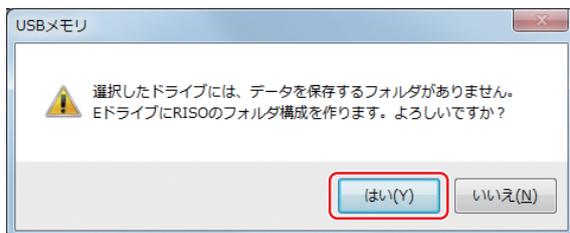
- ▶ [詳細設定] は、お使いのアプリケーションにより異なるボタン名で表示されることがあります。

5 ■SF5II Series の場合
 [レイアウト] タブをクリックする。

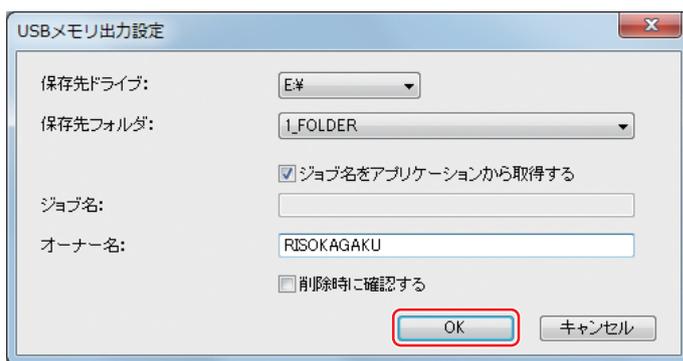
■SF5II Series 以外の場合
 [出力方法] の [詳細設定] をクリックする



6 メッセージが表示されるので、[はい] をクリックする
 USB メモリー内に専用フォルダーが作成されます。



7 [OK] をクリックする



参考 ▶ 各項目の説明については 47 を参照してください。

重要 USBメモリー内の専用フォルダーの名前を変更したり、原稿データを移動したりする場合は、理想USBメモリーマネージャーを使用してください。詳しくは、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

専用フォルダーの作成は、以上で完了です。

重要 ▶ 使用環境に合わせてオプションを登録する場合は、35 をご覧ください。

参考 ▶ プリントのしかたについては、39 をご覧ください。

テストページを印刷する

ここでは、USB メモリーに出力したテストページを印刷機でプリントする方法を記述しています。



▶ あらかじめ、専用フォルダー (図 27) を作成した USB メモリーを、使用してください。

1 プリンターフォルダーを開く

Windows 7 の場合：

[スタート] アイコン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8.1 の場合：

[アプリ] 画面を開き、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 10 の場合：

[スタート] アイコン - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 11 の場合：

[スタート] アイコン - [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

2 インストールした「機種名 (USB)」のプロパティを開く

インストールした「機種名 (USB)」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] を選択してください。

3 [テストページの印刷] をクリックする

4 メッセージが表示されるので、[閉じる] をクリックする

テストページのデータが USB メモリー内に保存されます。



5 印刷機の給紙台に A4 用紙をセットする

6 USB メモリーをパソコンから取り外し、印刷機に接続する

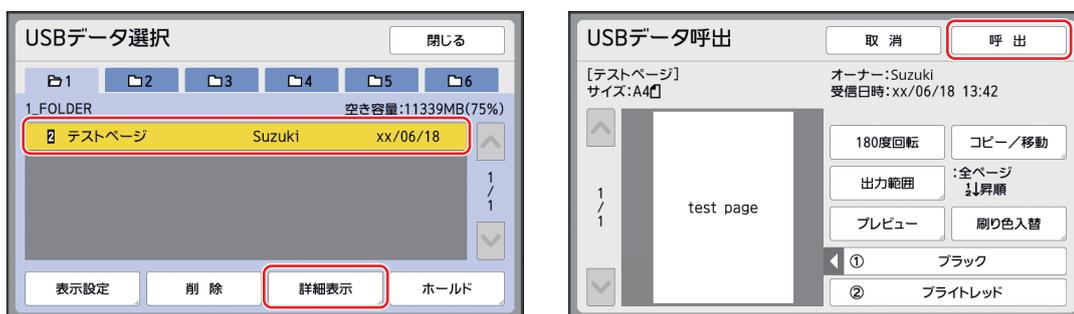
■SF5II Series

印刷機は USB メモリーからデータの受信を開始します。
データ受信が終了すると、印刷機は自動的に印刷を開始します。
印刷後、USB メモリー内のデータは自動的に削除されます。

■SF5II Series 以外

[USB データ選択] 画面が自動的に表示されます。
自動的に表示されない場合は、[機能一覧] タブ画面で [USB メモリー] をタッチしてください。

- ① [1_FOLDER] の [テストページ] を選択し、[詳細表示] をタッチする
- ② [呼出] ボタンにタッチする



- ③ [スタート] キーを押す
テストページが出力されます。

紙メモリープリントを使用する場合

プリンタードライバーをインストールする



- ▶ 手動インストールすると正常に動作しません。必ず、以下の手順でインストールしてください。
- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ Windows Server 2019/Windows Server 2022、プリンター共有には対応していません。

1 「RISO Printer Driver」 DVD-ROM をパソコンにセットする

インストーラーが起動します。インストーラーが起動しない場合は下記フォルダー内の [Setup (.exe)] ファイルをダブルクリックしてください。

32-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 32-bit] フォルダ

64-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 64-bit] フォルダ

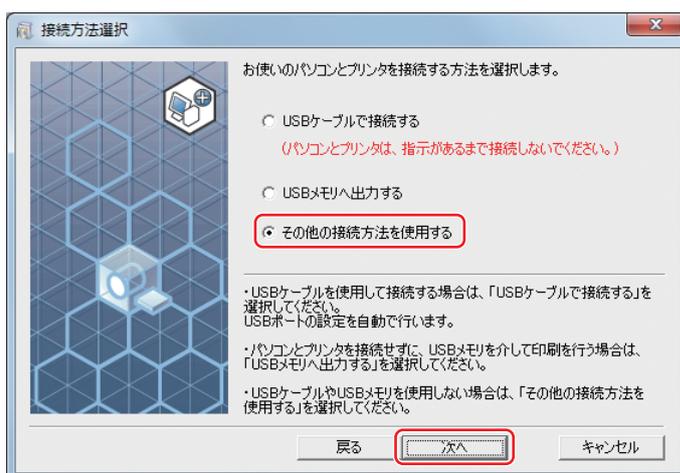


- ▶ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

2 ブルダウンメニューから [日本語] を選択し、[OK] をクリックする

3 [次へ] をクリックする

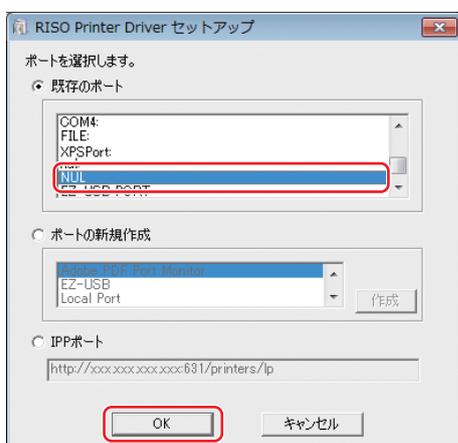
4 [その他の接続方法を使用する] を選択し、[次へ] をクリックする



5 [カスタムインストール] をクリックする



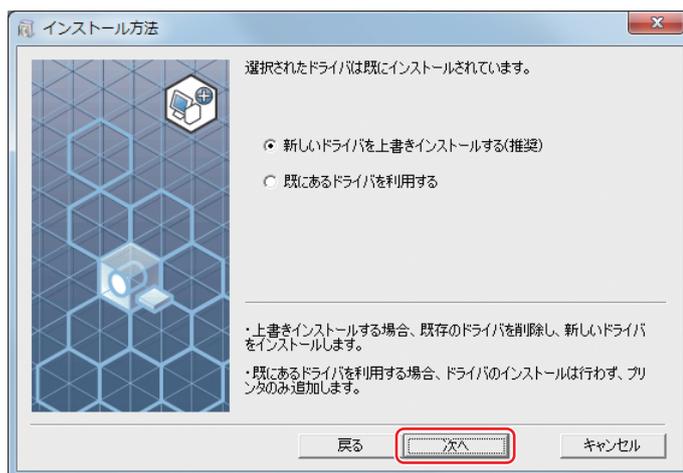
6 [既存のポート] を選択し、[NUL] を選択し、[OK] をクリックする



- 参考** ▶ NUL ポートが存在しない場合は、以下の手順で作成してください。
- ① [ポートの新規作成] を選択する
 - ② [Local Port] を選択し、[作成] を押す
 - ③ [ポート名] ダイアログに [NUL] と入力し [OK] を押す

7 使用する印刷機の「機種名」を選択し、[次へ] をクリックする

- 参考** ▶ 選択したドライバーがすでにインストールされている場合は、[インストール方法] ダイアログボックスが表示されますので、[次へ] をクリックしてください。



8 [次へ] をクリックする

プリンター名の後ろに「(紙メモリープリント)」を入力してください。



9 [インストール] をクリックする

取扱説明書（本書）のインストールが不要の場合は、[取扱説明書（PDF）もインストールする] のチェックを外します。



▶ [Windows セキュリティ] のダイアログボックスが表示された場合は、[インストール] をクリックしてください。

10 「テストページを印刷しますか？」と表示されるので、[いいえ] をクリックする



▶ パソコンと印刷機が接続されていないため、[はい] をクリックしてもテストページは印刷されません。

11 [ReadMe を表示] をクリックする

ReadMeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



- ▶ パソコンと印刷機が接続されていないため、[プリンターから情報を取得] をクリックしても、情報取得することはできません。
- ▶ 使用環境に合わせてオプションを登録する場合は、[図 35](#) をご覧ください。



12 [終了] をクリックする

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。

[今すぐ再起動する] にチェックを入れておくと、[終了] をクリックした後にパソコンが再起動されます。

13 パソコンから「RISO Printer Driver」DVD-ROM を取り出す



- ▶ 取り出した DVD-ROM は、大切に保管してください。

プリンタードライバーのインストールは、以上で完了です。



- ▶ プリントのしかたについては、[図 39](#) をご覧ください。

使用環境に合わせて登録する

オプション機器登録・用紙登録・インク色登録・自動取得

ご使用の環境に合わせて、オプション機器・定形外用紙・インク色登録および自動取得の設定を行います。

1 プリンターフォルダーを開く

Windows 7 の場合：

[スタート] アイコン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8.1 の場合：

[「アプリ」画面を開き、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 10 の場合：

[スタート] アイコン - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 11 の場合：

[スタート] アイコン - [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

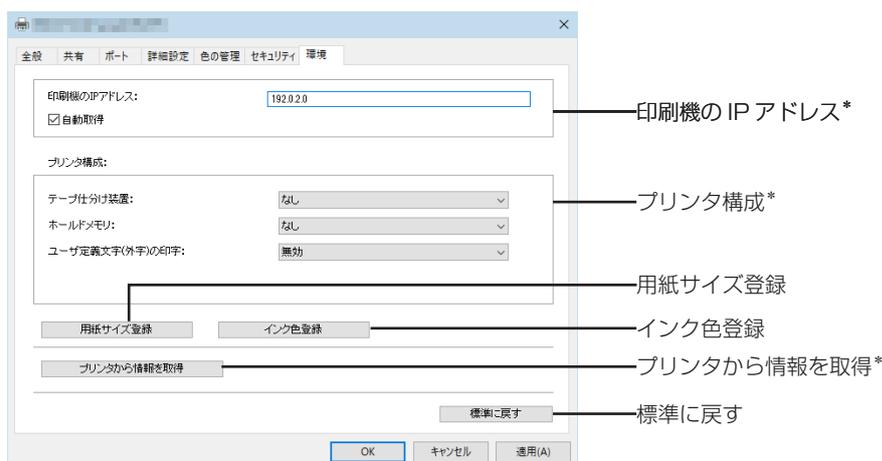
Windows Server 2019/Windows Sever 2022 の場合：

[スタート] アイコン - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

2 プリンターのプロパティを開く

プリンターフォルダーの RISO 印刷機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。

表示されたダイアログボックスで、[環境] タブをクリックします。



* [印刷機の IP アドレス]、[プリンター構成] の [ホールドメモリ]、[プリンターから情報を取得] は、USB メモリー用プリンタードライバーでは表示されません。

3 必要に応じて登録をする

■ IP アドレスを登録する（ネットワーク接続の場合のみ）

プリンターの機器情報（インク色、オプション機器）を取得するための設定をします。

印刷機の IP アドレス： 接続されている印刷機の IP アドレスを入力してください。

[自動取得]

チェックあり： プリンタープロパティ画面を開くたびに印刷機にセットされているインクの色情報を取得し、プリンタードライバーのインク色設定に反映させます。

また、プリンタープロパティ画面を開かないで印刷する場合は、印刷処理の前にインク色情報を取得し、一時的に印刷機にセットされているインクをプリンタードライバーの設定に反映させ出力を行います。

チェックなし： インク色情報の更新は、[更新] ボタン（[イメージ処理] タブ (44 59)）を押した時のみ行います。

■ プリンターの構成を手動で設定する

オプションの構成を変更できます。以下の項目を手動で設定します。

テープ仕分け装置 : テープ仕分け装置搭載時に「あり」を選択します。

ホールドメモリ^{*1} : メモリーカード搭載時に「あり」を選択します。（通常版プリンタードライバーのみ）

ユーザー定義文字（外字）の印字^{*2} : ユーザー定義文字（外字）の印刷処理の [有効] / [無効] を設定します。

* 1 : SF5II Series では表示されません。

* 2 : MF9W/MF9/MF6/RE6MF/SF9x9 では表示されません。

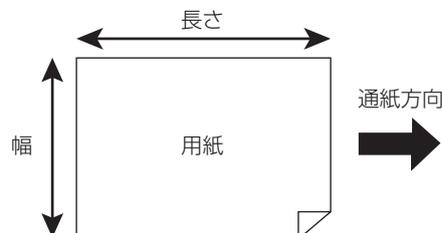
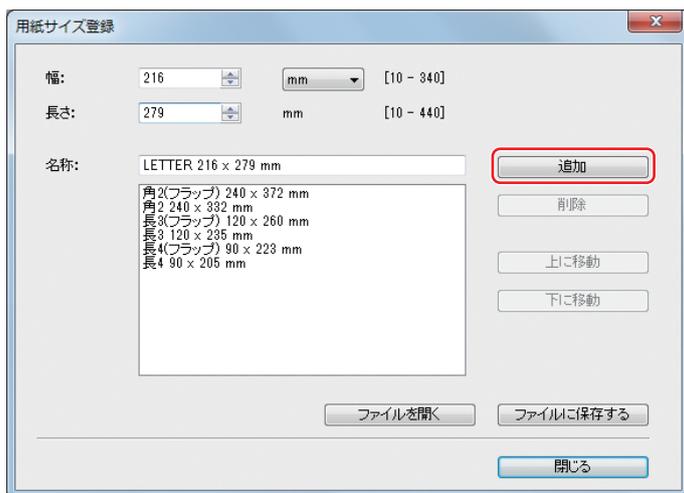
■ 定形外用紙を登録する

よく使う定形外の用紙に、名前をつけて登録することができます。

ここで登録した用紙は [基本] タブ (44 44) の [原稿サイズ] に表示されます。

① [用紙サイズ登録] ボタンをクリックすると [用紙サイズ登録] ダイアログボックスが表示されます。

② 幅、長さ、名称を入力し、[追加] ボタンをクリックします。
ダイアログボックスのリストに、登録した名称が表示されます。



参考 ▶ 工場出荷時は、以下の用紙サイズが登録されています。
必要に応じて、消去や変更もできます。

- ・ 角 2 (フラップ) 240 × 372 mm
- ・ 角 2 240 × 332 mm
- ・ 長 3 (フラップ) 120 × 260 mm
- ・ 長 3 120 × 235 mm
- ・ 長 4 (フラップ) 90 × 223 mm^{*3}
- ・ 長 4 90 × 205 mm^{*3}

* 3 : SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series には登録されていません。

③ [用紙サイズ登録] ダイアログボックスで、[閉じる] ボタンをクリックします。



- ▶ 登録したユーザー定義用紙は [ファイルに保存する] ボタンをクリックすると用紙サイズ登録ファイル（拡張子 .udp）として保存することができます。用紙サイズ登録ファイルから用紙を登録する場合は、[ファイルを開く] ボタンをクリックしてファイルを指定してください。
- ▶ 名称欄に、名称とサイズを入力しておくとう紙選択時にサイズが確認できて便利です。入力できる文字数は、30文字です。
- ▶ 登録できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- ▶ 登録した用紙を削除する場合は、削除する用紙を選択し、[削除] をクリックしてください。

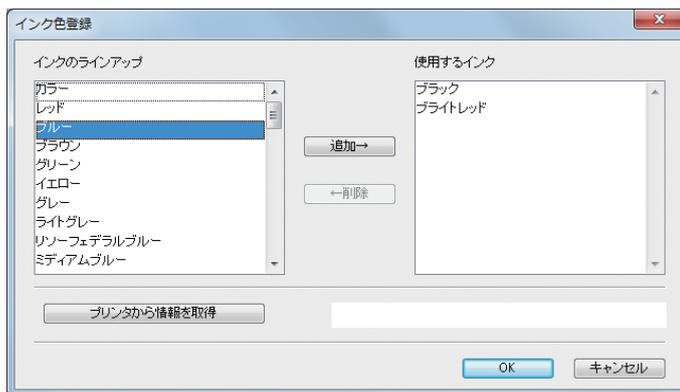
■ インク色を登録する

お手持ちのカラードラムのインク色を登録します。

ここで登録したインクの色は [基本] タブ (44) の [印刷インク色] のプルダウンメニューに表示されます。

① [インク色登録] をクリックすると、[インク色登録] ダイアログボックスが表示されます。

② [インク色登録] ダイアログボックスの [インクのラインアップ] から、持っているインクの色を選び、[追加] ボタンをクリックする。



③ [OK] ボタンをクリックする。



- ▶ IP アドレスを設定している場合、[プリンターから情報を取得] をクリックすると、インク色を取得しリストに反映します。（ネットワーク接続の場合のみ）

■ プリンターから情報を取得する（ネットワーク接続の場合のみ）

印刷機の IP アドレスを登録している場合、[プリンターから情報を取得] をクリックすると、プリンター機器情報（インク色、オプション機器）を取得し、設定に反映します。

■ 標準に戻す

[環境] タブの設定を、標準に戻します。

4 設定を完了する

[環境] タブの [OK] ボタンをクリックします。



第 3 章

操作のしかた

プリントのしかた	39
【印刷設定】 の設定方法	43
■ [基本] タブ	44
■ [レイアウト] タブ	51
■ [分版] タブ	55
■ [イメージ処理] タブ	59
■ [応用] タブ	62
■ [オプション] タブ	65
■ [バージョン] タブ	66
RISORINC 形式ファイルを作成するには	67
■ RISORINC 形式ファイル用の Local Port の追加方法	67
■ RISORINC 形式ファイル用の Local Port の選択方法	68
■ RISORINC 形式ファイルへの出力方法	69

プリントのしかた

パソコンで作成した原稿データのプリントは、以下の手順で行います。

あらかじめパソコンに、必要なプリンタードライバーがインストールされていることを確認しておいてください。
接続されているオプション機器や、ご使用の印刷機によって設定できる項目は異なります。



- ▶ 印刷機で印刷できる領域（プリントエリア）はご使用の印刷機によって異なります。ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- ▶ その他の制限事項については、ご使用の印刷機の取扱説明書もあわせてお読みください。

1 印刷機の準備をする

印刷機の電源が [ON] になっていることを確認し、出力用紙サイズと同じサイズの内紙をセットします。給紙台、排紙台を調整しておきます。

詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。

2 [印刷] ダイアログボックスを表示する

プリントする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル] メニューから [印刷] (または [プリント]) を選択します。

3 プリンタードライバーを選択する

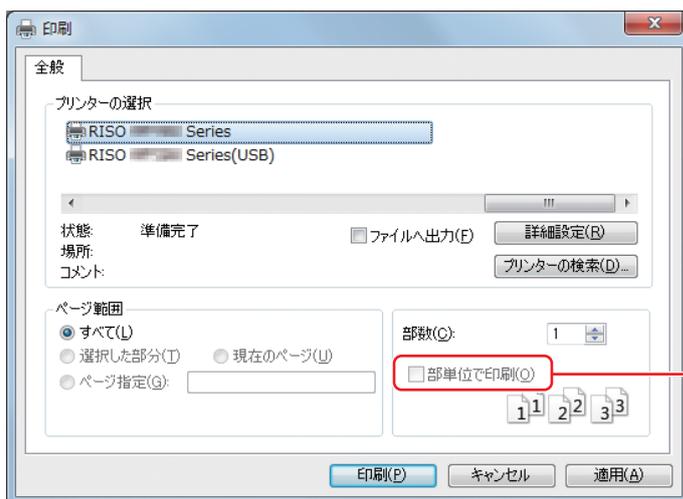
[プリンターの選択] の欄で、ご使用の印刷機に対応するプリンタードライバーを選択します。



- ▶ USB メモリーを使用してプリントするときは、「ご使用の印刷機名 (USB)」を選択し、USB メモリーをパソコンに接続してください。
- ▶ ケーブル接続していない環境で [紙メモリープリント] を使用する場合は、「ご使用の印刷機名 (紙メモリープリント)」を選択してください。

4 印刷部数（枚数）を設定する

印刷部数（枚数）、印刷範囲を指定します。



[部単位で印刷] のチェックマークを外す



- ▶ [部単位で印刷] のチェック項目がある場合には、必ずチェックマークを外して無効にしてください。（有効にすると、1枚印刷するごとに製版を繰り返してしまいます。）
- ▶ 複数ページが1つのファイルになっている原稿で、用紙サイズや用紙の向きが異なるページがある場合、ページ範囲を [すべて] にすると正しく印刷できません。用紙サイズや用紙の向きが同じページごとに [ページ指定] で印刷してください。



- ▶ 上記の画面は一例です。画面のレイアウトやボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

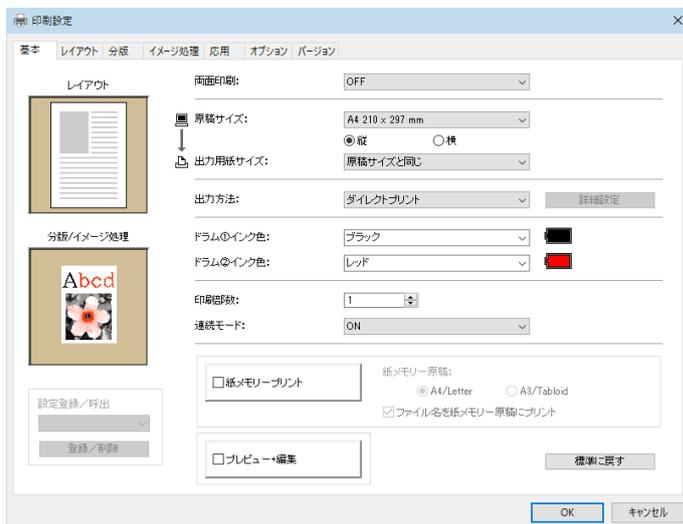
5 プリント条件を設定する

[詳細設定] ボタンをクリックして、[印刷設定] ダイアログボックスを表示します。
ダイアログボックス上端のタブをクリックして、各設定項目を表示します。



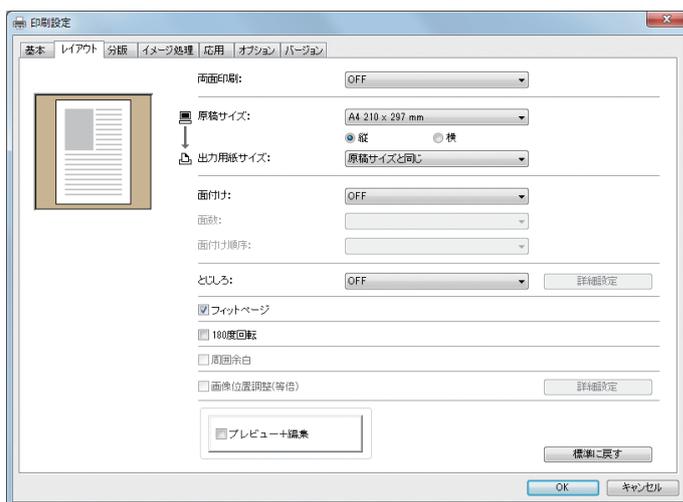
▶ プリンターの設定に関するアクセス権によっては、設定できない項目もあります。

[基本] タブ (詳細設定は [44](#))



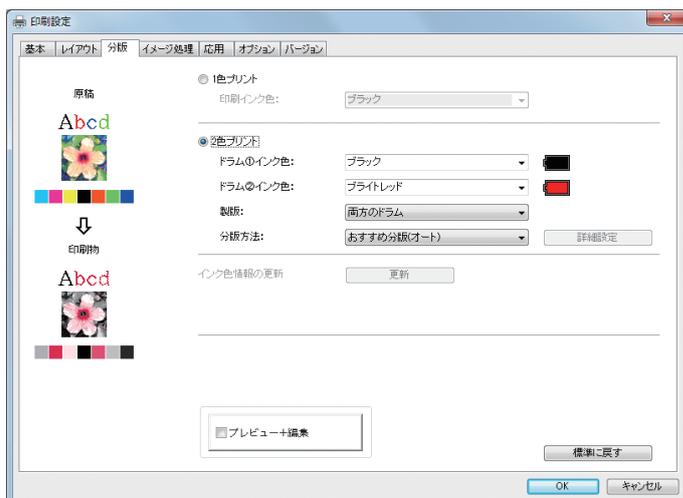
- ▶ 原稿サイズ、印刷の向きは、必ず作成アプリケーションの用紙設定と合わせて設定してください。
- ▶ 紙メモリープリント用プリンタードライバーを選択している場合は、必ず [紙メモリープリント] にチェックを入れてください。

[レイアウト] タブ (詳細設定は [51](#))



- ▶ 原稿サイズ、印刷の向きは、必ず作成アプリケーションの用紙設定と合わせて設定してください。

[分版] タブ (詳細設定は 65)

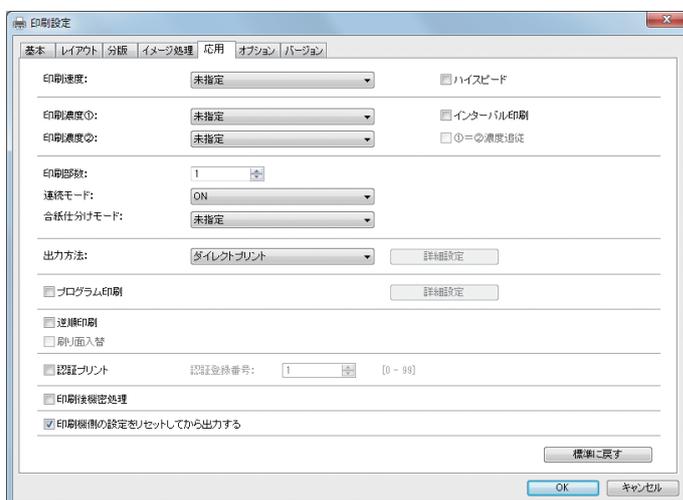


- ▶ 単色機では表示されません。
- ▶ 両面機または2色機で2色プリントする場合は、[製版]、[分版方法]を設定してください。

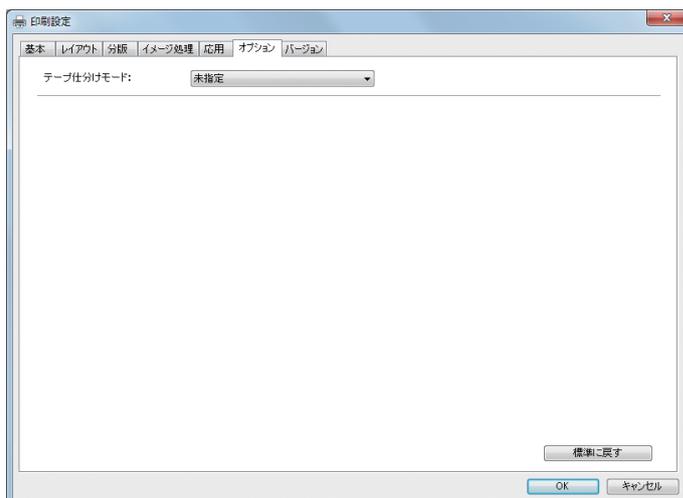
[イメージ処理] タブ (詳細設定は 59)



[応用] タブ (詳細設定は 62)



[オプション] タブ (詳細設定は [65](#))



6 プリントを指示する

[OK] ボタンをクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。

[印刷] ダイアログボックスで [OK] ボタン、または [印刷] ボタンをクリックします。

● ケーブルで接続している場合

原稿データが印刷機に送られます。

印刷機はデータの受信完了後、[連続モード] ([48](#)) の設定に従って、製版・印刷を行います。

プリント方法の詳細は、印刷機の取扱説明書をご覧ください。



▶ [出力方法] ([46](#)) で、プリントと同時に印刷機にデータを保存することもできます。(SF5II ではできません。)

● USB メモリーを使用してプリントする場合

原稿データが USB メモリーに保存されます。USB メモリーをパソコンから取り外し、印刷機に接続してください。

SF5II Seies

印刷機は USB メモリーからデータの受信を開始します。

受信後、[連続モード] ([48](#)) の設定に従って、製版・印刷を行います。

印刷後、USB メモリー内のデータは自動的に削除されます。

SF5II Seies 以外

・ [出力方法] ([46](#)) を [USB メモリへ出力] に設定した場合

印刷機のパネルに [USB データ選択] 画面が自動的に表示されます。

自動的に表示されない場合は、[機能一覧] タブ画面で [USB メモリー] をタッチしてください。

① 保存したデータを選択し、[詳細表示] をタッチする。

② [呼出] ボタンをタッチする。

③ [スタート] キーを押す。

[連続モード] ([48](#)) の設定に従って、製版・印刷を行います。

・ [出力方法] ([46](#)) を [USB メモリへ出力 (自動製版)] に設定した場合

印刷機は USB メモリーからデータの受信を自動的に開始します。

受信後、[連続モード] ([48](#)) の設定に従って、製版・印刷を行います。

印刷後、USB メモリー内のデータは自動的に削除されます。

プリント方法の詳細は、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

● [紙メモリープリント] を使用する場合

「プレビュー+編集」ツールが自動的に起動し、紙メモリーパターンに変換されます。

当社推奨プリンターから紙メモリーパターンを出力してください。出力方法の詳細は [78](#) をご覧ください。

出力された紙メモリー原稿は印刷機で読み込むことで、プリントすることができます。

プリント方法の詳細は、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

[印刷設定] の設定方法



- ▶ 通常版プリンタードライバーと USB メモリー用プリンタードライバーは、[出力方法] の設定により、プリンタードライバーの設定が無効になる機能（項目）があります。
- ▶ [紙メモリープリント] を使用する場合、プリンタードライバーの設定が無効になる機能（項目）があります。

プリンタードライバーの種類 設定項目		通常版 プリンタードライバー		USB メモリー用 プリンタードライバー		[紙メモリー プリント]
		出力方法* ² ダイレクト プリント	ホールド	USB メモリー へ出力	USB メモリーへ 出力 (自動製版)	
[基本]、[レイアウト]、 [分版]* ¹ 、[イメージ 処理] タブ	プレビュー+編集* ¹	○	○	○	○	×* ⁴
[基本]、[応用] タブ	印刷部数	○	×	×	○	×* ⁴
	連続モード	○	×	×	○	×* ⁴
[基本]、 [イメージ処理] タブ	印刷インク色 / ドラムインク色	○	○	○	○	×* ⁴
[レイアウト] タブ	180 度回転	○	×	×	○	×* ⁴
[分版]* ¹ タブ	2 色プリント製版	○	○	○	○	×* ⁴
[応用] タブ	印刷速度	○	×	×	○	×* ⁴
	印刷濃度	○	×	×	○	×* ⁴
	ハイスピード	○	×	×	○	×* ⁴
	インターバル印刷* ²	○	×	×	○	×* ⁴
	①=②濃度追従* ³	○	○	○	○	×* ⁴
	合紙仕分けモード	○	×	×	○	×* ⁴
	プログラム印刷* ²	○	×	×	○	×* ⁴
	逆順印刷	○	○	○	○	×* ⁴
	刷り面入替* ³	○	○	○	○	×* ⁴
	認証プリント* ²	○	○	○	×	×* ⁴
	印刷後機密処理	○	×	×	○	×* ⁴
印刷機側の設定をリ セットしてから出力す る	○	×	×	○	×* ⁴	
[オプション] タブ	テープ仕分けモード	○	×	×	○	×* ⁴

○：プリンタードライバーの設定が有効

×：プリンタードライバーでは設定ができません。プリント時に、印刷機の操作パネルで設定してください。

*1：単色機では表示されません。

*2：SF5II Series では表示されません。

*3：両面機のみ表示されます。

*4：MF9W/MF9/MF6/RE6MF/SF9x9 Series では設定できますが、反映はされません。

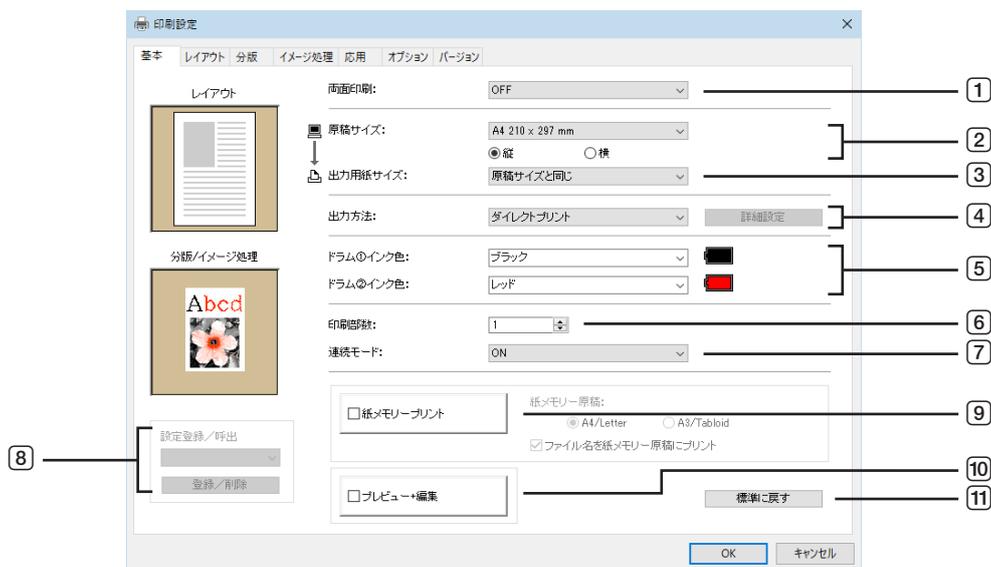


- ▶ 本機と連携機（別売）をネットワーク経由で接続し、環境設定の [自動振分機能] と [受信ジョブ自動振分] を有効にしている場合、印刷枚数に応じて本機と連携機のどちらでプリントするかが自動的に選択されます。[自動振分] 機能については本機の取扱説明書をご確認ください。

ただし、以下の機能が設定されているときは印刷枚数に関係なく、本機でプリントされます。

- [連続モード] - [OFF] (48)
- [180 度回転] (53)
- [2 色プリント] (55)
- [ハイスピード] (62)
- [インターバル印刷] (63)
- [合紙仕分けモード] (63)
- [プログラム印刷] (63)
- [印刷後機密処理] (64)
- [テープ仕分けモード] (65)

[基本] タブ



- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| ① 両面印刷* ¹ | ⑦ 連続モード |
| ② 原稿サイズ | ⑧ 設定登録 / 呼出 |
| ③ 出力用紙サイズ | ⑨ 紙メモリープリント |
| ④ 出力方法* ² | 紙メモリー原稿* ⁴ |
| ⑤ 印刷インク色 / ドラムインク色 | ファイル名を紙メモリー原稿にプリント* ⁵ |
| ⑥ 印刷部数 | ⑩ プレビュー + 編集* ³ |
| | ⑪ 標準に戻す |

* 1 両面機のみ表示されます。

* 2 SF5II Series では表示されません。

* 3 単色機では表示されません。

* 4 MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series では表示されません。

* 5 MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series のみ表示されます。

① 両面印刷

両面機のみ表示されます。

とじ方向を選択し、両面印刷を行います。

OFF : 両面印刷を行いません。

長辺とじ : 用紙の長辺をとじるように、両面印刷します。

短辺とじ : 用紙の短辺をとじるように、両面印刷します。

② 原稿サイズ

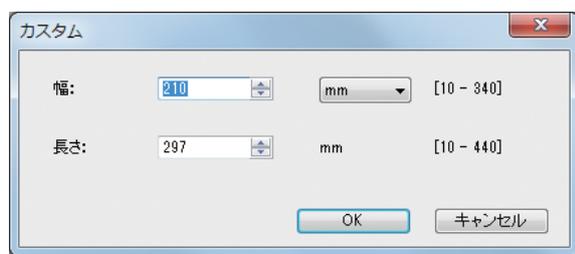
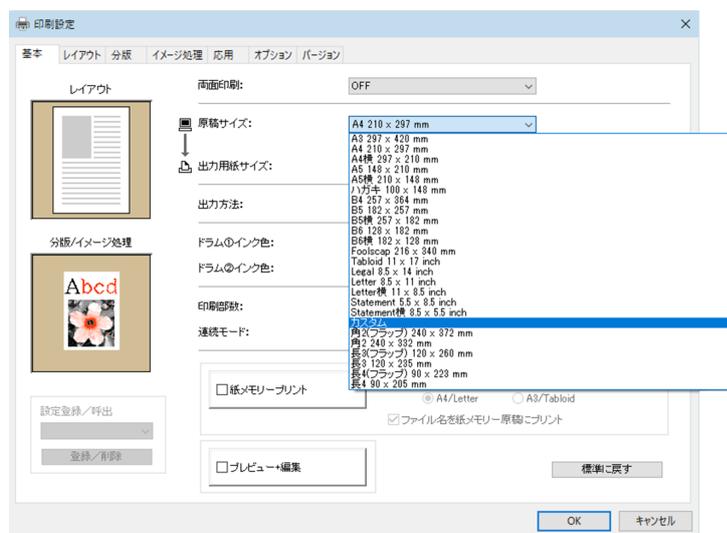
原稿のサイズと印刷の向きを設定します。



▶ 必ず、原稿データを作成したアプリケーションで設定した用紙サイズと同じサイズを指定してください。

▶ 印刷機で横通紙する場合は、アプリケーションの用紙サイズであらかじめ「横」の付くサイズを選んでください。

[カスタム] を選択すると、[カスタム] ダイアログボックスが開きます。用紙幅・用紙長さをそれぞれ入力してください。

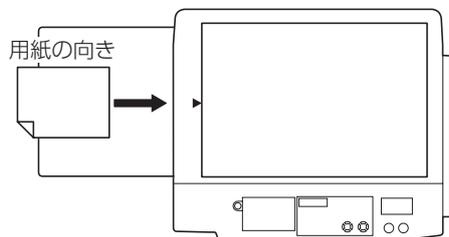


- 参考**
- ▶ 定形外の用紙も、あらかじめ登録することでプルダウンメニューから選択することができます。(☞ 36)
 - ▶ [カスタム] に入力できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
 - ▶ 単位は [mm]、[inch] を選択できます。

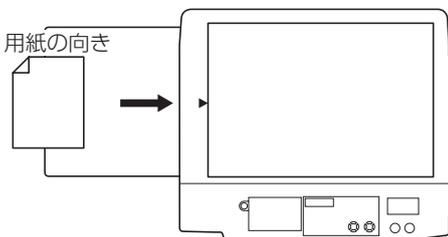
【縦】 【横】

印刷用紙の通紙方向にデータのプリント方向を合わせるための設定です。印刷の向きを指定してください。

用紙の向き：縦



用紙の向き：横



- 重要**
- ▶ 必ず、文書を作成したアプリケーションで設定した印刷の向きと同じ向きを指定してください。異なる向きを指定すると正しく印刷できません。

③ 出力用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを選択します。
 拡大縮小を行わない場合は、「原稿サイズと同じ」を選択してください。
 原稿サイズと異なる用紙サイズを選択すると、拡大縮小を行います。



▶ [画像位置調整 (等倍)] (☞ 54) をありに設定した場合は、拡大縮小を行いません。

④ 出力方法

SF5II Series では表示されません。

通常版プリンタードライバーの場合

[環境] タブ (☞ 36) で [ホールドメモリー] を「あり」にしている場合に表示されます。

ダイレクトプリント : 印刷機にデータを送り、連続モードの設定に従ってプリントを開始します。プリント終了後、データは自動的に消去されます。

プリント&ホールド : ダイレクトプリントを行い、データは印刷機に保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

ホールド : 印刷機にデータを送り保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

USB メモリー用プリンタードライバーの場合

USB メモリへ出力 : USB メモリーにデータを出力します。USB メモリー内の保存先フォルダーを指定することができます。(☞ 47)

USB メモリへ出力 (自動製版) : USB メモリーにデータを送ります。プリント時は、連続モードの設定に従ってプリントします。印刷機で製版を行うと、USB メモリー内のデータは自動的に消去されます。

保存先フォルダーを指定することはできません。([自動製版] フォルダーに入ります。)

[詳細設定]

通常版プリンタードライバーの場合

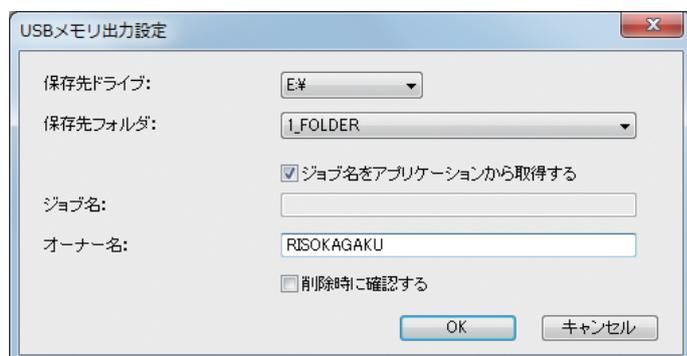
ホールド時に必要な付加情報を設定します。下記の項目内容が、原稿データと共にホールドされます。ホールドするデータの識別に利用できます。

[詳細設定] ボタンは、出力方法で [プリント&ホールド]、[ホールド] を選択すると、クリックできるようになります。

[詳細設定] ボタンをクリックすると [ホールドメモリ出力設定] ダイアログボックスが開きます。

USB メモリー用プリンタードライバーの場合

USB メモリー出力時に必要な付加情報を設定します。下記の項目内容が、原稿データと共に保存されます。出力するデータの識別に利用できます。[詳細設定] ボタンをクリックすると [USB メモリ出力設定] ダイアログボックスが開きます。



ジョブ名をアプリケーションから取得する：

チェックすると、ジョブ名を原稿を作成したアプリケーションから自動的に取得します。

ジョブ名：

アプリケーションで設定したジョブ名とは、異なる名前を付ける場合に入力します。

オーナー名：

ホールドするデータまたは USB メモリーに出力するデータの管理者名を入力できます。デフォルトは、コンピュータのログインユーザー名です。

保存先フォルダ：

ホールドメモリー、または USB メモリーの保存先フォルダー（1～6）を指定します。

保存先ドライブ（USB メモリー用プリンタードライバーのみ）：

USB メモリーが接続されているドライブを選択します。プルダウンメニューには、USB メモリーとして認識されたドライブが表示されます。

削除時に確認する：

チェックすると、印刷機からホールドデータを削除する際や、または USB メモリー内のデータを削除する際に、確認メッセージが操作パネル上に表示されます。



▶ [ジョブ名] と [オーナー名] に下記の禁止文字は使わないでください。

禁止文字： ¥ / : , ; * ? " < > |



▶ USB メモリー用プリンタードライバーの場合、[出力方法] (46) で [USB メモリへ出力 (自動製版)] が選択されているときは、データはプリント終了後、自動的に消去 (削除) されます。

⑤ 印刷インク色/ドラムインク色

[インク色情報の更新] (単色機は [イメージ処理] タブ (59)、両面機と2色機は [分版] タブ (55)) を実行してインク色情報の取得が完了すると、印刷機にセットされているインク色に自動設定されインク色名の文字が青色で表示されます。

情報取得がされない場合は、印刷機にセットされているインク色を手動で選択してください。

⑥ 印刷部数

印刷部数は、基本的には [印刷] ダイアログボックス (図 39) で設定しますが、[印刷] ダイアログボックスに部数設定がないアプリケーションソフトの場合は、ここで入力します。

⑦ 連続モード

製版・印刷の連続方法 (プリントの停止タイミング) を設定します。

試し刷りを確認したいときやページごとに印刷をいったん止めたいときは、OFF の中からタイミングを選択してください。

- ON : 製版から印刷まで連続して行います。複数ページある場合も全ページ止まらずにプリントします。
- OFF - 製版前ストップ (オート印刷) : データ受信後、製版する前に停止します。用紙を載せ換えたり、ドラムを交換したりできます。また、印刷機の液晶パネルに印刷イメージを表示させて、印刷物の内容を確認することができます。その後、印刷機の<スタート>キーで製版から印刷 (オート印刷) を開始します。
- OFF - 印刷前ストップ (オート製版) : 製版後、試し刷りを 1 枚出した状態で停止します。印刷物の内容を確認したり、位置を調整したりすることができます。その後、印刷機の<スタート>キーで印刷を開始します。複数ページある場合は、印刷終了後、次ページの製版を続けて行い (オート製版)、試し刷りを出した状態で停止します。
- OFF - 製版前、印刷前ストップ : 製版前、印刷前両方とも停止します。(印刷機の通常の印刷モード (連続 OFF) です。)



- ▶ 通常版プリンタードライバーの場合、連続モードの設定は、ダイレクトプリント (図 46「出力方法」) 時にのみ有効です。(ホールド時には、この情報は無効になります。) ホールドデータの連続モードの設定は、データを呼び出したときに、印刷機のディスプレイで設定します。
- ▶ [ON] の場合のみ、[合紙仕分けモード] と [テープ仕分けモード] が設定できます。



- ▶ USB メモリー用プリンタードライバーで、[出力方法] (図 46) を [USB メモリへ出力 (自動製版)] に設定した場合は、ここで設定した [連続モード] に従って製版・印刷を実行します。そのため、[OFF - 製版前ストップ (オート印刷)]、[OFF - 製版前、印刷前ストップ] を選択した場合、製版は自動的に開始されません。

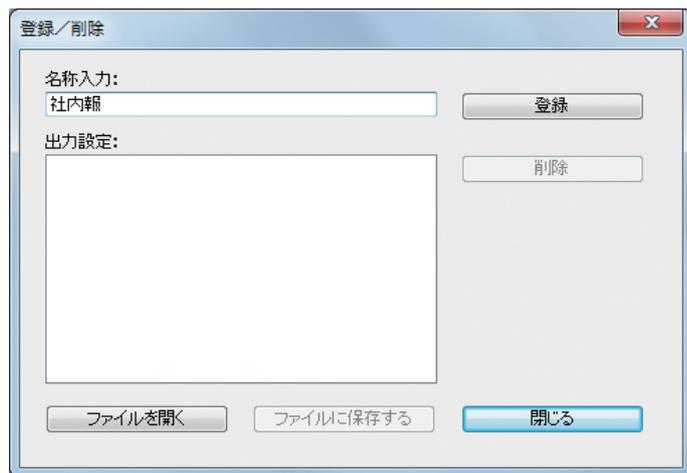
⑧ 設定登録/呼出

よく使用する印刷設定を、名前をつけて登録することができます。
登録した印刷設定は、あとから呼び出すことができます。



▶ 印刷設定の登録 / 削除を行うには、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で、Windows にログオンしておく必要があります。

- ① [印刷設定] ダイアログボックスで、印刷設定を行います。
- ② [登録 / 削除] ボタンをクリックすると [登録 / 削除] ダイアログボックスが表示されます。
- ③ [名称入力:] に名称を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、[出力設定:] に登録した名称が表示されます。



- ④ [閉じる] ボタンをクリックします。



▶ 登録した印刷設定は [ファイルに保存する] ボタンをクリックすると印刷設定登録ファイル（拡張子 .uds）として保存することができます。
印刷設定登録ファイルから印刷設定を登録する場合は [ファイルを開く] ボタンをクリックしてファイルを指定してください。
▶ 登録した印刷設定を削除する場合は、削除する名称を選択し、[削除] をクリックしてください。

⑨ 紙メモリープリント

チェックを入れると、印刷実行時に [プレビュー+編集] ツールが起動し、原稿データが紙メモリーパターンに自動変換されます。紙メモリーパターン化された原稿データを [プレビュー+編集] ツールから出力すると (473)、紙原稿として使用できます。

[紙メモリープリント] の操作手順については、「紙メモリープリント手順」(478) をご覧ください。



▶ Windows Server 2019/Windows Server 2022 には対応していません。

・ MH9W、MH9、MH6、RE6MH、SF9II、SF6II、SF5II、RE6SII Series の場合

[紙メモリー原稿:] で、紙メモリー原稿を [A4/Letter] [A3/Tabloid] のどちらにプリントするかを選択します。選択したサイズの用紙を当社推奨プリンターにセットしてください。（[出力用紙サイズ] (445) とは関係ありません。）

[ファイル名を紙メモリー原稿にプリント] をチェックすると、紙メモリー原稿のフッターにファイル名が印字されます。（MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series のみ。）



▶ 紙メモリー原稿はサイズによって、プリントされるデータ量が異なります。[A3/Tabloid]の方が[A4/Letter]と比べて、データ量を多くプリントすることができます。そのため、プリント枚数を少なくすることができます。

・ MF9W/MF9/MF6/RE6MF/SF9x9 Series の場合

[A4/Letter]、[A3/Tabloid] の選択肢は表示されません。A4 サイズの用紙を当社推奨プリンターにセットしてください。

参考 ▶ 紙メモリー原稿を使用すると、本機をパソコンに接続できない場合でも、パソコンからプリントする時と同じように、高精細にプリントできます。紙メモリー原稿の使用方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

10 プレビュー+編集

単色機では表示されません。

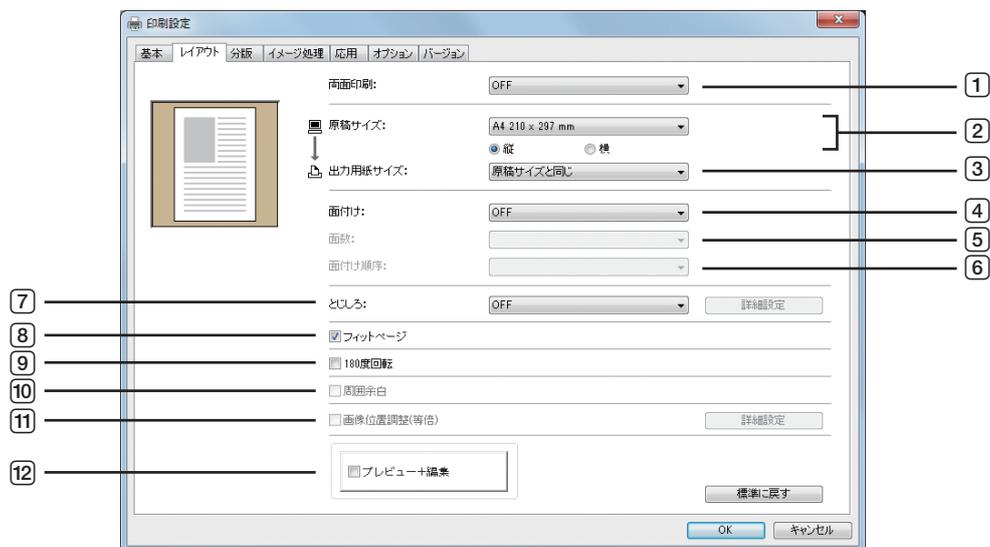
チェックを入れると、印刷実行時に [プレビュー+編集] ツールが起動します。[プレビュー+編集] ツールでは、分版設定の編集、確認や、紙メモリープリント用の変換処理を行うことができます。(73)

11 標準に戻す

[標準に戻す] ボタンをクリックすると、[印刷設定] ダイアログボックスの設定が初期状態に戻ります。

参考 ▶ [レイアウト]、[分版]、[イメージ処理]、[応用]、[オプション] タブにも表示されます。

[レイアウト] タブ



- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① 両面印刷 ^{*1*2} | ⑦ とじしろ |
| ② 原稿サイズ ^{*2} | ⑧ フィットページ |
| ③ 出力用紙サイズ ^{*2} | ⑨ 180度回転 |
| ④ 面付け | ⑩ 周囲余白 |
| ⑤ 面数 | ⑪ 画像位置調整(等倍) |
| ⑥ 面付け順序 | ⑫ プレビュー+編集 ^{*3} |

* 1 両面機のみ表示されます。

* 2 [基本] タブ (44) の設定と連動して設定されます。

* 3 単色機では表示されません。

① 両面印刷

[基本] タブ - [両面印刷] (44)

② 原稿サイズ

[基本] タブ - [原稿サイズ] (44)

③ 出力用紙サイズ

[基本] タブ - [出力用紙サイズ] (45)

④ 面付け

1 枚の印刷用紙に、原稿を複数面付けしてプリントできます。

OFF : 面付けを行いません。

連写 : 同じ原稿を面付けします。

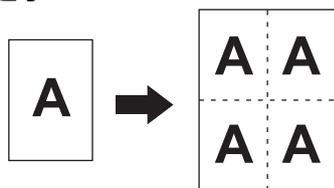
N アップ : 異なる原稿を面付けします。

小冊子* : 中とじて小冊子になるように面付けします。

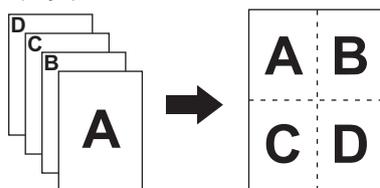
4 頁冊子* : 4 ページ分の原稿を、各片面に対して 2 面ずつ面付けをし、折ったときにページ順になるようにします。

* 両面機のみ表示されます。

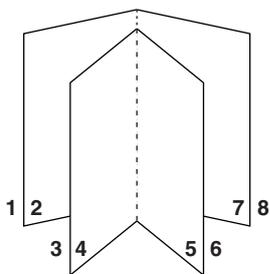
連写



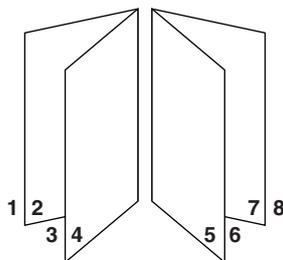
Nアップ



小冊子



4 頁冊子



⑤ 面数

[連写]、[Nアップ] を選択した場合に、面数を選択します。

2面：1 ページに2面で面付けします。

4面：1 ページに4面で面付けします。

⑥ 面付け順序

[Nアップ] や [小冊子]、[4 頁冊子] を選択した場合に、面付け順序や開き方向を選択します。

Nアップ (2面) の場合

左から右へ (上から下へ)：左から右へ、または上から下へ面付けします。

右から左へ (下から上へ)：右から左へ、または下から上へ面付けします。

Nアップ (4面) の場合

左上から横へ：左上から横へ面付けします。

左上から下へ：左上から下へ面付けします。

右上から横へ：右上から横へ面付けします。

右上から下へ：右上から下へ面付けします。

小冊子、4 頁冊子の場合

左開き：左開きになるように面付けします。

右開き：右開きになるように面付けします。

⑦ とじしろ

とじしろ幅を設定します。

OFF : とじしろ幅を設定しません。

左側 : 用紙の左側にとじしろをつけます。

右側 : 用紙の右側にとじしろをつけます。

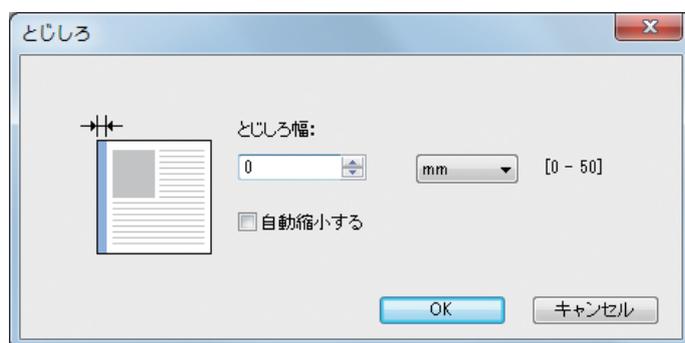
天側 : 用紙の天側にとじしろをつけます。

地側 : 用紙の地側にとじしろをつけます。

中央 : 小冊子、4 頁冊子時に、中央のとじ位置にとじしろをつけます。
連写、N アップの場合は設定できません。

詳細設定 : クリックすると、[とじしろ] ダイアログが開きます。
とじしろ幅と単位を設定してください。

[自動縮小する] にチェックを入れると、原稿が用紙に入りきらない場合に自動的に縮小します。



⑧ フィットページ

通常はチェックを入れてください。

原稿サイズと出力用紙サイズが異なる場合、および面付け印刷 (51) を行う場合、印刷するときに必要な余白がない原稿でも、余白を付けずにそのままプリントします。

余白が少ない原稿の場合、印刷機の印刷範囲を越えた部分はプリントされません。

その場合は、チェックを外すと、印面が欠けないように余白を追加 (縮小率を変更) してプリントします。



▶ [周囲余白] をありに設定した場合は使用できません。

▶ 原稿サイズと出力用紙サイズが同じ場合、チェックの状態にかかわらず、印刷結果は変わりません。

⑨ 180度回転

原稿データを 180 度回転させて出力することができます。

⑩ 周囲余白

チェックすると、原稿サイズを 95% に縮小してプリントできます。



▶ [フィットページ] をありに設定した場合は使用できません。

▶ [画像位置調整 (等倍)] をありに設定した場合は使用できません。

11 画像位置調整（等倍）

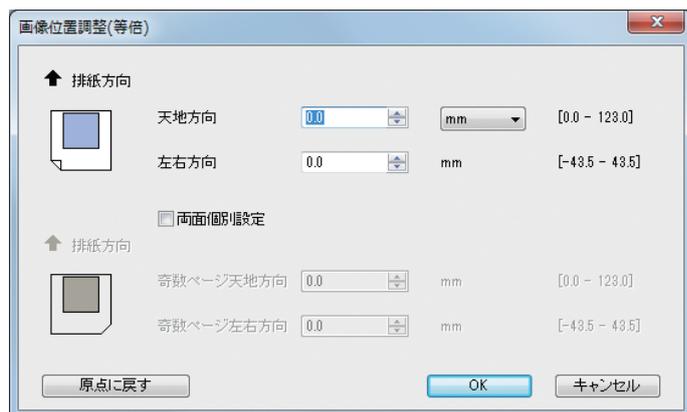
原稿サイズより大きな出力用紙サイズにプリントする場合に、原稿サイズの拡大縮小を行わずに、位置の調整を行います。

チェックを入れ、[詳細設定] をクリックすると [画像位置調整（等倍）] ダイアログが開きます。位置と単位を設定してください。

原稿のサイズと出力用紙サイズによって、設定範囲は変動します。

両面個別設定：両面印刷時にチェックを入れると、表と裏を個別に設定できます。両面機のみ表示されます。

原点に戻す：クリックすると原点に戻ります。



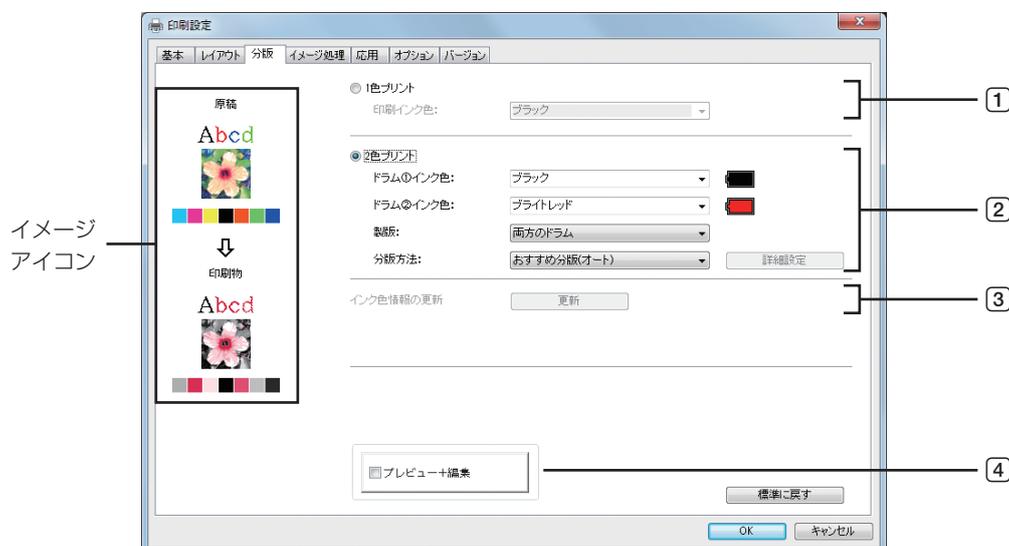
- 参考**
- ▶ 原稿サイズが出力用紙サイズより大きい、または同じ場合は、使用できません。
 - ▶ [周囲余白] をありに設定した場合は、使用できません。
 - ▶ [面付け] を OFF 以外に設定した場合は、使用できません。
 - ▶ 単位は [mm]、[inch] を選択できます。

12 プレビュー+編集

[基本] タブー [プレビュー+編集] (📖 50)

[分版] タブ

両面機、2色機のみ表示されます。



- | | |
|--|-------------|
| ① 1色プリント* ¹
印刷インク色 | ③ インク色情報の更新 |
| ② 2色プリント
ドラム①インク色* ²
ドラム②インク色* ²
製版* ¹
分版方法* ¹ | ④ プレビュー+編集 |

* 1 両面印刷時には設定できません。

* 2 [基本] タブ (44) の設定と連動して設定されます。

① 1色プリント

1色プリントを選択すると単色で印刷します。

印刷インク色：[インク色情報の更新] を実行して情報取得が完了すると、印刷機のドラム①にセットされているインク色に自動設定されインク色名の文字が青色で表示されます。情報取得がされない場合は、印刷したいインク色を手動で設定してください。

参考 ▶ 手動で設定したインク色が、印刷機のドラム①にセットされている場合はドラム①で、印刷機のドラム②にセットされている場合はドラム②で印刷されます。

② 2色プリント

2色プリントを選択すると原稿データの文字・イラスト部分、写真部分を、それぞれ独立させて2色印刷することができます。

重要 ▶ 原稿データの文字列や数字、イラストなどを分版する場合は、あらかじめ、データ作成時にフォントや線に色を設定しておいてください。

設定する色は実際に印刷するインクの色と同じにする必要はありませんが、複数色(3色以上)設定しても、2版に分版されます。

▶ 写真はカラー写真のみ分版できます。モノクロ写真は、ドラム①か②のどちらかに指定してください。

ドラム① インク色、ドラム② インク色：

[インク色情報の更新] を実行して情報取得が完了すると、印刷機のドラムにセットされているインク色に自動設定されインク色名の文字が青色で表示されます。

情報取得がされない場合は、印刷したいインク色を手動で設定してください。

製版：

2色印刷時に、製版するドラムを指定します。

ドラム①のみ

ドラム①のみ製版します。

ドラム②のみ

ドラム②のみ製版します。

両方のドラム

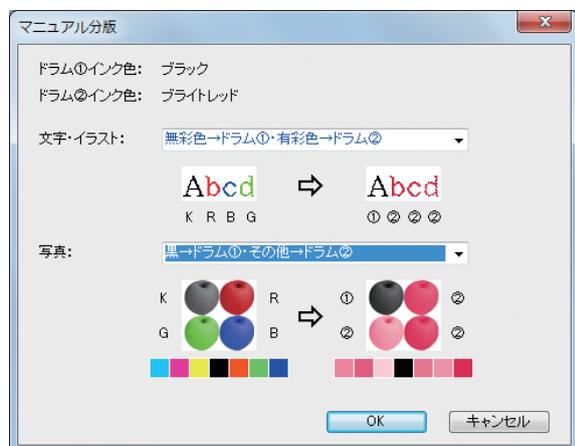
ドラム①、②に原稿を分版し、製版を行います。

分版方法：**おすすめ分版（オート）**

設定されているインク色に合わせて、[文字・イラスト]と「写真」の分版設定をおすすめの分版パラメーターに設定します。設定できた場合は、[マニュアル分版]ダイアログで文字が青色で表示されます。

マニュアル分版

[詳細設定] ボタンをクリックすると、[マニュアル分版]ダイアログが開きます。



選択した分版パラメーターに合わせて、イメージアイコンが変化します。矢印の左側は原稿、右側は印刷物のイメージを表示しています。K/R/B/Gは、それぞれ黒/赤/青/緑の色に対応しています。①/②は、分版されるドラム①/ドラム②に対応しています。

文字・イラスト

- ドラム① :文字・イラストをドラム①でプリントします。
- ドラム② :文字・イラストをドラム②でプリントします。
- 有彩色→ドラム①・無彩色→ドラム② :文字・イラストのカラー部分をドラム①で、黒(灰色)部分をドラム②でプリントします。
- 赤→ドラム①・青黒→ドラム② :文字・イラストの赤・黄・マゼンタなどをドラム①で、青・緑・黒などをドラム②でプリントします。
- 無彩色→ドラム①・有彩色→ドラム② :文字・イラストのカラー部分をドラム②で、黒(灰色)部分をドラム①でプリントします。

- 赤系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 青系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 緑系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 黒→ドラム①・その他→ドラム②
 - その他→ドラム①・赤系→ドラム②
 - その他→ドラム①・青系→ドラム②
 - その他→ドラム①・緑系→ドラム②
 - その他→ドラム①・黒→ドラム②
- :文字・イラストを、ドラム①とドラム②のインク色が重ならないように、スポットカラーとして表現します。印刷時のインク色に応じて選択してください。

写真

- ドラム① :写真部分をドラム①でプリントします。
- ドラム② :写真部分をドラム②でプリントします。

- 赤系→ドラム①・黒→ドラム②
 - 赤系→ドラム①・青系→ドラム②
 - 赤系→ドラム①・緑系→ドラム②
 - 黒→ドラム①・赤系→ドラム②
 - 青系→ドラム①・赤系→ドラム②
 - 緑系→ドラム①・赤系→ドラム②
- :カラーの写真をドラム①とドラム②にセットされているインク色を想定して分版を行います。ドラム①とドラム②のインク色を重ねて、擬似カラーとして表現します。印刷時のインク色に応じて選択してください。

- 赤系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 青系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 緑系→ドラム①・その他→ドラム②
 - 黒→ドラム①・その他→ドラム②
 - グレースケール→ドラム①・その他→ドラム②
 - その他→ドラム①・赤系→ドラム②
 - その他→ドラム①・青系→ドラム②
 - その他→ドラム①・緑系→ドラム②
 - その他→ドラム①・黒→ドラム②
 - その他→ドラム①・グレースケール→ドラム②
- :カラーの写真をドラム①とドラム②にセットされているインク色を想定して分版を行います。ドラム①とドラム②のインク色が重ならないように、スポットカラーとして表現します。印刷時のインク色に応じて選択してください。

参考 ▶それぞれ、ドラム①とドラム②にセットされているインク色を想定して分版を行います。実際にセットされているインクの色と同じ分版を選択する必要はありませんが、その色で印刷したときに、もとの写真の色に近づくように分版処理しています。

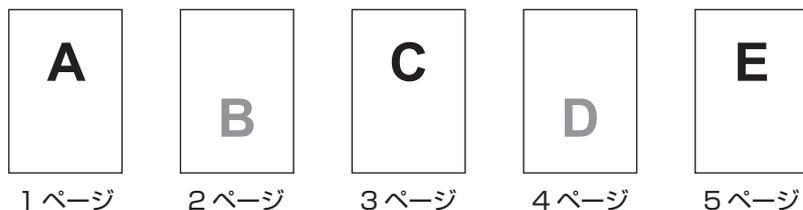
ドリル印刷分版

ドリル印刷は、原稿データを自動的に2色（ドラム①黒、ドラム②赤を想定）に分版し、データを印刷機に送信し製版までを実行する機能です。印刷機は製版後停止しますので、印刷部数の指定・印刷などの操作は、印刷機の手元パネルのドリル印刷画面で行ってください。

分版ページ合成

あらかじめ分版して作成した原稿を合成してプリントします。

原稿の奇数ページをドラム①で、偶数ページをドラム②で製版し、原稿の1ページ目と2ページ目が1枚目の印刷物、原稿の3ページ目と4ページ目が2枚目の印刷物として印刷されます。原稿の総ページ数が奇数の場合、最後の奇数ページはドラム①で製版し、ドラム②は製版しません。

原稿**印刷物****③ インク色情報の更新**

[環境] タブ (☞ 35) で [印刷機の IP アドレス] の設定が必要です。

[更新] ボタンをクリックすると印刷機にセットされているインク色情報をプリンタードライバーに反映します。情報取得の状態（成功・失敗）が下側に表示され、成功の場合はプリンタードライバーのインク色名の文字が青色で表示されます。

④ プレビュー+編集

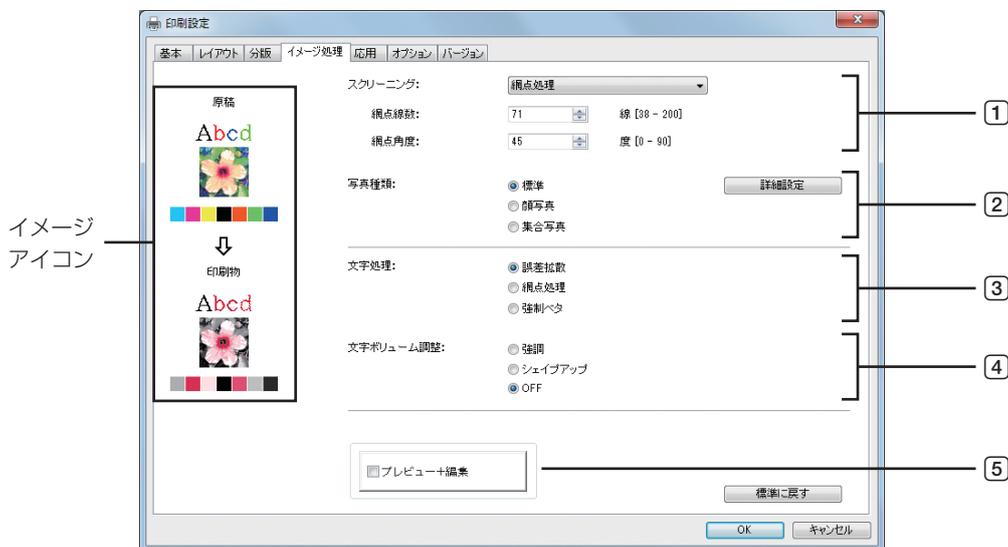
[基本] タブー [プレビュー+編集] (☞ 50)



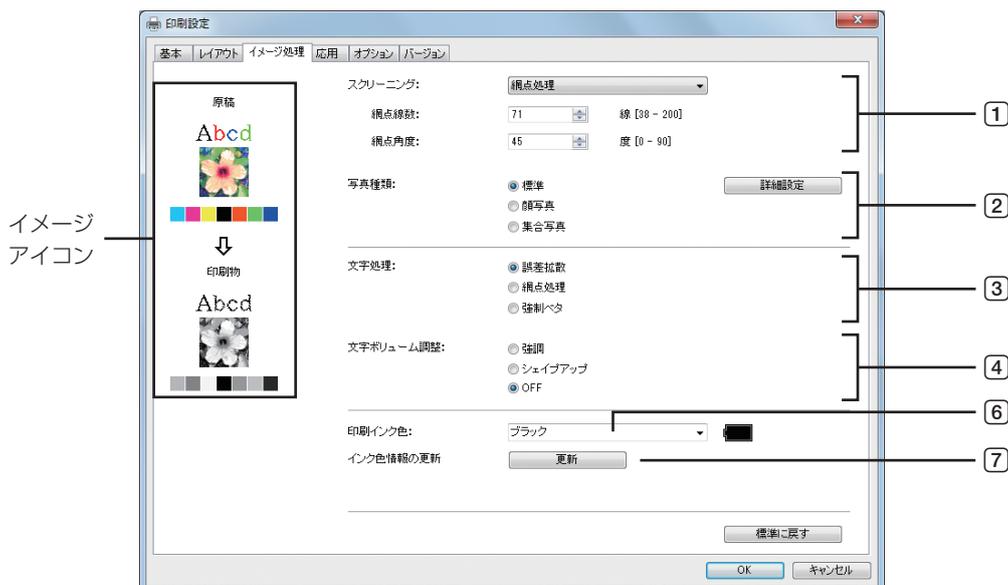
▶ イメージアイコン：[分版] タブの設定内容に応じて原稿および印刷物のイメージが表示されます。実際の原稿および印刷物とは異なります。

[イメージ処理] タブ

■ 両面機、2色機



■ 単色機



① スクリーニング*¹

- 誤差拡散
- 網点処理
 - 網点線数
 - 網点角度

② 写真種類*¹

- 標準
- 顔写真
- 集合写真

③ 文字処理

- 誤差拡散
- 網点処理
- 強制ベタ

④ 文字ボリューム調整

- 強調
- シェイプアップ
- OFF

⑤ プレビュー+編集*²

⑥ 印刷インク色*³*⁴

⑦ インク色情報の更新*⁴

* 1 [マニュアル分版] (45) の設定内容により、変更できない場合があります。

* 2 単色機では表示されません。

* 3 [基本] タブ (44) の設定と連動して設定されます。

* 4 単色機のみ表示されます。

① スクリーニング

中間調やカラー画像を階調表現する処理（ハーフトーン処理）を選択できます。
 選択された内容は、左側の「印刷物（イメージ）」で確認できます。

誤差拡散：原稿の濃度に応じて、1ドット毎に、そのドットを印刷するか、しないかを判断して階調表現を行う処理です。細かい画像も再現しますが、階調表現は、網点処理よりも劣ります。

網点処理：原稿の濃度に応じて、網点の大きさを変えて階調表現を行う処理です。高い階調表現ができますが、細かい画像の再現は、誤差拡散処理よりも劣ります。

[網点処理] を選択すると網点処理のパラメータを設定することができます。

網点線数：網点の細かさを、線数で設定できます。1インチ（25.4mm）に何個の網点を印刷するかを示し、単位は線で表します。設定範囲は38～200線で、デフォルト値は71線です。

網点角度：網点の並ぶ方向を、角度で設定できます。モアレが発生した場合などに調整します。設定範囲は0～90度で、デフォルト値は、45度です。

② 写真種類

写真画像の種類を選択して、写真画像の仕上がりを設定します。

標準：[詳細設定] ボタンをクリックして、明るさやコントラストなどの設定を行うことができます。

顔写真：バストアップ写真向きの設定です。人物の顔がきれいに印刷できるように、明るめに画像処理します。

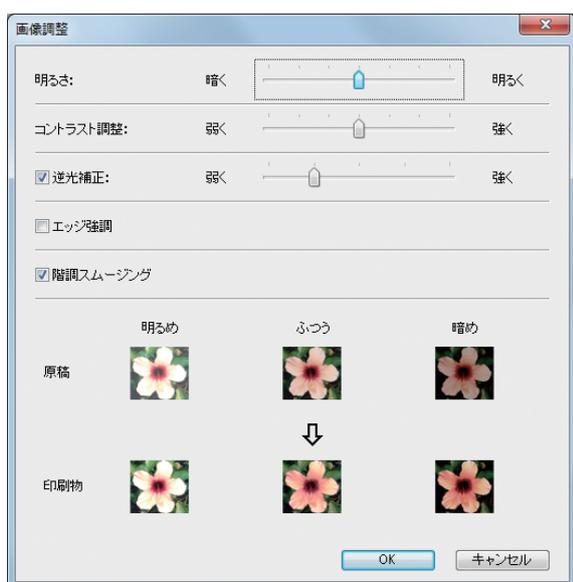
集合写真：集合写真向きの設定です。顔の目鼻が飛ばないように、少し濃いめに画像処理します。

参考

▶ [顔写真] または [集合写真] を選択すると、[標準] で設定した内容は、初期状態に戻ります。

[画像調整]

[詳細設定] ボタンをクリックすると [画像調整] ダイアログボックスが表示されます。



明るさ：写真画像の明るさを7段階で調整できます。

コントラスト調整：写真画像全体のコントラストを7段階で調整できます。

逆光補正：チェックを入れた場合、写真画像の逆光補正を行い、くっきりさせることができます。

エッジ強調：チェックを入れた場合、写真画像のエッジ強調を行い、輪郭をはっきりさせることができます。

階調スムージング：[スクリーニング] の設定が、[網点処理] の場合に有効です。チェックを入れた場合、網点処理の階調表現が滑らかになります。

③ 文字処理

文字の表現方法を指定します。

誤差拡散：文字の色を、階調で表現します。明るい色は薄く、暗い色は濃く印刷されます。

網点処理：文字部を網点で表現します。小さい文字の表現には適しません。

強制ベタ：文字部をすべてベタで表現します。文字部をくっきり表現したい場合に用います。文字の色の違いは表現できません。

④ 文字ボリューム調整

文字の太さを調整できます。

強調：文字を太くして印刷します。(カスレ防止)

シェイプアップ：文字を細くして印刷します。(ツブレ防止)

OFF：文字ボリュームの調整を行いません。

⑤ プレビュー+編集

[基本] タブー [プレビュー+編集] (📖 50)

⑥ 印刷インク色

単色機のみ表示されます。

[基本] タブー [印刷インク色] (📖 47)

⑦ インク色情報の更新

単色機のみ表示されます。

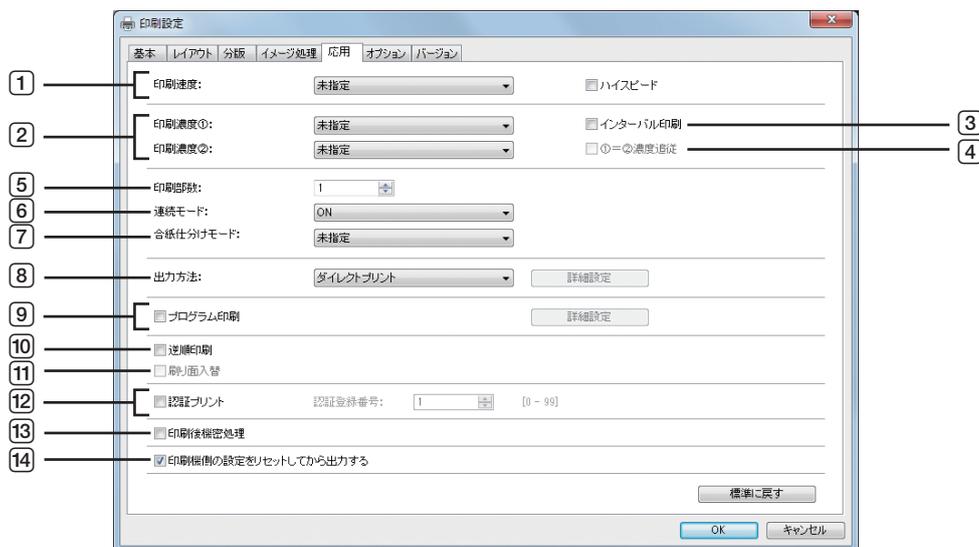
[環境] タブ (📖 35) で [印刷機の IP アドレス] の設定が必要です。

[更新] ボタンをクリックすると印刷機にセットされているインク色情報をプリンタードライバーに反映します。情報取得の状態(成功・失敗)が下側に表示され、成功の場合はプリンタードライバーのインク色名の文字が青色で表示されます。

参考

▶ イメージアイコン：[写真種類] [文字処理] [文字ボリューム調整] の設定内容に応じて、原稿および印刷物のイメージが表示されます。実際の上原稿および印刷物とは異なります。

【応用】 タブ



- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| ① 印刷速度 | ⑨ プログラム印刷* ³ |
| ハイスピード | ⑩ 逆順印刷 |
| ② 印刷濃度 | ⑪ 刷り面入替* ¹ |
| ③ インターバル印刷* ³ | ⑫ 認証プリント* ³ |
| ④ ① = ② 濃度追従* ¹ | 認証登録番号 |
| ⑤ 印刷部数* ² | ⑬ 印刷後機密処理 |
| ⑥ 連続モード* ² | ⑭ 印刷機側の設定をリセットしてから出力する |
| ⑦ 合紙仕分けモード | |
| ⑧ 出力方法* ² * ³ | |

* 1 両面機のみ表示されます。

* 2 [基本] タブの設定と連動して設定されます (44)

* 3 SF5II Series では表示されません。

① 印刷速度

印刷機の印刷速度を5段階で設定します。(両面印刷時には、3段階になります。)

[未指定] にしておくと、印刷機側で設定されている速度で印刷されます。

【ハイスピード】

印刷機側で実行可能な最高速度で印刷されます。(両面印刷時には設定できません。)

重要 ▶ [合紙仕分けモード] と併用できません。

② 印刷濃度

印刷機の印刷濃度を5段階で設定します。

印刷濃度はドラム①、②それぞれ設定することができます。

[未指定] にしておくと、印刷機側で設定されている濃度で印刷されます。

③ インターバル印刷

SF5II Series では表示されません。

印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔をあけることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。
(両面印刷時には設定できません。)

④ ①=②濃度追従

両面機のみ表示されます。

両面印刷を行う場合にチェックを入れると、ドラム②もドラム①と同様の製版/印刷処理を行います。

⑤ 印刷部数

[基本] タブー [印刷部数] (📖 48)

⑥ 連続モード

[基本] タブー [連続モード] (📖 48)

⑦ 合紙仕分けモード

印刷の区切りごとに印刷機の給紙台から合紙(白紙)を挿入することができます。合紙を挿入するタイミングを設定します。

未指定 : 印刷機の設定に従います。

OFF : 合紙を挿入しません。

ジョブごと : ジョブごとに合紙を挿入します。

ページごと : ページごとに合紙を挿入します。



▶ [ハイスピード]、[テープ仕分けモード] と併用できません。

▶ [連続モード] (📖 48) が [ON] の時に設定できます。

⑧ 出力方法

SF5II Series では表示されません。

[基本] タブー [出力方法] (📖 46)

⑨ プログラム印刷

SF5II Series では表示されません。

1枚の原稿から、印刷枚数ごとに何組かに分けてプリントする機能です。

チェックすると [詳細設定] ボタンがクリックできるようになります。[詳細設定] ボタンをクリックすると [プログラム印刷] ダイアログボックスが開きます。

グループ	印刷枚数	組数
1	1	1 組
2	0	1 組
3	0	1 組
4	0	1 組
5	0	1 組
6	0	1 組

仕分け

テープ
 合紙
 OFF

印刷枚数：1組当たり何枚印刷するかを設定します。

組数：印刷枚数で設定した枚数を、何組印刷するかを設定します。

クリア：印刷枚数、組数を初期値に戻します。

仕分け

テープ*：テープによって仕分けを行います。

合紙：合紙によって仕分けを行います。

OFF：仕分けを行いません。

* オプションのテープ仕分け装置が必要です。

⑩ 逆順印刷

チェックを入れると、降順でプリントします。

⑪ 刷り面入替

両面機のみ表示されます。

両面印刷を行う場合にチェックを入れると、表面と裏面(ドラム①とドラム②)が入れ替わるように、プリントします。

⑫ 認証プリント

SF5II Series では表示されません。

認証ジョブとしてプリントします。機密文書などの他人に読まれたくない書類を印刷するときに設定します。

認証ジョブは、印刷機へ送信されても、印刷機の操作パネルで認証操作を行うまで、製版・印刷されません。



▶ USB メモリー用プリンタードライバーの場合、[認証プリント] をチェックすると、自動的に [出力方法] (46) が [USB メモリへ出力] に設定されます。([USB メモリへ出力 (自動製版)] は選択できません。)

▶ [認証プリント] を設定する場合は、あらかじめ、印刷機側で認証設定を行ってください。詳しくは、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

[認証登録番号]

認証ジョブとしてプリントする場合に、印刷機に登録した認証登録番号 (ユーザー登録番号) を入力します。

0 ~ 99 の範囲で、半角文字で入力できます。



▶ [認証プリント]、[認証登録番号] については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

⑬ 印刷後機密処理

すべてのページの製版・印刷終了後、最後に製版したマスターが廃棄され、新しいマスターがセットされます。

次に印刷する人に印刷内容を知られたくない場合に設定します。

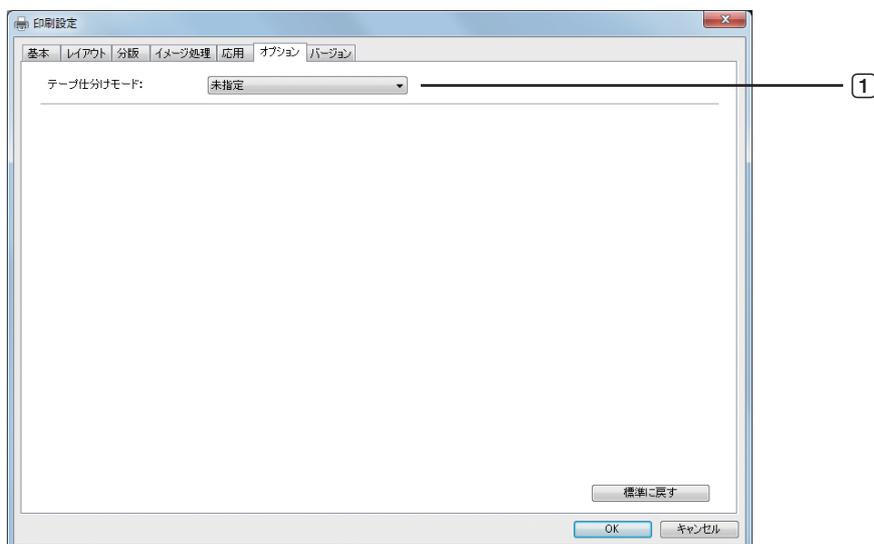
⑭ 印刷機側の設定をリセットしてから出力する

原稿データを印刷機に送る前に、印刷機の設定をリセットします。

基本的には、チェックした状態でのご使用をお勧めします。

[オプション] タブ

[オプション] タブの設定は、[環境] タブ (35) で選択されているオプション機器に対応している場合に表示されます。



① テープ仕分けモード

① テープ仕分けモード

印刷機に接続されているテープ仕分け装置で、テープを挿入するタイミングを設定できます。

未指定 : 印刷機の設定に従います。

OFF : テープを挿入しません。

ジョブごと : ジョブごとにテープを挿入します。

ページごと : ページごとにテープを挿入します。

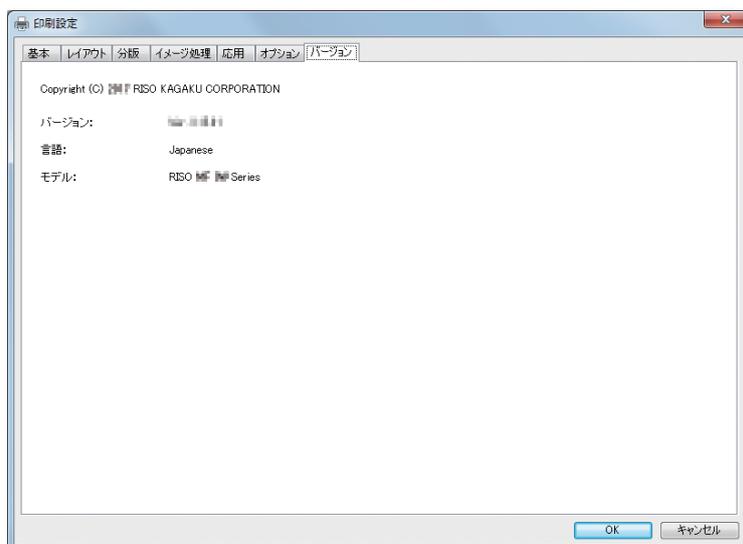


- ▶ [連続モード] (48) が [ON] の時に設定できません。
- ▶ [合紙仕分けモード] と併用できません。



- ▶ テープ仕分け装置の機能・操作などについては、テープ仕分け装置の取扱説明書をご覧ください。

[バージョン] タブ



プリンタードライバーのバージョン、言語、モデル名が表示されます。
プリンタードライバーの使い方などで、サポートセンターに問い合わせるときに確認してください。

RISORINC 形式ファイルを作成するには

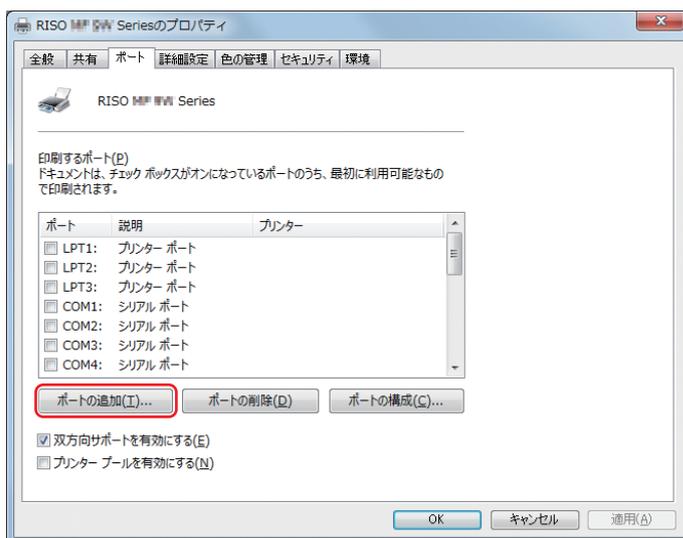
データを FTP 送信する等の場合には、送信の前に送信可能なデータ形式（RISORINC 形式ファイル）を作成する必要があります。

参考

- ▶ RISORINC 形式ファイルは、当社製印刷機専用の印刷データ形式です。
RISO Printer Driver で設定した条件がすべて書き込まれます。

RISORINC 形式ファイル用の Local Port の追加方法

- 1 プリンタのプロパティを開く
35 の手順 1、2 を参照してください。
- 2 [ポート] タブを開く
- 3 [ポートの追加] をクリックする



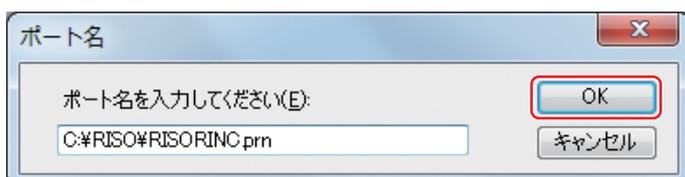
- 4 [Local Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする



5 [ポート名] ダイアログボックスが開くので、RISORINC 形式ファイルの保存先ドライブ、フォルダー名（[例] C:¥RISO）とファイル名（[例] RISORINC.prn）を入力し [OK] をクリックする

[ポート名] に「C:¥RISO¥RISORINC.prn」と入力するとCドライブの「RISO」フォルダーに「RISORINC.prn」というファイル名で保存されます。

重要 ▶ あらかじめ、フォルダーを作成してください。



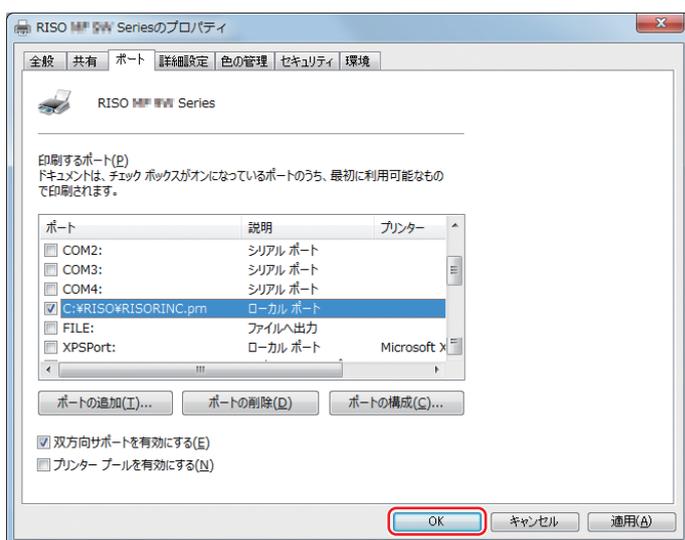
RISORINC 形式ファイル用の Local Port の選択方法

1 プリンタのプロパティを開く

☞ 35 の手順 1、2 を参照してください。

2 [ポート] タブを開く

3 [印刷するポート] から追加した RISORINC 形式ファイル用の Local Port にチェックを入れ [OK] をクリックする



重要 ▶ RISORINC 形式ファイルの作成が終わったら、同様の手順で通常の印刷するポートに戻してください。

参考 ▶ ご使用の RISO Printer Driver を 2 つインストールし、印刷機の出力用と RISORINC 形式ファイル用として登録しておくと、便利です。

RISORINC 形式ファイルへの出力方法

参考

▶ 以下の文中のメニュー名とボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

1 [印刷] ダイアログボックスを表示する

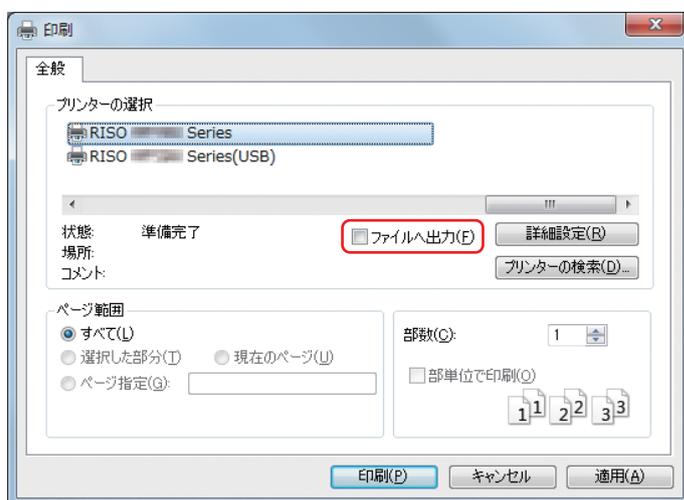
RISORINC 形式ファイルにする原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

2 プリント条件を確認する

[プリンターの選択] 欄に、RISORINC 形式ファイル用の Local Port を選択した RISO Printer Driver が表示されていることを確認します。

3 ファイルへ出力する

[ファイルへ出力] のチェックを外して [印刷] ボタンをクリックすると、Local Port のポート名で指定したフォルダーとファイル名で保存されます。



重要

- ▶ [ファイルへ出力] は必ず外してください。自動的にファイルへ出力されます。
- ▶ 別の原稿データを出力する場合は、すでに保存されている RISORINC 形式ファイルを別の場所に移動するか、ファイル名を変更してください。
そのまま出力すると、保存されているファイルに上書きされてしまいます。

参考

- ▶ 上記の画面は一例です。画面のレイアウトやボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。



第 4 章

「プレビュー＋編集」ツールの使い方

「プレビュー＋編集」ツールを使用する場合は、必ずインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールしてください。(☞ 10)

【プレビュー＋編集】 ツール	71
■ プレビュー＋編集画面	73
紙メモリープリント手順	78
■ プリンタードライバーから自動で変換の場合	78
■ 手動で変換する場合	81
■ ファイルから開く場合	85

【プレビュー+編集】 ツール

【プレビュー+編集】 ツールでは、紙メモリープリント用のデータ変換（原稿のデジタルパターン化）が行えます。さらに両面機と2色機で2色プリントした場合、設定した分版設定の結果を、印刷する前に確認したり編集することができます。

プリンタードライバーの【プロパティ】ダイアログボックスで【プレビュー+編集】または【紙メモリープリント】(44)にチェックを入れた状態で印刷を実行すると、自動で【プレビュー+編集】 ツールが起動します。【紙メモリープリント】にチェックを入れた場合は、【プレビュー+編集】 ツールの起動後、紙メモリーパターンへの変換が行われます。



▶ 【紙メモリープリント】 は Windows Server 2019/Windows Sever 2022 には対応していません。



▶ 【プレビュー+編集】 ツールはスタートメニューから起動することもできます。保存したファイルを再度編集したいときなどに便利です。

Windows 7 の場合：

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【RISO】 - 【(ご使用の機種名) Series】 - 【プレビュー+編集】 をクリックします。

Windows 8.1 の場合：

【アプリ】画面を開き、【RISO (ご使用の機種名) Series】 の【プレビュー+編集】 をクリックします。

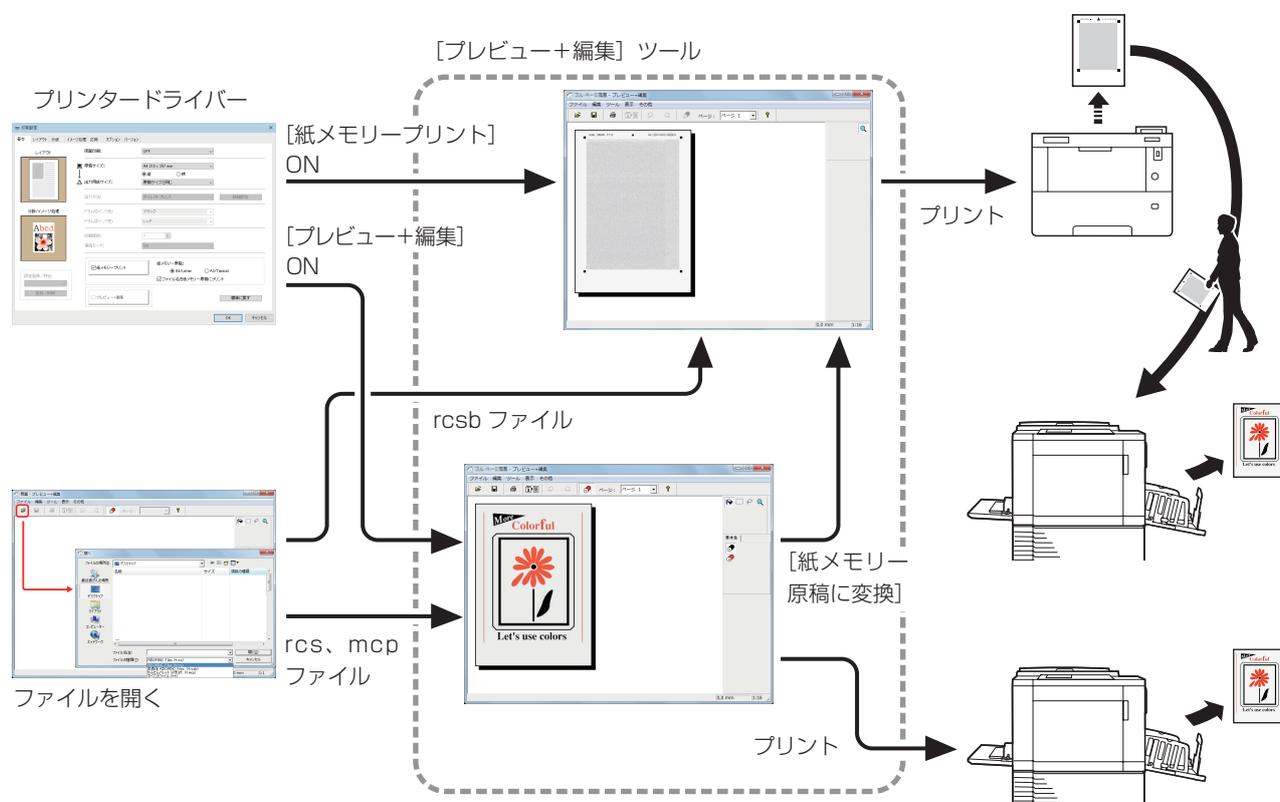
Windows 10/Windows Server 2019/Windows Sever 2022 の場合：

【スタート】 - 【RISO (ご使用の機種名) Series】 - 【プレビュー+編集】 をクリックします。

Windows 11 の場合：

【スタート】 - 【すべてのアプリ】 - 【RISO (ご使用の機種名) Series】 - 【プレビュー+編集】 をクリックします。

■ 両面機・2色機



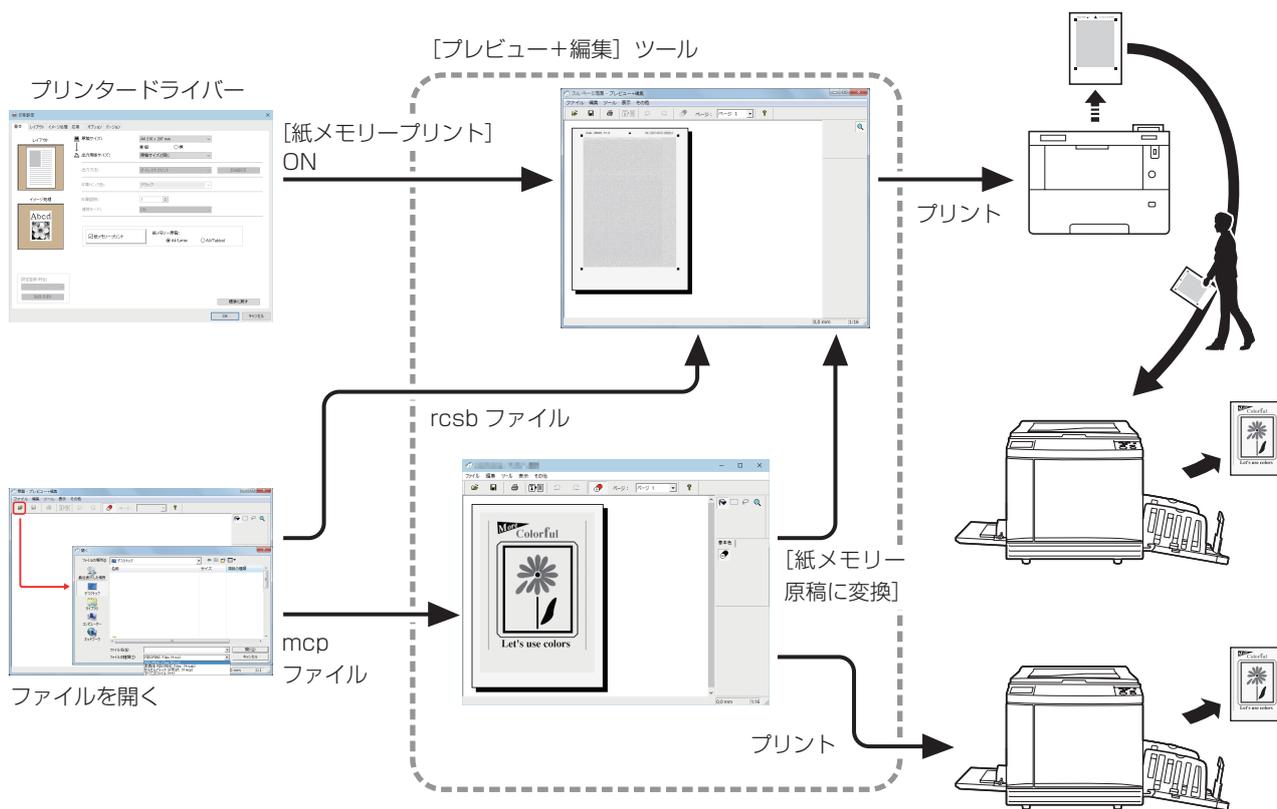
▶ 使用できるファイル形式は、以下の通りです。

rsc 形式：【プレビュー+編集】 ツールで作成したファイル

rscsb 形式：紙メモリー原稿ファイル（プリントはできますが、編集はできません）

mcp 形式：かんたんパレット SP で作成したファイル

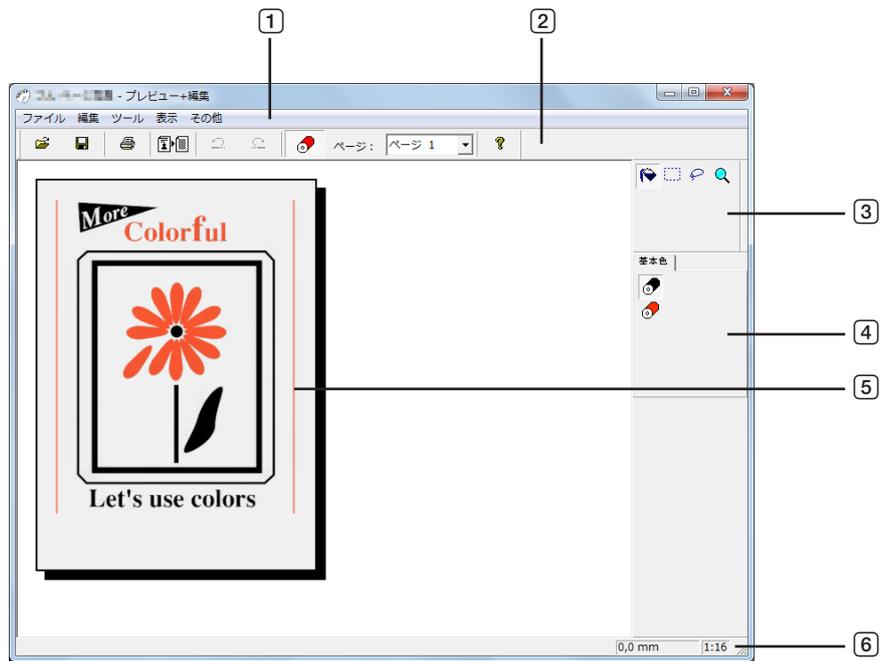
■ 単色機



参考

- ▶ 使用できるファイル形式は、以下の通りです。
- rcsb 形式：紙メモリー原稿ファイル（プリントはできますが、編集はできません）
- mcp 形式：かんたんパレット SP で作成したファイル

プレビュー+編集画面



- ① メニューバー
- ② ツールバー
- ③ ツールボックス
- ④ インク色パレット
- ⑤ イメージ編集エリア
- ⑥ ステータスバー

① メニューバー

「プレビュー + 編集」 ツールの各機能をプルダウンメニューから選択することができます。

② ツールバー

メニューバーの「表示」 - 「ツールバー」 をクリックすると、表示 / 非表示を切り替えることができます。

- | | | |
|---|--------------|--|
|  | (開く) | : 「開く」 ダイアログボックスが開きます。機種によって開くことができるファイル形式は異なります。(471) |
|  | (上書き保存) | : 現在開いているファイルを上書き保存します。別名で保存したい場合は、メニューバーの「ファイル」 - 「名前を付けて保存」 を選択してください。 |
|  | (印刷) | : 「印刷」 ダイアログボックス (476) が開き、イメージ編集エリアに表示されているデータを印刷できます。 |
|  | (紙メモリー原稿に変換) | : 現在開いているファイルを紙メモリーパターンに変換します。  をクリックするとダイアログボックスが表示されます。 |



- ▶ 内容によっては、生成されるデータが複数ページになる場合があります。
- ▶ プリンタードライバーの「印刷設定」ダイアログボックスで「紙メモリープリント」にチェックを入れると、「プレビュー + 編集」 ツール起動時に自動で紙メモリーパターンに変換されます (449)。その場合は「紙メモリー原稿に変換」 ボタンを使用することはできません。

- | | | |
|---|-----------|---|
|  | (元に戻す) | : 「連続領域指定」 機能の編集動作を、直近の 10 回まで元の状態に戻します。紙メモリープリント用変換処理については、元に戻すことができません。 |
|  | (やり直し) | : 直前に取り消した動作をやり直します。 |
|  | (インク色) | : 「インク色パレット」 ダイアログボックスの表示 / 非表示を切り替えます。 |
| ページ | | : 現在開いている印刷イメージのページを表示します。プルダウンリストから任意のページを選択すると、編集するページを切り替えることができます。 |
|  | (バージョン情報) | : バージョン情報を表示します。 |

③ ツールボックス

イメージ編集エリア上に表示されているデータの編集を行います。メニューバーの [表示] - [ツールボックス] をクリックすると、表示 / 非表示を切り替えることができます。

- 
(連続領域指定) : イメージ編集エリア内のオブジェクト上や、[矩形領域指定]、[任意領域指定] の選択領域内でクリックすると、[インク色パレット] ダイアログボックスで選択されている色でオブジェクトを塗りつぶすことができます。
- 
(矩形領域指定) : イメージ編集エリア内でドラッグすると、矩形の選択領域を指定できます。指定された領域内にカーソルを置くと、ツールが [連続領域指定] に切り替わり、オブジェクトを塗りつぶすことができます。
- 
(任意領域指定) : イメージ編集エリア内でドラッグし、境界線を描くことで、任意の選択領域を指定できます。指定された領域内にカーソルを置くと、ツールが [連続領域指定] に切り替わり、オブジェクトを塗りつぶすことができます。
- 
(ズーム) : イメージ編集エリア内でクリックすると、ズームイン / ズームアウトできます。左クリックでズームイン、[Ctrl] キーを押しながら左クリックでズームアウトします。表示倍率は、メニューバーの [表示] - [ズーム] から選択できます。表示倍率は、[1:1] [1:2] [1:4] [1:8] [1:16] [1:32] から選択できます。

④ インク色パレット

プリンタードライバーで設定したインク色が表示されます。使用したい色のアイコンをクリックすると、インク色が選択できます。メニューバーの [表示] - [インク色] をクリックすると、表示 / 非表示を切り替えることができます。

⑤ イメージ編集エリア

印刷イメージの表示およびデータ編集を行います。

⑥ ステータスバー

実行中の操作に関する情報が表示されます。メニューバーの [表示] - [ステータスバー] をクリックすると、表示 / 非表示を切り替えることができます。



- ① **プログレスバー** : データ編集時の進行状況が表示されます。
- ② **マウスカーソル** : イメージ編集エリア上のマウスカーソル位置を座標表示します。
(原点 : 左上、単位 : mm)
- ③ **ズーム** : 現在の表示倍率を表示します。

■【印刷】 ダイアログボックス

ツールバーで  をクリックするか、メニューバーの [ファイル] - [印刷] を選択すると表示されます。



プリンタ名：

[プレビュー+編集] ツールをプリンタードライバーから起動した場合は、プリンタードライバーで選択したプリンター名が表示されます。[プレビュー+編集] ツールをスタートメニューから起動した場合は、任意のプリンターをプルダウンから選択してください。



- ▶ [紙メモリープリント] 用の紙メモリーパターンは、当社推奨のプリンターを選択して印刷してください。当社推奨のプリンター以外で印刷した場合、適切に印刷できないことがあります。当社推奨のプリンターについては、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

詳細設定：

クリックすると、[詳細設定] ダイアログボックス (77) が表示され、プリンタードライバーの設定を変更できます。

出力ポート：

プリンターの出力ポート名が表示されます。

確認ダイアログを表示してから印刷する：

チェックを入れると、印刷開始前に [確認メッセージ] ダイアログボックスが表示されます。内容を確認し、[OK] をクリックするとプリントを開始します。

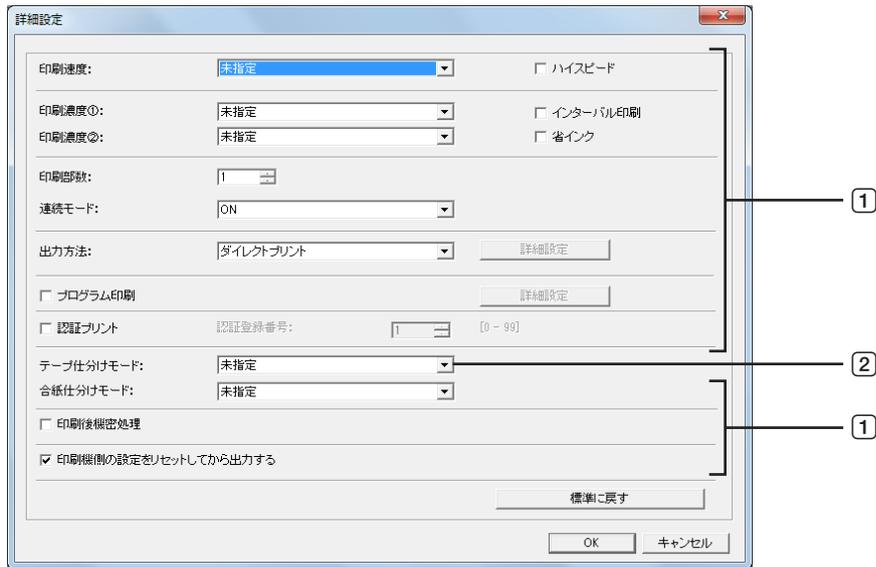


印刷：

クリックすると、プリントを開始します。

■【詳細設定】ダイアログボックス

プリンタードライバーの設定を変更できます。



①：設定内容については、プリンタードライバーの [印刷設定] - [応用] タブをご覧ください。(📖 62)

②：設定内容については、プリンタードライバーの [印刷設定] - [オプション] タブをご覧ください。(📖 65)

紙メモリープリント手順

プリンタードライバーから自動で変換の場合

1 紙メモリープリント用のプリンターを選択し、プロパティを開く

[紙メモリープリント] を使う印刷機と同じ機種を選択してください。実際に使う印刷機と機種が異なると、適切にプリントされないことがあります。



参考 ▶ 画面は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

2 [紙メモリープリント] にチェックを入れて [OK] をクリックする

[OK] をクリックする前に、必要に応じて各種設定を行ってください。(40)



・ MH9W、MH9、MH6、RE6MH、SF9II、SF6II、SF5II、RE6SII Series の場合

[紙メモリー原稿:] で、紙メモリー原稿を [A4/Letter] [A3/Tabloid] のどちらにプリントするかを選択します。選択したサイズ用の紙を当社推奨プリンターにセットしてください。([出力用紙サイズ] (45) とは関係ありません。)

[ファイル名を紙メモリー原稿にプリント] をチェックすると、紙メモリー原稿のフッターにファイル名が記載されます。(MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series のみ。)

参考 ▶ 紙メモリー原稿はサイズによって、プリントされるデータ量が異なります。[A3/Tabloid] の方が [A4/Letter] と比べて、データ量を多くプリントすることができます。そのため、プリント枚数を少なくすることができます。

・ MF9W/MF9/MF6/RE6MF/SF9x9 Series の場合

[A4/Letter]、[A3/Tabloid] の選択肢は表示されません。A4 サイズの用紙を当社推奨プリンターにセットしてください。

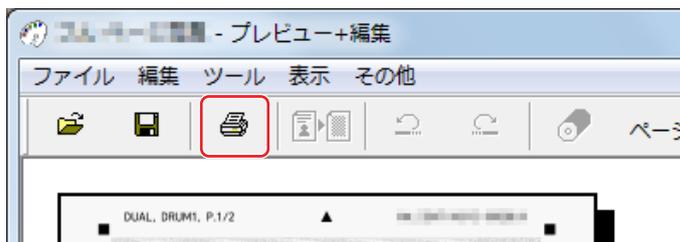
3 [OK] をクリックする

[プレビュー+編集] ツールが起動し、紙メモリーパターンに変換されます。



参考 ▶ [OK] は、お使いのアプリケーションにより異なるボタン名で表示されることがあります。

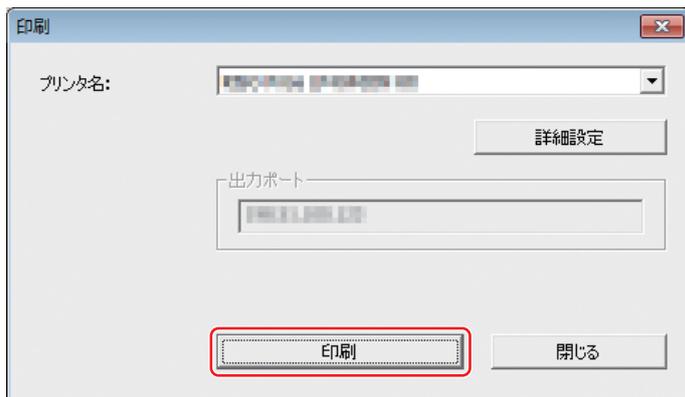
4 [印刷] ボタンをクリックする



参考 ▶ 紙メモリーパターンを保存する場合は、[保存] ボタンをクリックし、ファイルを保存します。(rcsb 形式で保存されます。)

5 当社推奨プリンターを選択し、[印刷] をクリックする

紙メモリー原稿が、当社推奨プリンターでプリントされます。

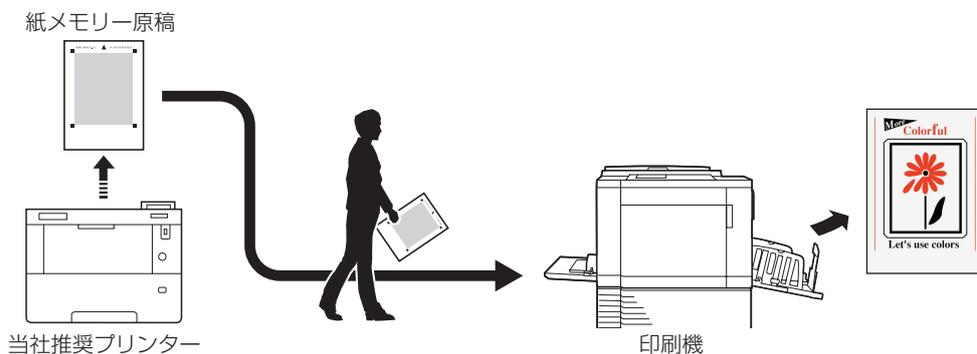


- ▶ 用紙サイズは必ず、手順 2 で選択した用紙サイズ (MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series の場合は、A4 サイズ) に設定してください。画像の拡大、縮小を行うと、印刷機で読み取れなくなります。
- ▶ 印刷濃度を濃くした場合、紙メモリー原稿が印刷機で正しく読み取れないことがあります。その場合は、印刷濃度を薄くして再度プリントしてください。



- ▶ 当社推奨プリンターについては、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。

6 プリントされた紙メモリー原稿を印刷機で読み込みプリントする



- ▶ 紙メモリー原稿の使用方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

手動で変換する場合

単色機では使用できません。

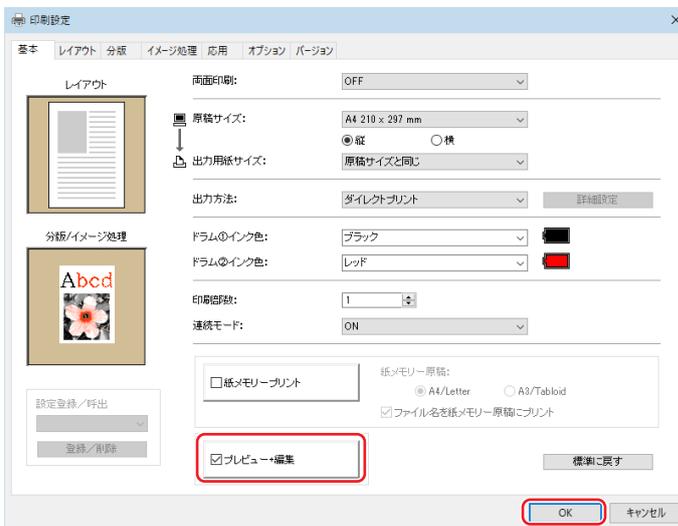
1 紙メモリープリント用のプリンターを選択し、プロパティを開く



参考 ▶ 画面は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

2 [プレビュー+編集] にチェックを入れて [OK] をクリックする

[OK] をクリックする前に、必要に応じて各種設定を行ってください。(40)



3 [OK] をクリックする

[プレビュー+編集] ツールが起動します。



参考 ▶ [OK] は、お使いのアプリケーションにより異なるボタン名で表示されることがあります。

4 プレビュー表示を確認し、[紙メモリー原稿に変換] ボタンをクリックする

ダイアログボックスが表示されます。MF9W、MF9、MF6、RE6MF Series の場合は手順7に移動してください。



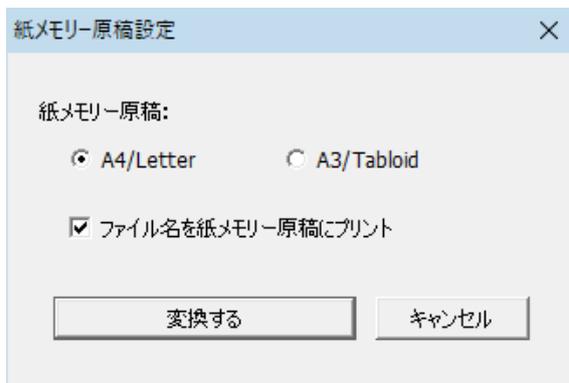
参考 ▶ 必要に応じて、編集（印刷色の変更など）もできます（73）。「紙メモリー原稿に変換」ボタンを押す前に行ってください。

▶ プレビューデータを保存する場合は、「保存」ボタンをクリックし、ファイルを保存します。（rcs 形式で保存されます。）

5 [紙メモリー原稿] を選択する（MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series の場合）

[紙メモリー原稿設定] ウィンドウが表示されるので、紙メモリー原稿を [A4/Letter] [A3/Tabloid] のどちらのサイズにするかを選択し、選択したサイズの用紙を当社推奨プリンターにセットしてください。（[出力用紙サイズ]（P45）とは関係ありません。）

[ファイル名を紙メモリー原稿にプリント] をチェックすると、紙メモリー原稿のフッターにファイル名が記載されます。

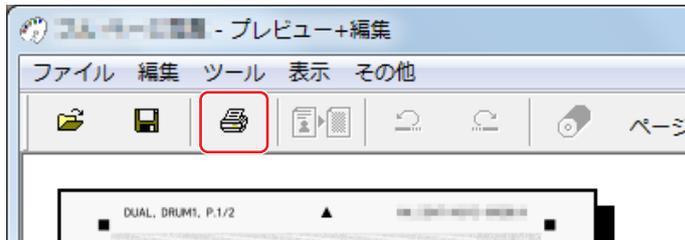


6 [変換する] ボタンをクリックする (MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series の場合)

7 確認画面で [はい] をクリックする

変換処理が実行されます。

8 [印刷] ボタンをクリックする

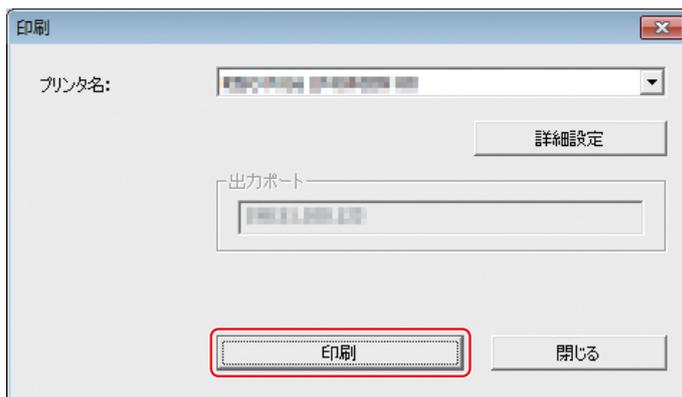


参考

▶ 紙メモリーパターンを保存する場合は、[保存] ボタンをクリックし、ファイルを保存します。(rcsb 形式で保存されます。)

9 当社推奨プリンターを選択し、[印刷] をクリックする

紙メモリー原稿が、当社推奨プリンターでプリントされます。



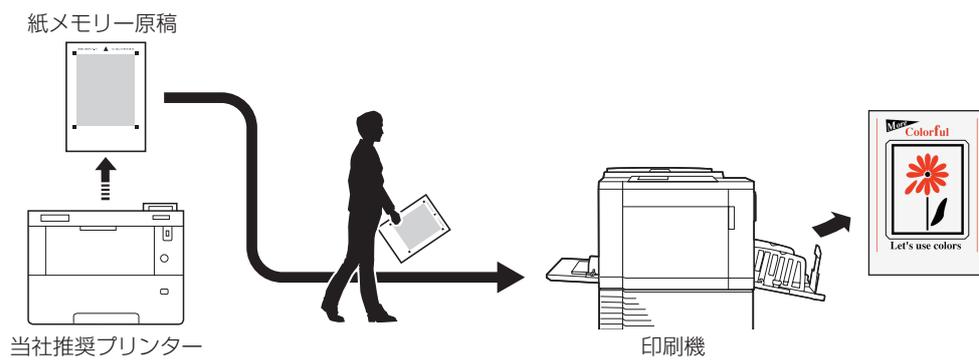
重要

- ▶ 用紙サイズは必ず、手順5で選択した用紙サイズ (MF9W、MF9、MF6、RE6MF Series の場合は、A4 サイズ) に設定してください。画像の拡大、縮小を行うと、印刷機で読み取れなくなります。
- ▶ 印刷濃度を濃くした場合、紙メモリー原稿が印刷機で正しく読み取れないことがあります。その場合は、印刷濃度を薄くして再度プリントしてください。

参考

▶ 当社推奨プリンターについては、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。

10 プリントされた紙メモリー原稿を印刷機で読み込みプリントする



参考

▶ 紙メモリー原稿の使用方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

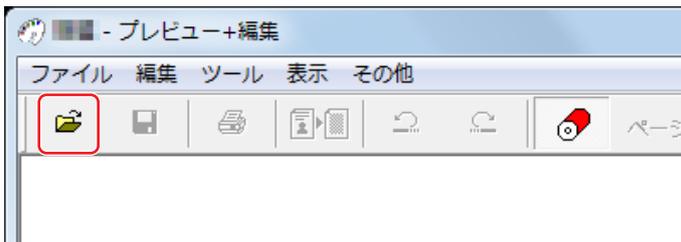
ファイルから開く場合

- 参考** ▶ MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series 以外の場合、プリンタードライバーから自動で変換 (☞ 78) すれば、紙メモリー原稿にプリンタードライバーの機種名が印字されます。[プレビュー+編集] ツールの [紙メモリー原稿に変換] ボタンで変換した紙メモリー原稿には、機種名が印字されません。

1 スタートメニューから [プレビュー+編集] ツールを起動する (☞ 71)

2 [開く] ボタンを押し、ファイルを選択する

rctsb 形式のファイルを開いた場合は、手順 7 に移動してください。



- 参考** ▶ 使用できるファイル形式は、機種によって異なります。(☞ 71)

3 プレビュー表示を確認し、[紙メモリー原稿に変換] ボタンをクリックする

ダイアログボックスが表示されます。MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series の場合は手順 6 に移動してください。

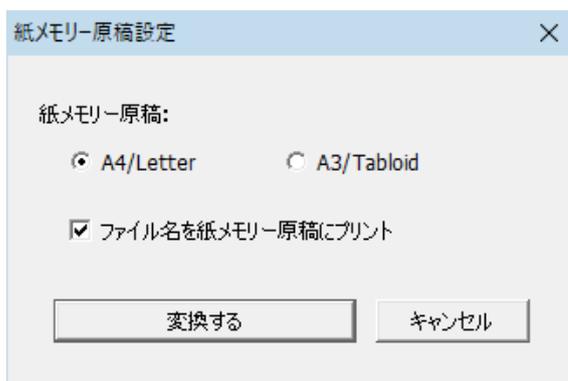


- 参考** ▶ 必要に応じて、編集 (印刷色の変更など) もできます (☞ 73)。[紙メモリー原稿に変換] ボタンを押す前に行ってください。
- ▶ プレビューデータを保存する場合は、[保存] ボタンをクリックし、ファイルを保存します。(rctsb 形式で保存されます。)

4 [紙メモリー原稿] を選択する (MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series 以外)

[紙メモリー原稿設定] ウィンドウが表示されるので、紙メモリー原稿を [A4/Letter] [A3/Tabloid] のどちらのサイズにするかを選択し、[紙メモリー原稿に変換] ボタンをクリックします。選択したサイズの用紙を当社推奨プリンターにセットしてください。([出力用紙サイズ] (☞ 45) とは関係ありません。)

[ファイル名を紙メモリー原稿にプリント] をチェックすると、紙メモリー原稿のフッターにファイル名が記載されます。(MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series のみ)



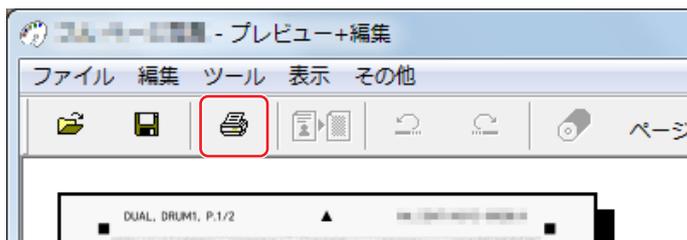
参考 ▶ 紙メモリー原稿はサイズによって、プリントされるデータ量が異なります。[A3/Tabloid] の方が [A4/Letter] と比べて、データ量を多くプリントすることができます。そのため、プリント枚数を少なくすることができます。

5 [変換する] をクリックする (MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series 以外の場合)

6 確認画面で [はい] をクリックする

変換処理が実行されます。

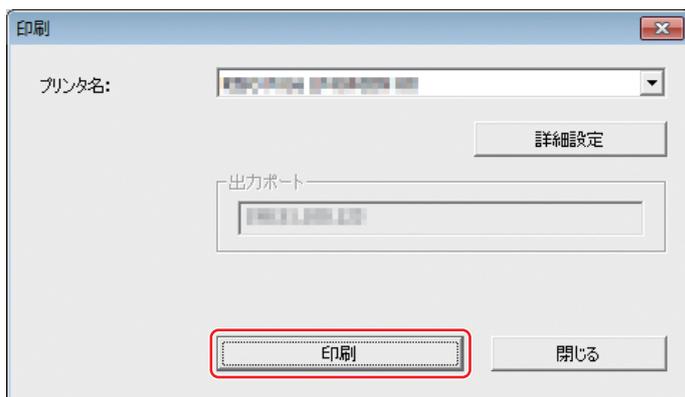
7 [印刷] ボタンをクリックする



参考 ▶ 紙メモリーパターンを保存する場合は、[保存] ボタンをクリックし、ファイルを保存します。(rcsb 形式で保存されます。)

8 当社推奨プリンターを選択し、[印刷] をクリックする

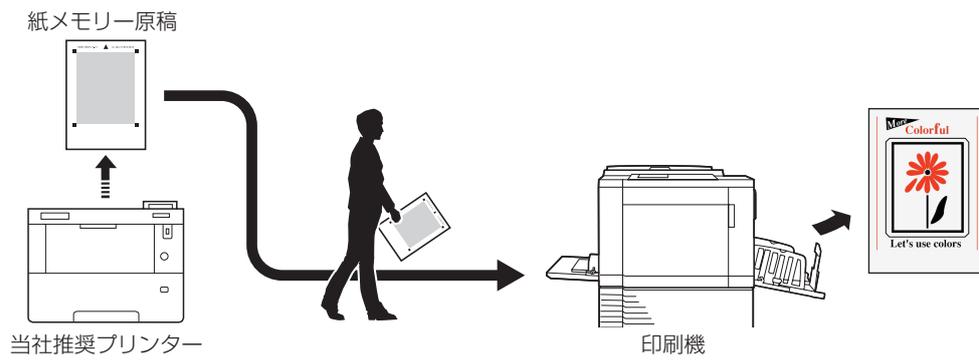
紙メモリー原稿が、当社推奨プリンターでプリントされます。



重要 ▶ 用紙サイズは必ず、紙メモリー原稿の用紙サイズ (MF9W、MF9、MF6、RE6MF、SF9x9 Series の場合の場合は A4 サイズ) に設定してください。画像の拡大、縮小を行うと、印刷機で読み取れなくなります。
▶ 印刷濃度を濃くした場合、紙メモリー原稿が印刷機で正しく読み取れないことがあります。その場合は、印刷濃度を薄くして再度プリントしてください。

参考 ▶ 当社推奨プリンターについては、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。

9 プリントされた紙メモリー原稿を印刷機で読み込みプリントする



参考

▶ 紙メモリー原稿の使用方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。



第 5 章

プリンタードライバーのアンインストール

ここではアンインストーラーを使用したプリンタードライバーのアンインストール方法を記述しています。

アンインストーラーを使用したアンインストールでは、ドライバーパッケージの削除ができません。プリンタードライバーの再インストール時など、ドライバーパッケージの削除が必要な場合は手動アンインストールを行ってください。

プリンタードライバーをアンインストールする..... 89

プリンタードライバーをアンインストールする

ここでは、プリンタードライバーのアンインストール方法を記述しています。
(手動アンインストールの方法については、[図 91](#) をご覧ください。)



▶ プリンタードライバーのアンインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で、Windows にログオンしておく必要があります。

1 アンインストーラーを起動する

Windows 7 の場合：

[スタート] - [すべてのプログラム] - [RISO] - [(ご使用の機種名) Series] - [Uninstaller] をクリックします。

Windows 8.1 の場合：

[アプリ] 画面を開き、「RISO (ご使用の機種名) Series」の [Uninstaller] をクリックします。

Windows 10/Windows Server 2019/Windows Sever 2022 の場合：

[スタート] - [RISO (ご使用の機種名) Series] - [Uninstaller] をクリックします。

Windows 11 の場合：

[スタート] - [すべてのアプリ] - [RISO (ご使用の機種名) Series] - [Uninstaller] をクリックします。

2 プルダウンメニューから [日本語] を選択し、[OK] をクリックする

3 [次へ] をクリックする

4 プリンタードライバーをアンインストールする印刷機を選択し、[次へ] をクリックする

5 [アンインストール] をクリックする

[取扱説明書 (PDF) もアンインストールする] にチェックを入れておくと、取扱説明書 (PDF 形式) もアンインストールされます。



6 【終了】をクリックする

プリンタードライバーをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動してください。[今すぐ再起動する]にチェックを入れておくと、【終了】をクリックした後にパソコンが再起動されます。





第 6 章

プリンタードライバーの手動インストール / 手動アンインストール

ここではインストーラー / アンインストーラーを使用せずにプリンタードライバーをインストール / アンインストールする方法を記述しています。

紙メモリープリントまたは「プレビュー+編集」ツールを使用する場合は、必ずインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストール (10) してください。

Windows 7 編 : 手動インストール / 手動アンインストールについて	92
■ USB ケーブル接続による手動インストール	92
■ ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール	96
■ 手動アンインストール	99
Windows 8.1 編 : 手動インストール / 手動アンインストールについて	101
■ USB ケーブル接続による手動インストール	101
■ ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール	105
■ 手動アンインストール	108
Windows 10/Windows 11/Windows Server 2019/Windows Sever 2022 編 :	
手動インストール / 手動アンインストールについて	110
■ USB ケーブル接続による手動インストール	110
■ ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール	114
■ 手動アンインストール	117

Windows 7 編 : 手動インストール / 手動アンインストールについて



- ▶ MH9W、MH9、MH6、RE6MH Series には対応していません。
- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ プリンター共有には対応していません。
- ▶ 「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を使用する場合は、必ずインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールしてください (図 10)。手動インストールした場合、「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を実行できません。

USB ケーブル接続による手動インストール

1 印刷機の電源を ON にし、印刷機に USB ケーブルを接続する

2 パソコンを起動する

3 パソコンに USB ケーブルを接続する

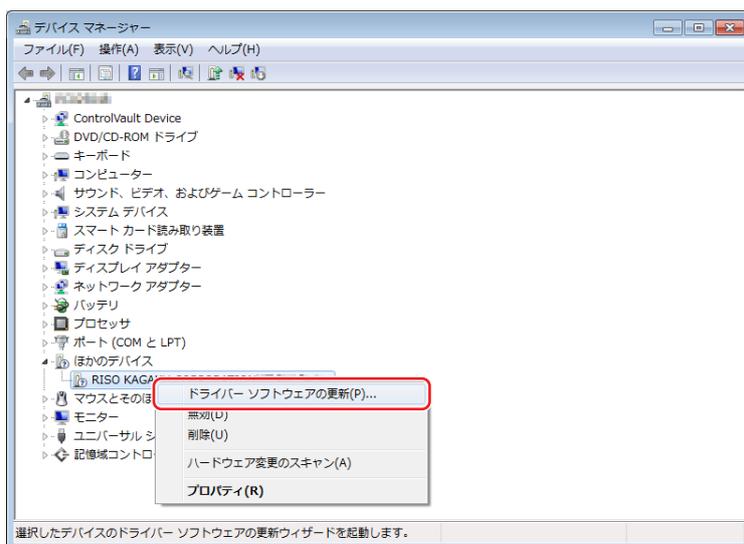


- ▶ タスクトレイに「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」が表示されるまで次の手順に進まないでください。

4 [デバイスマネージャー] を起動する

[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネージャー] をクリックしてください。

5 [ほかのデバイス] - [(ご使用の印刷機名)] を右クリックして、表示されるメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックする



- ▶ ご使用の印刷機名が表示されていない場合は、[操作] - [ハードウェア変更のスキャン] をクリックしてください。

6 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックする

7 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

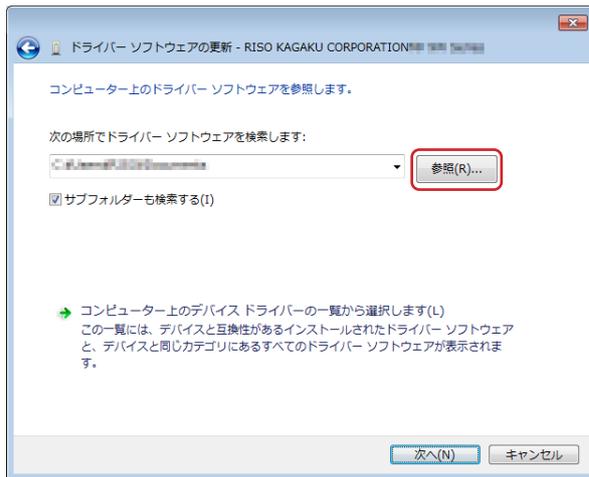
8 [参照] をクリックして、下記のフォルダーを選択し [次へ] をクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese]

64-bit 版 OS の場合 :

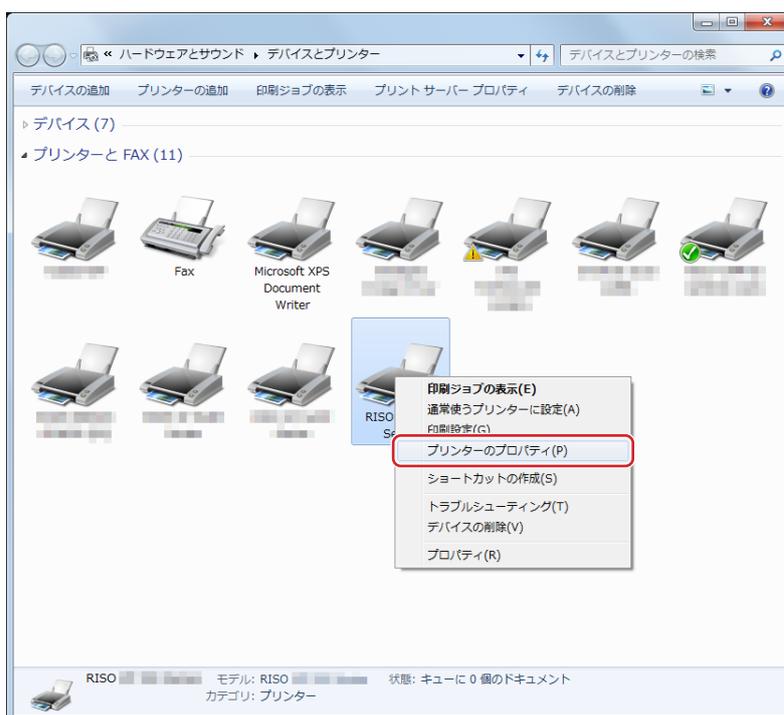
(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese]



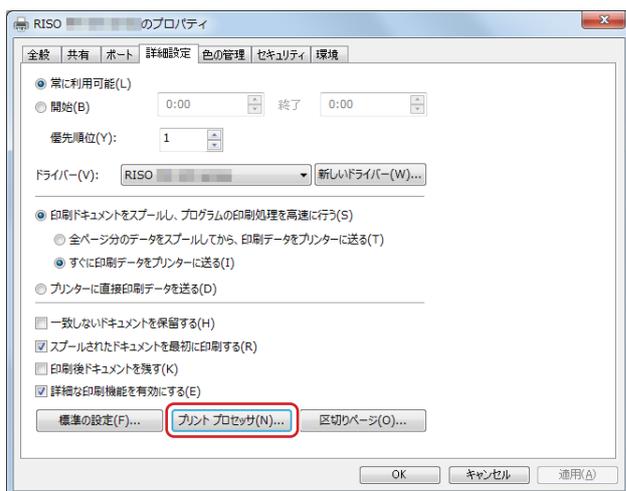
9 [閉じる] をクリックし、パソコンを再起動する

10 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開く。

11 インストールしたプリンターを右クリックして、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックする



12 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする



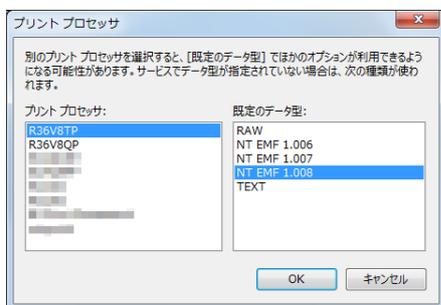
13 [プリントプロセッサ] のリストから、下記のプリントプロセッサをクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series : R36V8TP
 SF9x9 Series : R36V8SP
 SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series : R36V8QP

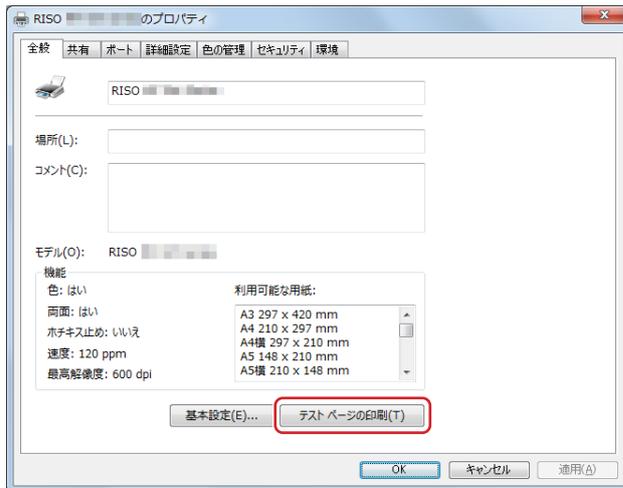
64-bit 版 OS の場合 :

MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series : R36V6TP
 SF9x9 Series : R36V6SP
 SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series : R36V6QP



14 [既定のデータ型] のリストから [NT EMF 1.008] を選択し [OK] をクリックする

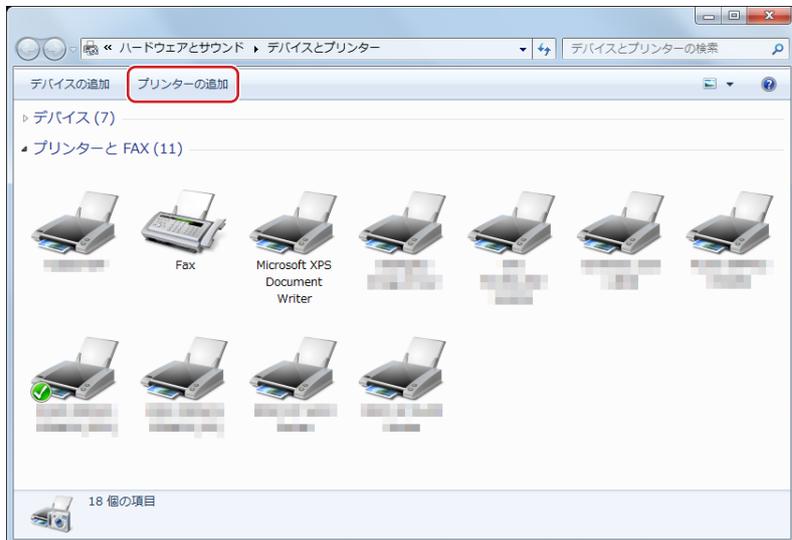
15 [全般] タブからテストページを印刷する



16 [OK] をクリックして画面を閉じる

ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール

- 1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開き、[プリンターの追加] を開始する



- 2 [ローカルプリンターを追加します] をクリックする

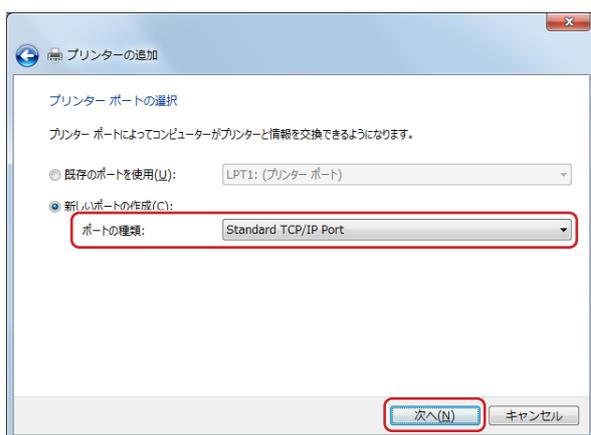
- 3 ポートを設定する

ネットワーク接続の場合 : TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成します。

USB メモリー出力の場合 : ローカルポート (C : ¥RISO¥RISORINC.prn など) を作成します。

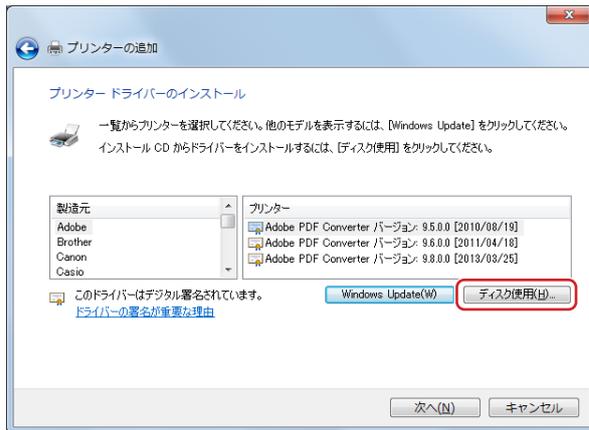


- ▶ C ドライブなどに任意のフォルダー ([例] C : ¥RISO) を作成し、その中にローカルポート ([例] RISORINC.prn) を作成してください。起動ドライブのルートには、ローカルポートを作成できません。



- 4 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

5 [ディスク使用] をクリックする



6 [参照] から下記の inf ファイルを選択して [OK] をクリックする

ネットワーク接続で 32-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese] -RISODRV.INF

ネットワーク接続で 64-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese] -RISODRV.INF

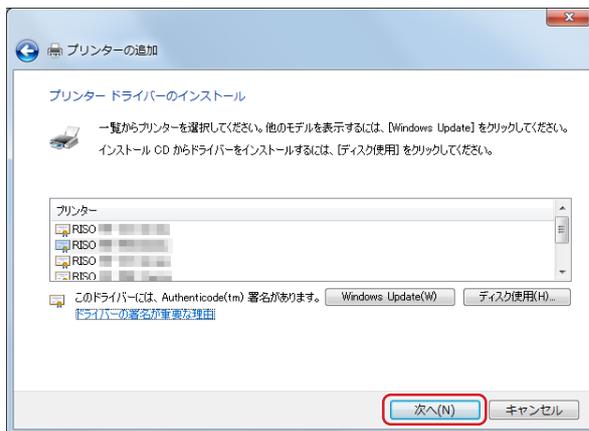
USB メモリー出力で 32-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese] - [USB flash] -RISODRV.INF

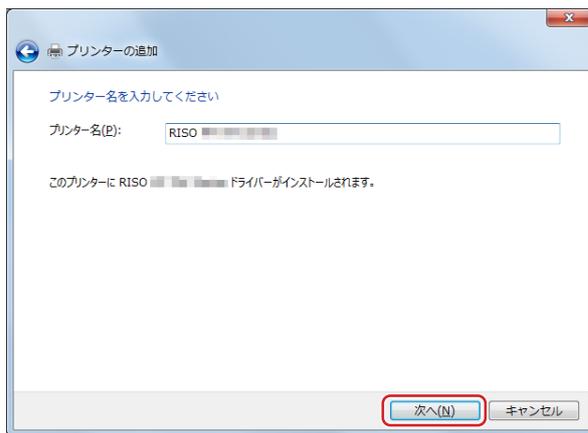
USB メモリー出力で 64-bit 版 OS の場合：

(DVD-ROM)：[Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows] - [Japanese] - [USB flash] -RISODRV.INF

7 [(ご使用の印刷機名)] を選択して [次へ] をクリックする



8 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする



9 [プリンターを共有しない] のラジオボタンをクリックし、[次へ] をクリックする

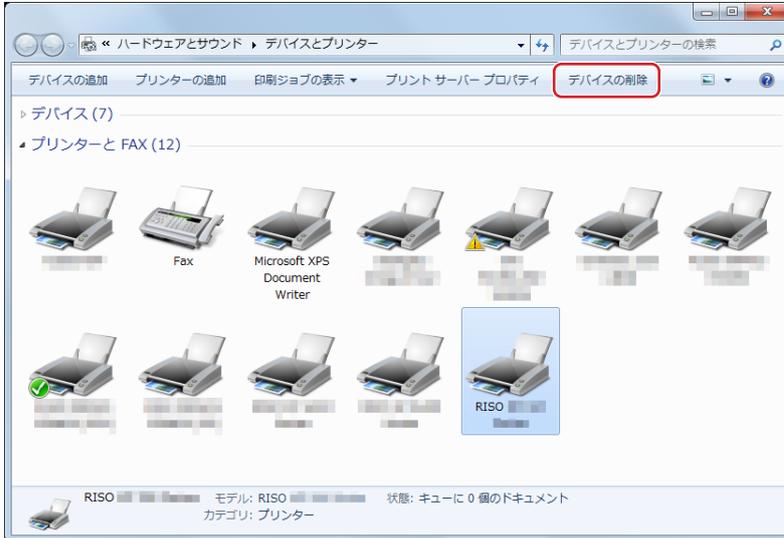
10 ネットワーク接続の場合は、テストページを印刷する

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

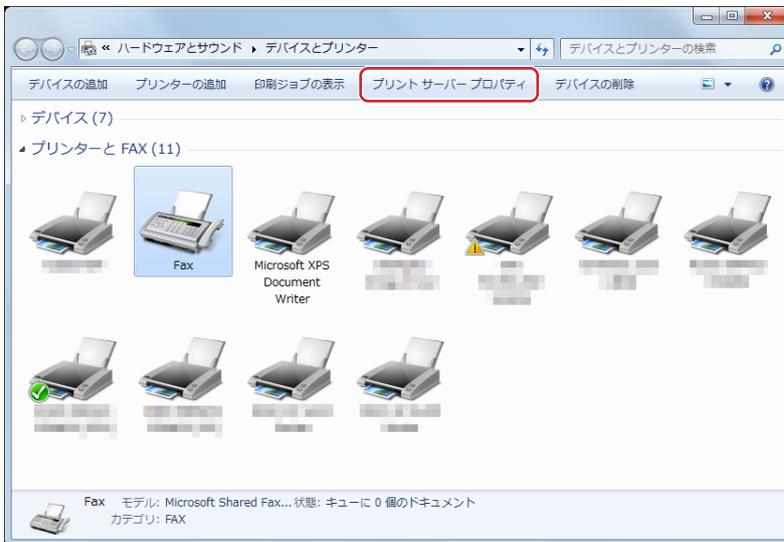
12 パソコンを再起動する

手動アンインストール

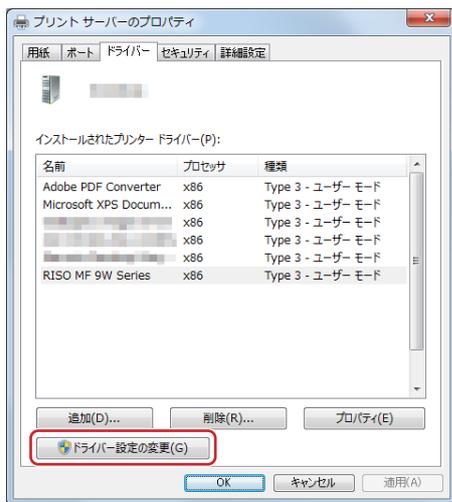
- 1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開き、アンインストールしたいプリンターを削除する



- 2 既存のプリンターをクリックし、画面上部の [プリントサーバープロパティ] をクリックする



3 [ドライバー] タブの [ドライバー設定の変更] をクリックする



4 アンインストールしたいプリンタードライバーを選択し、[削除] ボタンをクリックする

5 [ドライバーとパッケージの削除] ダイアログが開くので、[ドライバーとパッケージを削除する] を選択して削除する

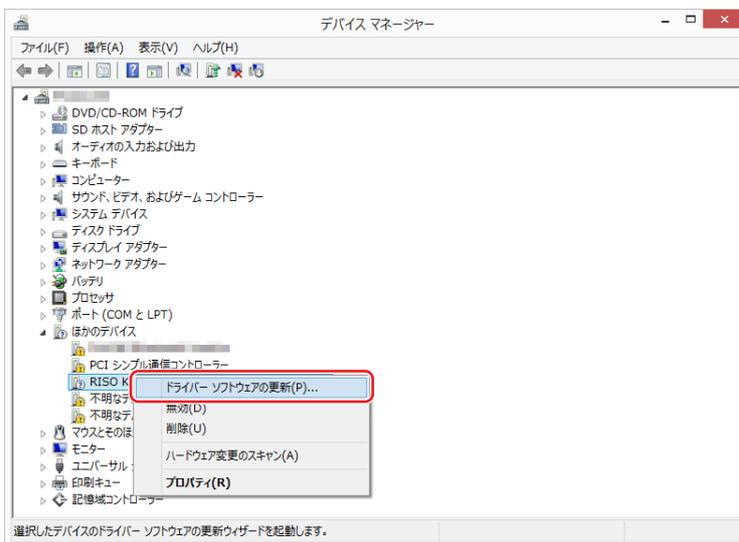
Windows 8.1 編 : 手動インストール / 手動アンインストールについて



- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ プリンター共有には対応していません。
- ▶ 「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を使用する場合は、必ずインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールしてください (図 10)。手動インストールした場合、「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を実行できません。

USB ケーブル接続による手動インストール

- 1 印刷機の電源を ON にし、印刷機に USB ケーブルを接続する
- 2 パソコンを起動する
- 3 パソコンに USB ケーブルを接続する
- 4 [デバイスマネージャー] を起動する
[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネージャー] をクリックしてください。
- 5 [ほかのデバイス] - [(ご使用の印刷機名)] を右クリックして、表示されるメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックする



- ▶ ご使用の印刷機名が表示されていない場合は、[操作] - [ハードウェア変更後のスキャン] をクリックしてください。

- 6 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックする

7 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

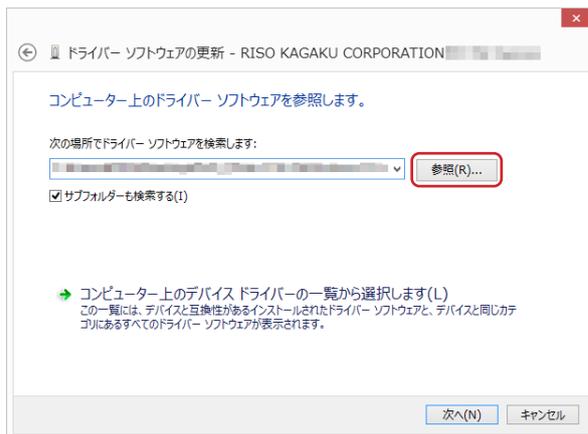
8 [参照] をクリックして、下記のフォルダーを選択し [次へ] をクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese]

64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese]



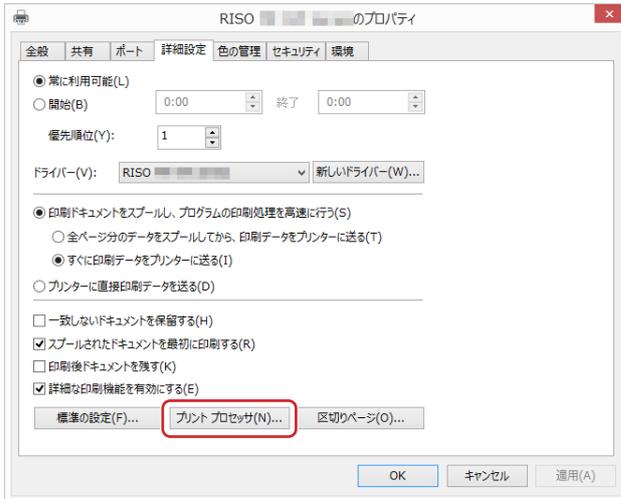
9 [閉じる] をクリックし、パソコンを再起動する

10 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開く。

11 インストールしたプリンターを右クリックして、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックする



12 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする



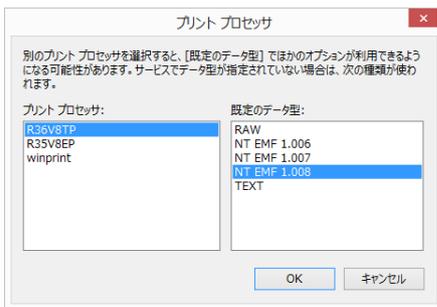
13 プリントプロセッサのリストから、下記のプリントプロセッサをクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

MH9W/MH9/MH6/RE6MH Series	: R36V8VP
MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series	: R36V8TP
SF9x9 Series	: R36V8SP
SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series	: R36V8QP

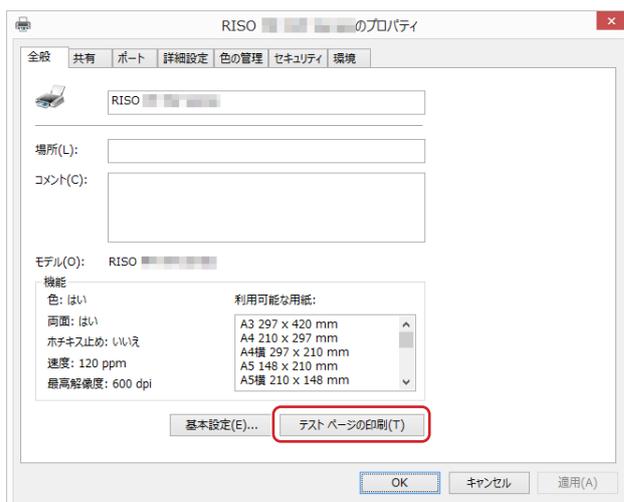
64-bit 版 OS の場合 :

MH9W/MH9/MH6/RE6MH Series	: R36V6VP
MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series	: R36V6TP
SF9x9 Series	: R36V6SP
SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series	: R36V6QP



14 既定のデータ型のリストから [NT EMF 1.008] を選択し [OK] をクリックする

15 [全般] タブからテストページを印刷する



16 [OK] をクリックして画面を閉じる

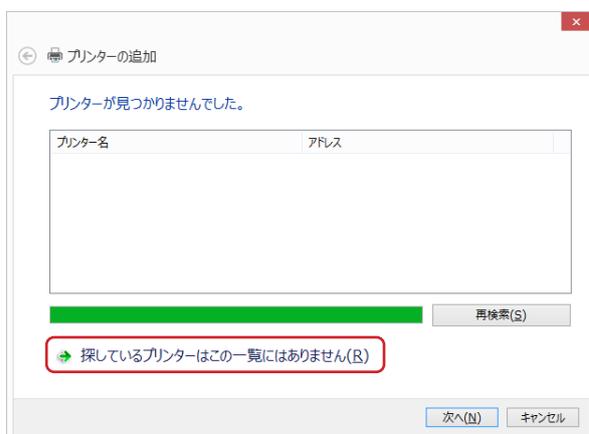
ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール

1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開き、[プリンターの追加] を開始する

ネットワーク上にあるプリンターの検索をします。終了するまでしばらくお待ちください。



2 [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックする



3 [ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを手動設定で追加する] をクリックする

4 ポートを設定する

ネットワーク接続の場合 : TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成します。

USB メモリー出力の場合 : ローカルポート (C : ¥RISO¥RISORINC.prn など) を作成します。

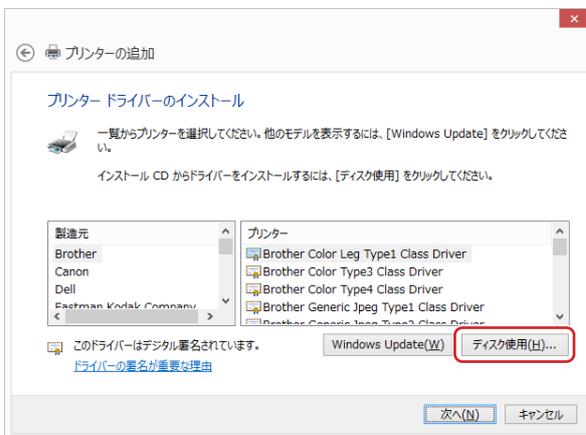


▶ C ドライブなどに任意のフォルダー ([例] C : ¥RISO) を作成し、その中にローカルポート ([例] RISORINC.prn) を作成してください。起動ドライブのルートには、ローカルポートを作成できません。



5 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

6 [ディスク使用] をクリックする



7 [参照] から下記の inf ファイルを選択して [OK] をクリックする

ネットワーク接続で 32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese] -RISODRV.INF

ネットワーク接続で 64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese] -RISODRV.INF

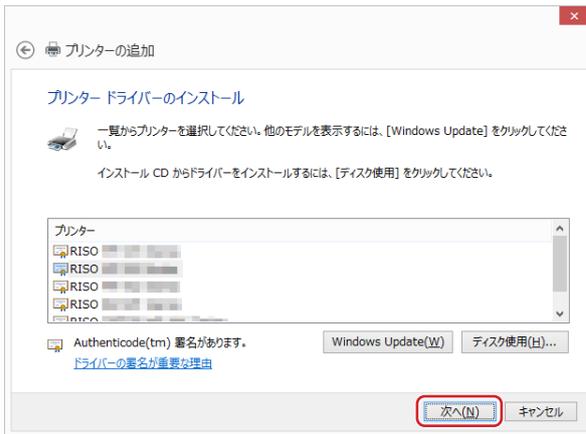
USB メモリー出力で 32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese] - [USB flash] - RISODRV.INF

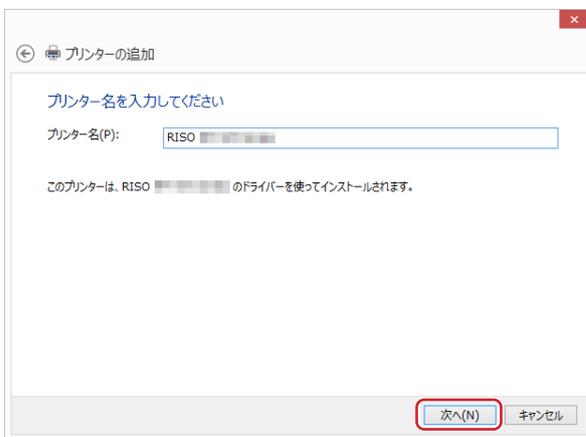
USB メモリー出力で 64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows8.1] - [Japanese] - [USB flash] - RISODRV.INF

8 [(ご使用の印刷機名)] を選択して [次へ] をクリックする



9 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする



10 ネットワーク接続の場合は、テストページを印刷する

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

12 パソコンを再起動する

手動アンインストール

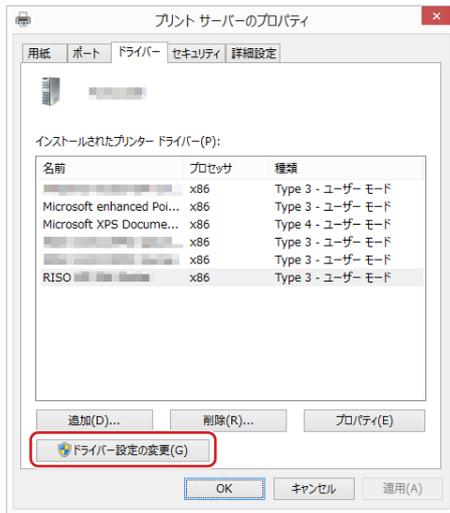
- 1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を開き、アンインストールしたいプリンターを削除する



- 2 既存のプリンターをクリックし、画面上部の [プリントサーバープロパティ] をクリックする



3 [ドライバー] タブの [ドライバー設定の変更] をクリックする



4 アンインストールしたいプリンタードライバーを選択し、[削除] ボタンをクリックする

5 [ドライバーとパッケージの削除] ダイアログが開くので、[ドライバーとパッケージを削除する] を選択して削除する

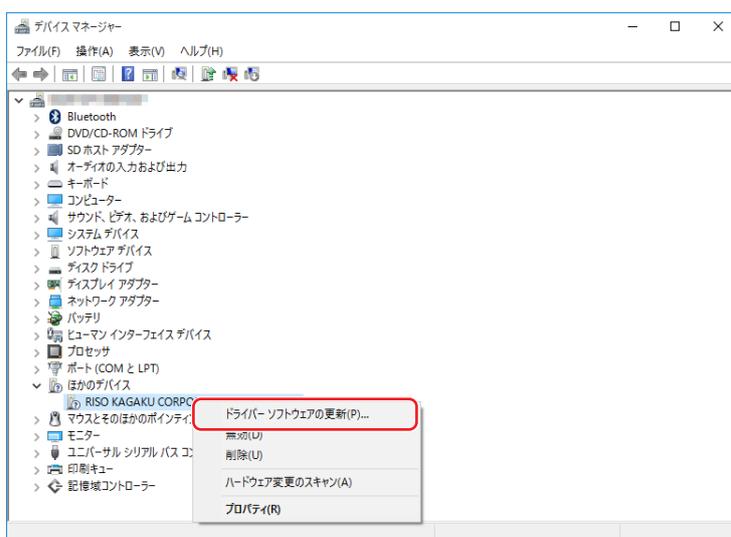
Windows 10/Windows 11/Windows Server 2019/Windows Sever 2022 編:手動インストール/手動アンインストールについて



- ▶ プリンタードライバーのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログオンしておく必要があります。
- ▶ プリンター共有には対応していません。
- ▶ USB メモリ出力は Windows Server 2019/Windows Sever 2022 には対応していません。
- ▶ 「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を使用する場合は、必ずインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールしてください (図 10)。手動インストールした場合、「紙メモリープリント」と「プレビュー+編集」を実行できません。

USB ケーブル接続による手動インストール

- 1 印刷機の電源を ON にし、印刷機に USB ケーブルを接続する
- 2 パソコンを起動する
- 3 パソコンに USB ケーブルを接続する
- 4 [デバイスマネージャー] を起動する
[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] - [デバイスマネージャー] をクリックしてください。
- 5 [ほかのデバイス] - [(ご使用の印刷機名)] を右クリックして、表示されるメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックする



- ▶ ご使用の印刷機名が表示されていない場合は、[操作] - [ハードウェア変更後のスキャン] をクリックしてください。

- 6 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックする

7 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

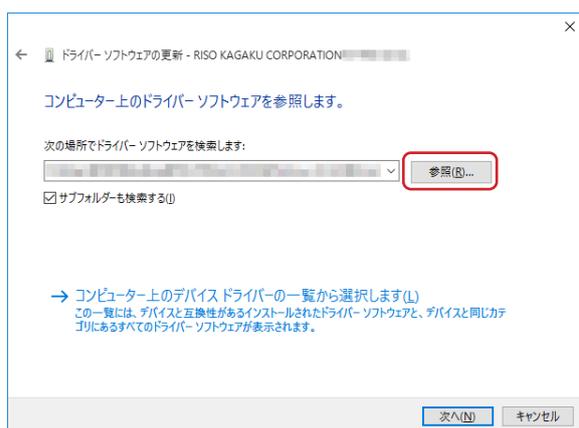
8 [参照] をクリックして、下記のフォルダーを選択し [次へ] をクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese]

64-bit 版 OS の場合 :

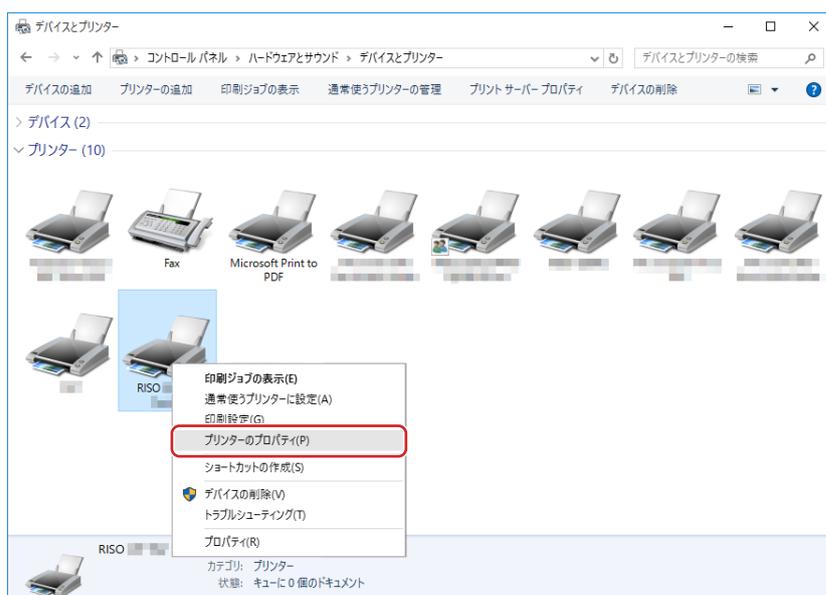
(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese]



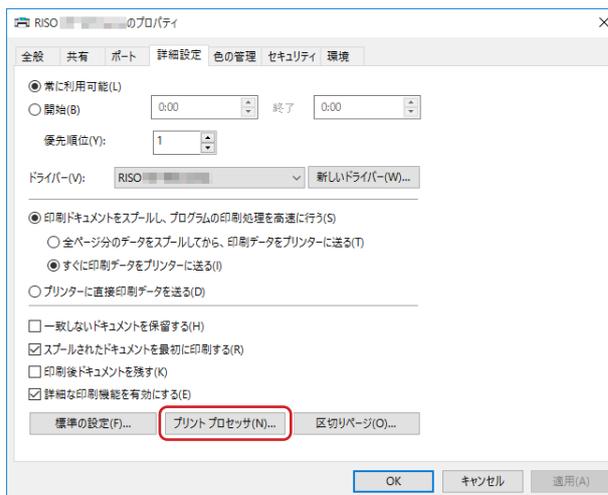
9 [閉じる] をクリックし、パソコンを再起動する

10 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] を開く。

11 インストールしたプリンターを右クリックして、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックする



12 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする



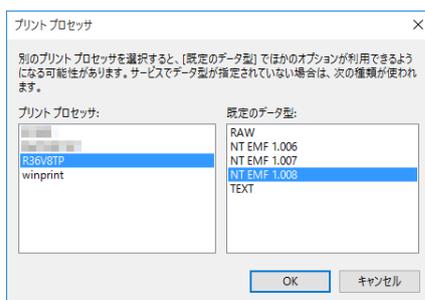
13 プリントプロセッサのリストから、下記のプリントプロセッサをクリックする

32-bit 版 OS の場合 :

MH9W/MH9/MH6/RE6MH Series	: R36V8VP
MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series	: R36V8TP
SF9x9 Series	: R36V8SP
SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series	: R36V8QP

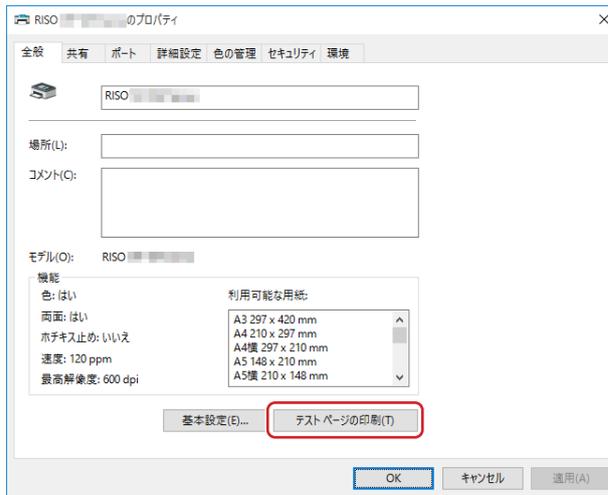
64-bit 版 OS の場合 :

MH9W/MH9/MH6/RE6MH Series	: R36V6VP
MF9W/MF9/MF6/RE6MF Series	: R36V6TP
SF9x9 Series	: R36V6SP
SF9II/SF6II/SF5II/RE6SII Series	: R36V6QP



14 既定のデータ型のリストから [NT EMF 1.008] を選択し [OK] をクリックする

15 [全般] タブからテストページを印刷する

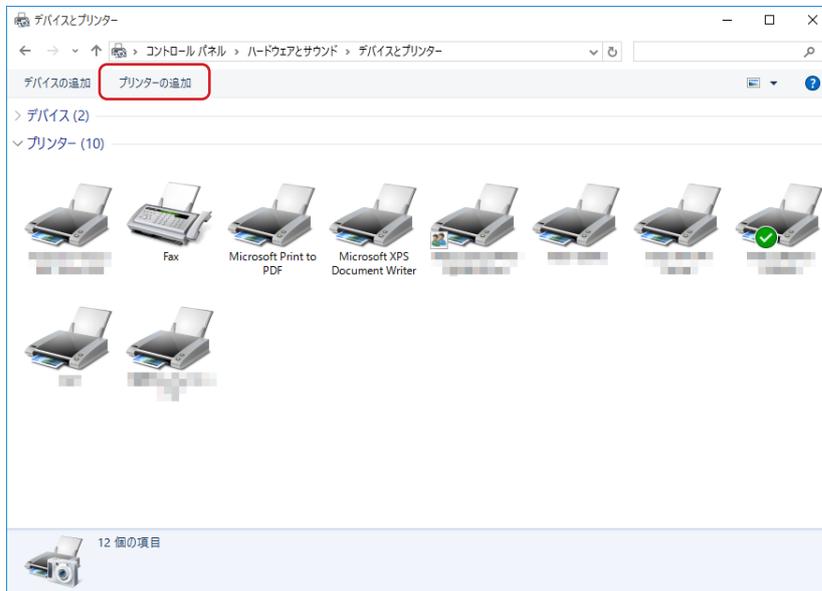


16 [OK] をクリックして画面を閉じる

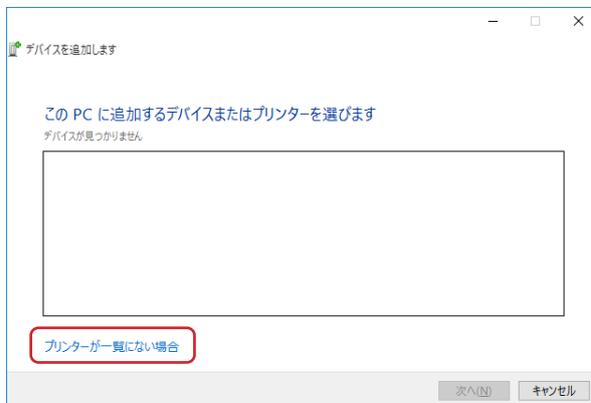
ネットワーク接続 / USB メモリー出力による手動インストール

1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] を開き、[プリンターの追加] を開始する

ネットワーク上にあるプリンターの検索をします。終了するまでしばらくお待ちください。



2 [プリンターが一覧にない場合] をクリックする



3 [ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを手動設定で追加する] をクリックする

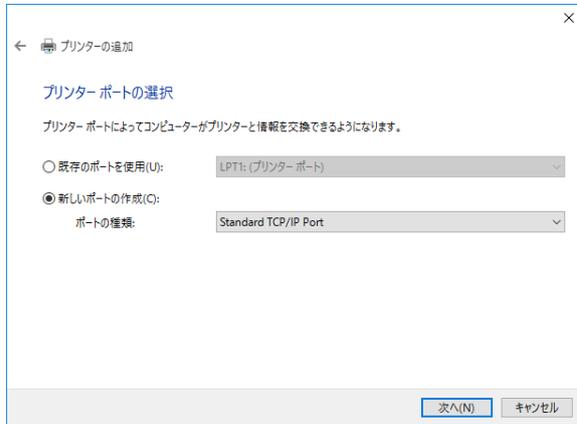
4 ポートを設定する

ネットワーク接続の場合 : TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成します。

USB メモリー出力の場合 : ローカルポート (C : ¥RISO¥RISORINC.prn など) を作成します。

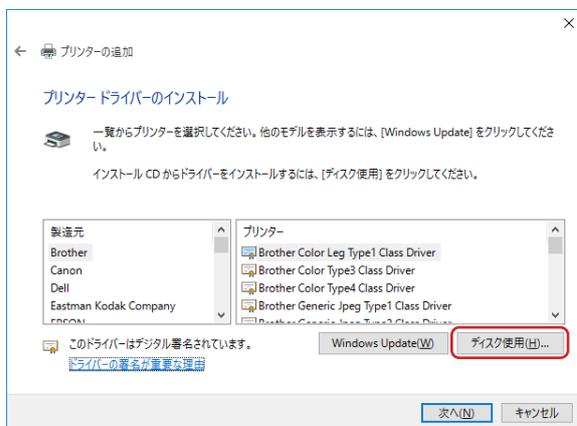


- ▶ C ドライブなどに任意のフォルダー ([例] C : ¥RISO) を作成し、その中にローカルポート ([例] RISORINC.prn) を作成してください。起動ドライブのルートには、ローカルポートを作成できません。



5 [RISO Printer Driver] DVD-ROM をパソコンにセットする

6 [ディスク使用] をクリックする



7 [参照] から下記の inf ファイルを選択して [OK] をクリックする

ネットワーク接続で 32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese] -RISODRV.INF

ネットワーク接続で 64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese] -RISODRV.INF

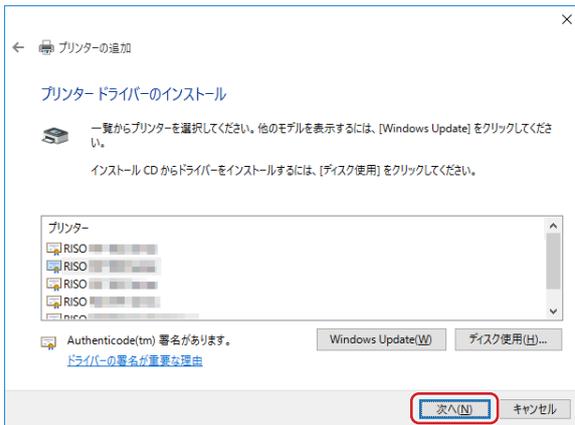
USB メモリー出力で 32-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese] - [USB flash] - RISODRV.INF

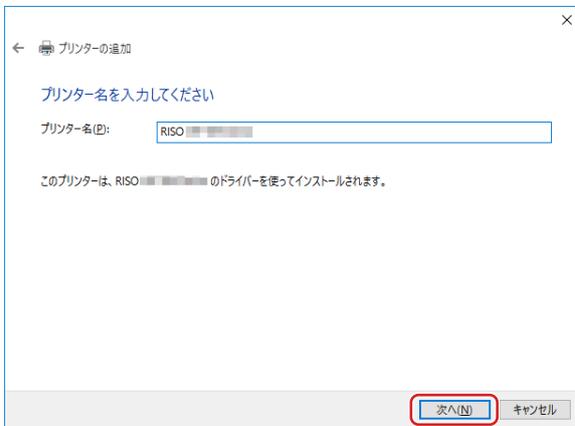
USB メモリー出力で 64-bit 版 OS の場合 :

(DVD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [Windows10] - [Japanese] - [USB flash] - RISODRV.INF

8 [(ご使用の印刷機名)] を選択して [次へ] をクリックする



9 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする



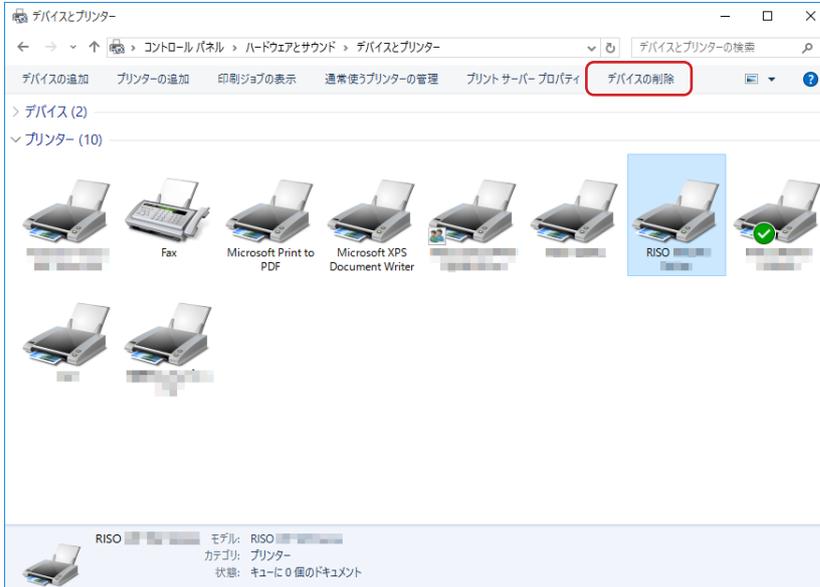
10 ネットワーク接続の場合は、テストページを印刷する

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

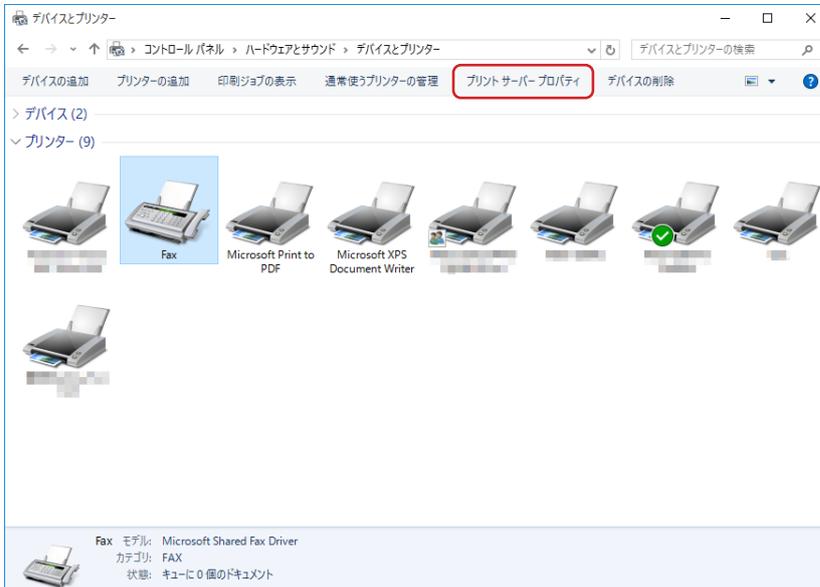
12 パソコンを再起動する

手動アンインストール

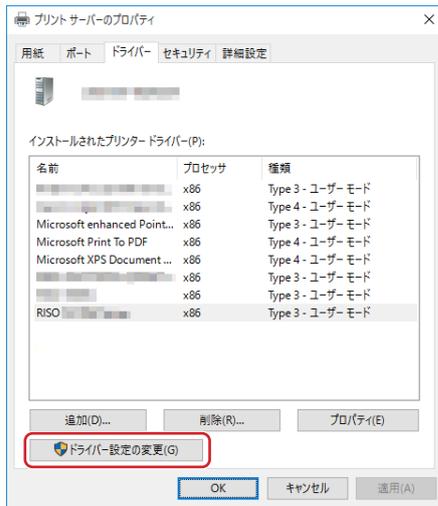
- 1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] を開き、アンインストールしたいプリンターを削除する



- 2 既存のプリンターをクリックし、画面上部の [プリントサーバープロパティ] をクリックする



3 【ドライバー】 タブの 【ドライバー設定の変更】 をクリックする



4 アンインストールしたいプリンタードライバーを選択し、【削除】 ボタンをクリックする

5 【ドライバーとパッケージの削除】 ダイアログが開くので、【ドライバーとパッケージを削除する】 を選択して削除する



第 7 章

こんなときには

パソコン上でメッセージが表示されたら.....	120
「故障？」と思ったとき	121
▪ [印刷できないとき]	121
▪ [印刷結果が正しく得られないとき]	123
▪ [その他]	125

パソコン上でメッセージが表示されたら

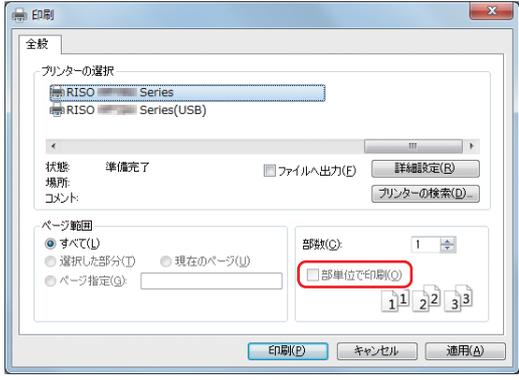
以下のような意味のメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

メッセージ	チェックポイント	対応
プリンターの準備ができていません。電源が入ってオンラインになっているかどうか確認してください。	印刷機の準備はできていますか？ パソコンと印刷機は正しく接続されていますか？	印刷機の電源を確認してください。 プリンターケーブルやネットワークの接続を調べて、正しく接続してください。
	データ（ページ数・内容）は大き過ぎませんか？	データが大き過ぎると印刷機のメモリーが一杯になり、データを受信できなくなります。データが大きいときは、[タイムアウト設定] の設定値を増やしてください。
現在のプリンター設定に問題があるため印刷できません。	アプリケーションソフトの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタードライバーの選択など）とプリンタードライバーの設定が合っていますか？	アプリケーションソフトでのプリントの設定をやり直してください。 例えば [印刷] ダイアログボックスでの部数とプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの印刷部数を合わせてください。

「故障？」と思ったとき

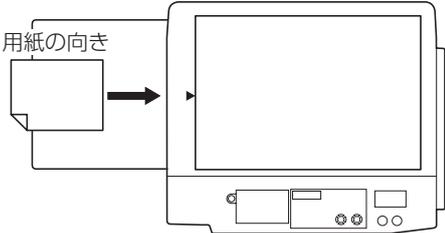
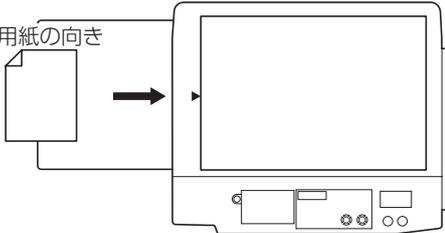
「おかしいな」「故障かな」と思ったときは、サービスマンに電話をする前に次のような事項を確認してください。

【印刷できないとき】

状況	チェックポイント	対応
印刷機のディスプレイのステータスエリアに「[展開中]」と表示されたままで、処理が先に進まない	パソコンからのデータ送信は終了していますか？ アプリケーションソフトの印刷動作は終了していますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プリンター] フォルダー内の RISO Printer Driver をダブルクリックして、データの送信が終了しているか確認してください。 ・ パソコンからのデータ送信が終了するまでスクリーンセーバーを OFF の状態にしてください。
	パソコン上でアプリケーションソフトの印刷動作を中断しませんでしたか？	印刷機の電源スイッチを OFF にし、10 秒ほどおいて再び電源を ON にしてください。
	プリンターケーブルが外れていませんか？	パソコンからの出力をキャンセルしてください。印刷機の電源スイッチを OFF にし、プリンターケーブルをしっかりと接続してから再び電源を ON にしてください。
	アプリケーションソフトでの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタードライバーの選択など）とプリンタードライバーの設定内容は一致していますか？	アプリケーションソフトでのプリンターの設定とプリンタードライバーの設定を一致させてください。 39
印刷機が、1 枚印刷するごとにまた同じページを製版する	アプリケーションソフトから印刷を行う際に、「部単位で印刷する」にチェックマークが付いていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷] ダイアログボックスで、「部単位で印刷する」のチェックを外しておいてください。 
		<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンからの出力をキャンセルしてください。その後、印刷機の電源を OFF にし、10 秒ほどおいて再び電源を ON にしてください。 ・ 印刷機本体に「[出力待ち]」ジョブが残っている場合は、削除してください。

状況	チェックポイント	対応
製版終了後、印刷が始まらない	[連続モード] の設定を [OFF- 製版前、印刷前ストップ] または [OFF- 印刷前ストップ] にしていませんか？	印刷機の [スタート] キーを押して印刷機の動作を開始してください。
パソコンからデータを送信しても製版が開始されない	[連続モード] の設定を [OFF- 製版前、印刷前ストップ] または [OFF- 製版前ストップ] にしていませんか？	印刷機の [スタート] キーを押して印刷機の動作を開始してください。
	プリンタードライバーは、お使いの印刷機に対応したものに設定されていますか？	プリンタードライバーを、お使いの印刷機に対応したものに設定してからやり直してください。  10
	[プリンター] フォルダ内の RISO Printer Driver を開くと、データが [印刷待ち] または [印刷中] になっていませんか？	パソコンからのデータ送信が終わるのを待ってください。

[印刷結果が正しく得られないとき]

状況	チェックポイント	対応
印刷位置全体がずれたり、 端が欠けて印刷される  	アプリケーションソフトと プリンタードライバーで設 定した用紙サイズは一致し ていますか？	両方の用紙サイズを合わせてください。 44
	設定した用紙サイズと同じ 用紙を印刷機にセットしま したか？	設定した用紙サイズ、通紙方向の通りに用紙をセッ トしてください。 44 用紙の向き：縦  用紙の向き：横 
	アプリケーションソフトで 余白は十分にとっています か？	印刷機では、用紙の全面に印刷することはできませ ん。アプリケーションソフトで作成した原稿を印刷 機で印刷できるように余白調整してください。
	印刷機のドラムに何らかの 異常がありませんか？	印刷機の取扱説明書を参照のうえ、印刷機を調べて ください。
図形が正しく印刷されない	プリンタードライバーはお 使いの印刷機に対応したも のになっていますか？	プリンタードライバーがお使いの印刷機に対応した もの以外に設定されているときに編集された文書で は、図形などが正しく印刷できないことがあります。 適切なプリンタードライバーに設定して編集をやり 直してください。
フォントが正しく印字され ない	アプリケーションソフトで 印刷を実行するときの設定 が、[プリンターのフォ ントを使う] になっていま せんか？	アプリケーションソフトで印刷を実行するときに、 [プリンターのフォントを使う] の設定を使わない ようにしてください。
画像が崩れたり、縮小され て印刷される	お使いの印刷機に対応した プリンタードライバーに設 定していますか？	お使いの印刷機名とプリンタードライバーの機種名 が異なると正しく印刷できません。特に RISORINC 形式ファイルを作成するときは、プリンタードライ バーが送信先の印刷機に対応していることを確認し てください。

状況	チェックポイント	対応
原稿で黒ベタにした部分が、網掛けで印刷される	黒い部分を、CMYK モードで「K 100%」に指定していませんか？	原稿データを作成するアプリケーションソフトによっては、CMYK モードで「K 100%」に指定すると、網掛けで印刷されることがあります。RGB モードで「R : 0、G : 0、B : 0」に指定することをおすすめします。
〔用紙サイズ登録〕ダイアログボックスで用紙登録したのに、登録した用紙が〔定形用紙〕のリストに表示されない	用紙登録後、〔環境〕タブの〔OK〕ボタンをクリックしましたか？	用紙登録を行ったら必ず、〔環境〕タブの〔OK〕ボタンをクリックして終了してください。  36
用紙サイズが〔原稿サイズ：カスタム〕で入力した値にならない	アプリケーションソフトの用紙サイズの設定で、フリーサイズを指定できますか？	アプリケーションソフトから〔用紙サイズ〕をフリーサイズに指定できない場合は、〔原稿サイズ：カスタム〕を使うことはできません。
〔原稿サイズ〕の〔カスタム〕に値が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	使用できる用紙のサイズは、印刷機によって異なります。設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で入力してください。
〔用紙サイズ登録〕ダイアログボックスで長い名前が入力できない	入力文字数の制限を超えていませんか？	入力できる文字数は、30 文字です。
〔用紙サイズ登録〕ダイアログボックスで〔幅〕・〔長さ〕が入力できない	設定範囲を超える値を入力していませんか？	設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。
印刷部数が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	設定できる値の範囲は 1 ～ 9999 です。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。

【その他】

状況	チェックポイント	対応
プリンタードライバーのプロパティで、用紙サイズなどの設定が変更できない	設定項目がグレーになっていませんか？	プリンターの設定に関するフルコントロールアクセス権をお持ちのユーザーのみが設定を変更できます。
プリンタードライバーのプロパティで、設定できない項目がある	設定項目がグレーになっていませんか？	プリンタードライバーは、印刷機の機種別に用意されています。機種によっては、設定できる機能が限定されるものがあります。
USB メモリーに原稿データを出力できない	USB メモリー用プリンタードライバーを使用していますか？	プリンタードライバーは2種類あります。USB メモリーに出力するには、USB メモリー用プリンタードライバーをインストールしてお使いください。通常版プリンタードライバーでは USB メモリーに出力できません。  23
	RISO のフォルダー構成になっている USB メモリーを使用していますか？	USB メモリー内に専用フォルダーを作成してください。  27
「紙メモリープリント」や「プレビュー＋編集」にチェックをつけて印刷を実行した場合、「Can not start-up Preview and Edit」とエラーメッセージが表示される。	手動でプリンタドライバーをインストールをしましたか？	手動でプリンタードライバーをインストールした場合は、「紙メモリープリント」と「プレビュー＋編集」は実行できません。「紙メモリープリント」と「プレビュー＋編集」を使用する場合は、インストーラーからプリンタードライバーをインストールし直してください。  10



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタードライバー/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)